



地方独立行政法人神奈川県立病院機構
精神医療センター

平成24年度

精神医療センター業務年報

(芹香病院・せりがや病院)

平成25年12月

目 次

I 概 況

1 基 本 理 念	1
2 沿 革	1
3 組 織 ・ 機 構	5
4 職員配置状況	6
5 施 設	8
施設配置図	9
6 主な委員会・会議一覧	10
7 主な研修実績	11

II 芹香病院事務事業の状況

1 芹香病院基本方針	13
2 経理の状況	
(1) 地方独立行政法人会計決算状況	14
3 業務実績	
(1) 各種指標	17
4 患者の状況	
(1) 外来患者の状況	18
(2) 入院患者の状況	20
(3) 救急医療の状況	26
5 業務の状況	
(1) 看 護	27
(2) 作業療法	39
(3) デイ・ケア療法	42
(4) 検査業務	46
(5) 地域医療相談室業務	50
(6) 薬剤業務	58
(7) 医療教育	60
(8) 栄養管理科業務	60
(9) 保育業務	63

Ⅲ セリがや病院事務事業の状況

1	セリがや病院基本方針	65
2	経理の状況	
(1)	地方独立行政法人会計決算状況	66
3	業務実績	
(1)	各種指標	69
4	患者の状況	
(1)	外来患者の状況	70
(2)	入退院患者の状況	74
5	業務の状況	
(1)	看 護	81
(2)	心理・相談業務	85
(3)	作業療法	87
(4)	学生等の指導	88
(5)	薬剤業務	88
(6)	栄養業務	90

(注) 本年報の表は原則として平成25年3月31日をもって作成してあります。例外については、本文中に基準年月日を表示してあります。

I 概 況

1 基本理念

患者様やご家族に信頼される心あたたかい医療を提供し、神奈川県精神医療の発展に努めます。

2 沿革

当センターは精神病院法に基づくわが国3番目の府県立精神病院として昭和4年3月から診療を開始した芹香院と、昭和38年4月全国にさきがけ麻薬中毒患者専門医療施設として収容治療を開始し、その後神経症、アルコール依存症、薬物中毒等の患者を対象に治療を行ってきたせりがや園を統合して、平成2年4月神奈川県立精神医療センターに組織を改正した。その際名称も芹香病院、せりがや病院に改称し、精神科診療業務を行っている。開設以来の主たる変遷は次のとおりである。

【芹 香 院】

昭和3年11月	本館及び病棟5棟 付属建物を含め延べ3,606㎡の施設完成
4年3月	診療開始（150床）
35年7月	第1、第2病棟完成（現作業療法棟2,207.05㎡）
39年4月	地方公営企業法（企業会計方式）の一部適用
46年8月	子供預り施設新築
11月	C病棟、管理診療棟、サービス棟新築
48年1月	A病棟、B病棟、社会療法棟、喫茶売店棟、車庫棟新築
3月	温室及び看護婦宿舍新築
6月	作業療法棟改築
7月	事務局に医事課を新設
8月	事務局に栄養課を新設、医療局を部長制とし、作業療法科を新設、看護部に看護教育係を新設
50年7月	せりがや地区第一医療職員公舎完成
54年3月	A、B、C各病棟の2、3階に消防用スプリンクラー設備設置
10月	A3病棟を開棟
55年8月	事務局が総務局に、管理課が総務課に改称、総務局次長（総務課長兼務）新設
56年7月	保育施設改修
10月	芹香院作業療法用農場（27アール）整備工事完成
57年1月	身体障害者用便所、管理診療棟1箇所、A病棟1箇所完成
58年11月	緊急医療対策用保護室改修
60年9月	デイ・ケア施設改修
62年4月	医療局にデイ・ケア科を新設
	夜間、休日の緊急医療開始
12月	外来受付室、待合室改修
平成元年3月	保護室（6室）、静養室（16室）改修
2年1月	保護室（8室）改修

【せりがや園】

昭和38年 1 月	本館新設（サーモコン 2 階建）
3 月	厨房棟新築（コンクリート鉄骨平屋建）
4 月	診療開始（70床）
39年 4 月	地方公営企業法（企業会計方式）の一部適用
43年 7 月	本館増築工事等 病棟、管理部門の改修
52年 4 月	病床数（64床）変更

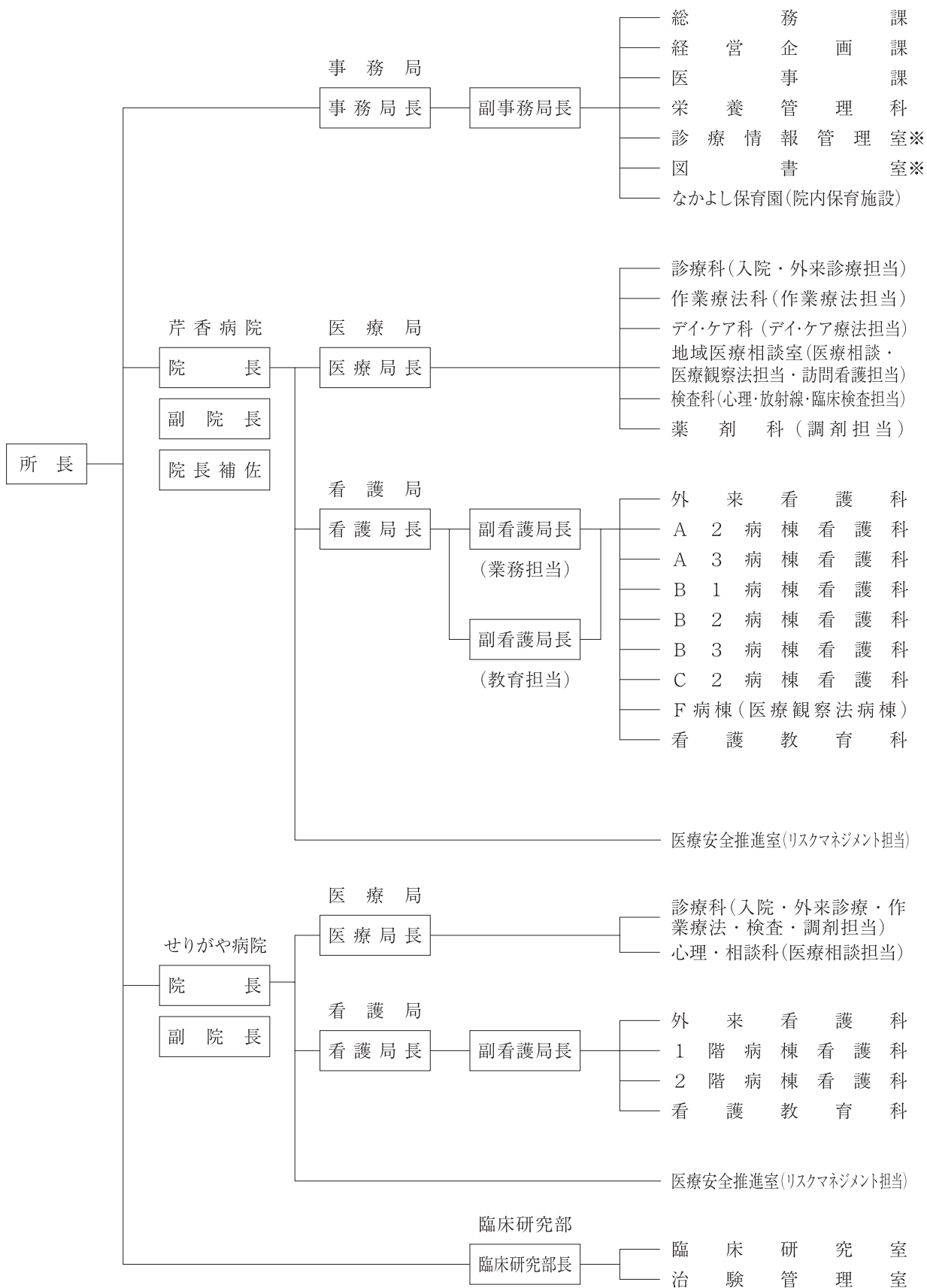
【精神医療センター】

平成 2 年 4 月	芹香院とせりがや園を、精神医療センターに組織改正、センター所長職の設置、芹香院を芹香病院に、せりがや園をせりがや病院に改称、精神医療センター総務局に総務課、経理課、医事課及び栄養課設置 せりがや病院の医療局に心理・相談科、看護部に外来看護係、看護教育係を新設
9 月	せりがや病院新築（80床）
3 年 4 月	芹香病院 A1 病棟を老人性痴呆専門治療病棟（44床）に改修 芹香病院 B3 病棟の一部を改築（結核合併症病棟16床、精神科病棟31床）
4 年 4 月	芹香病院 B2 病棟保護室（4 室）改修
5 年 2 月	せりがや病院 基準看護結核・精神特 2 類承認
3 月	芹香病院 基準看護結核・精神特 2 類承認
6 年 3 月	看護婦共同宿舍、看護士宿舍、職員公舎一戸解体 芹香病院 C1 病棟に消防用スプリンクラー設備設置
10月	芹香病院、せりがや病院新看護体系 3：1 承認
7 年 3 月	芹香病院 B1 病棟に消防用スプリンクラー設備設置 C 棟外壁塗装、屋上防水塗装工事完成
7 年 5 月	せりがや病院 特別管理給食加算（適時適温給食）実施
8 年 3 月	芹香病院 A1 病棟に消防用スプリンクラー設備設置 芹香病院 A2 病棟に感染症隔離室（2 室）設置 芹香病院 A3 病棟に救急用保護室（4 室）、静養室（3 室）設置
8 年 4 月	芹香病院病床数（497床）変更 芹香病院 精神科救急医療開始 選択メニュー給食の実施
10年12月	職員公舎 3 戸解体
12年 7 月	芹香病院 特別管理給食加算（適時適温給食）実施
12月	第 1 医療職員公舎解体
14年 4 月	芹香病院 精神科救急医療 24時間体制開始（8 床）
15年 4 月	芹香病院 精神科 救急病棟開設（B－1 病棟 26床） 芹香病院 病床数（445床）変更
15年 9 月	芹香病院 応急入院指定病院（1 床）

平成15年10月	芹香病院 精神科急性期治療病棟（B1）入院科1 適用承認 芹香病院 紹介患者加算5 実施
16年 4月	芹香病院 精神科救急入院科（B1病棟26床）適用承認 芹香病院 精神科救急入院施設管理加算（A1病棟を除く）適用承認 芹香病院 医療保護入院等診療科適用承認 せりがや病院 医療保護入院等診療科適用承認 芹香病院 褥瘡患者管理加算適用承認
6月	芹香病院 療養環境加算（A1・B2病棟）適用承認
9月	芹香病院 夜間勤務等看護加算（A1病棟）
17年 4月	地方公営企業法全部適用 精神医療センターの組織再編成 看護部を看護局と改称、経理課及び医事課を医事経営課に統合、 栄養課を栄養管理科に改称、各看護係を看護科と改称、各病院内に医療安全推進室を設置、芹香病 院診療科内の医療相談室を地域医療相談室と改称
12月	芹香病院 日本医療機能評価機構認定病院となる せりがや病院 日本医療機能評価機構認定病院となる
18年 1月	芹香病院 診療録管理体制加算 せりがや病院 診療録管理体制加算
4月	芹香病院 15対1 精神病棟入院基本料（A1病棟及びB1病棟を除く） 芹香病院 老人性認知症疾患治療病棟入院料1（A1病棟） 芹香病院 医療安全対策加算 芹香病院 臨床研修病院入院診療加算 芹香病院 栄養管理実施加算 せりがや病院 15対1 精神病棟入院基本料 せりがや病院 栄養管理実施加算
8月	芹香病院 精神科ショート・ケア「大規模なもの」
9月	芹香病院 指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定 せりがや病院 指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定
12月	芹香病院 特定病院認定
19年 5月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料2 適用承認
8月	せりがや病院 精神科作業療法適用承認
20年 3月	芹香病院 老人性認知症専門病棟（A1病棟）閉床 芹香病院 生活訓練・短期静養病棟（C1病棟）閉床
4月	芹香病院 ストレスケア病棟（A2病棟）開床 芹香病院 精神科地域移行実施加算
8月	芹香病院 看護補助加算1
21年 2月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料2（A2・B2病棟）
4月	芹香病院 精神科救急入院料2（B1・B2病棟） 芹香病院 通院対象者社会復帰連携体制強化加算
6月	せりがや病院 褥瘡患者管理加算

平成21年 9 月	芹香病院 病床数（308床）変更
22年 2 月	芹香病院 指定入院医療機関の指定（2 床） 芹香病院 入院対象者入院医学管理料
4 月	地方独立行政法人へ移行
5 月	芹香病院 救急医療管理加算 せりがや病院 重度アルコール依存症管理加算
6 月	芹香病院 精神科救急入院料 1（B1、B2病棟）
7 月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料 1（A2病棟）
12月	芹香病院 精神科身体合併症管理加算 せりがや病院 精神科身体合併症管理加算 せりがや病院 13対 1 精神科病棟入院基本料
23年 1 月	芹香病院 作業療法棟及び社会療法棟の撤去
9 月	芹香病院 医療観察法病棟の建設工事を開始
24年 2 月	「芹香病院」精神科一般病棟（C3病棟）休床
4 月	「芹香病院」精神科救急搬送患者地域連携紹介加算 「芹香病院」治療抵抗性統合失調症治療指導管理料
11月	医療観察法病棟（F 病棟）の開棟

3 組織・機構 (H25. 4. 1 現在)



※院内組織

4 職員配置状況（H25. 4. 1現在）

所属 \ 職	事務職員	技術職員	技能職員	計	非常勤職員	再雇用職員	契約職員	任期付職員
所 長		1		1				
事 務 局								
事 務 局 長	1			1				
副 事 務 局 長	1			1				
総 務 課	6			6	5		1	
経 営 企 画 課	9			9				
医 事 課	6			6	1			
栄 養 管 理 科		3	17	20	24		4	
小 計	23	3	17	43	30		5	
芹 香 病 院								
院 長		(1)		(1)				
副 院 長		3		3				
診 療 科		15		15	20			
作 業 療 法 科		7		7				
デ イ ・ ケ ア 科	2	4		6			1	
地域医療相談室	10	4		14	1			
検 査 科	4			4	2		1	
薬 剤 科		4		4	1			
看 護 局 長		(1)		(1)				
副 看 護 局 長		2		2				
看 護 局		186	8	194	10	1	11	
医療安全推進室		1		1				
小 計	16	226	8	250	34	1	13	
せりがや病院								
院 長		1		1				
診 療 科		7		7	11			
心 理 ・ 相 談 科	3			3	2			
看 護 局 長		(1)		(1)				
副 看 護 局 長		1		1				
看 護 局		36		36	5	1	1	
小 計	3	45		48	18	1	1	
計	42	275	25	342	82	2	19	

（注）（ ）は兼務

職種別内訳（H25. 4. 1現在）

所 属 職 種		所 長	事 務 局	芹 香 病 院	せりがや病院	計
一 般 事 務 職			23			23
栄 養 士			3			3
調 理 職			17			17
医 師		1		19	5	25
福 祉 職	ソーシャルワーカー			11	2	13
	臨 床 心 理 士			5	1	6
作 業 療 法 士				8	2	10
薬 剤 師				4	1	5
看 護 職				195	37	232
病 棟 技 能 職				8		8
総 数		1	43	250	48	342

5 施 設

【芹香病院】

土 地	111,978.980㎡	
建 物		
管 理 診 療 棟	鉄筋コンクリート造地下1階・地上4階建	3,529.963㎡
サ ー ビ ス 棟	鉄筋コンクリート造地下1階・地上1階建	1,733.030㎡
病 棟	鉄筋コンクリート造地下1階・地上3階建	
A 棟	〃（1F リハビリテーション部門、2F A2病棟、3F A3病棟）	4,225.214㎡
B 棟	〃（1F B1病棟、2F B2病棟、3F B3病棟）	4,219.314㎡
C 棟	〃（1F 看護教育部門、2F C2病棟、3F 工事現場事務所）	4,231.164㎡
医 療 観 察 法 病 棟	鉄筋コンクリート造地上2階建	2,998.750㎡
温 室	鉄骨造平屋建（2棟）	88.200㎡
倉 庫	軽量鉄骨造平屋建	41.400㎡
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート造平屋建	64.210㎡
保 育 施 設	〃	347.320㎡
仮 設 売 店	鉄骨プレハブ造平屋建	45.630㎡
守 衛 棟	鉄筋コンクリート造平屋建	109.395㎡
そ の 他	渡り廊下他	52.7 ㎡
計	13棟	21,644.919㎡

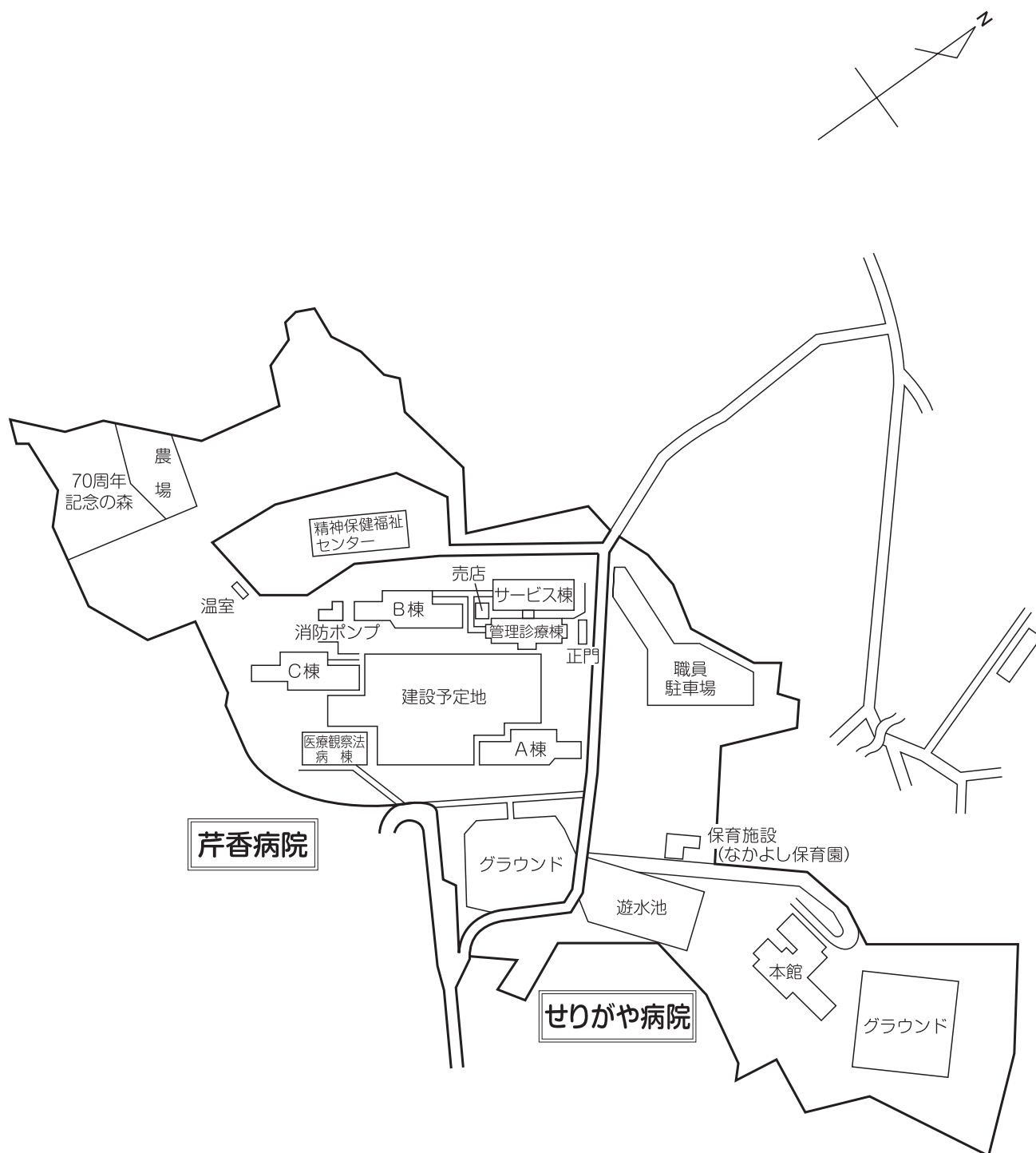
【せりがや病院】

土 地	5,196.030㎡	
建 物		
本 館	鉄筋コンクリート造地上2階建	4,426.550㎡
車 庫	鉄骨造平屋建	21.490㎡
倉 庫	〃	14.330㎡
計	3 棟	4,462.370㎡

【精神医療センター計】

土 地	117,175.010㎡
建 物	16棟 24,138.254㎡（延面積）

施設配置図



6 主な委員会・会議一覧（H25. 4. 1現在）

委員会・会議	目 的	所管課（科）	構成員数	開 催 日
管 理 者 会 議	所の運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総 務 課	10人	月 2 回（第 1・第 3 月）
経 営 会 議	芹香病院の経営改善の推進に必要な事項の検討	医 事 課	21人	芹香 月 1 回（第 3 火）
情 報 管 理 会 議	両病院のカルテ、看護記録等の診療情報の管理に関する事項の検討	医 事 課	11人	随時
運 営 協 議 会	所の人権に配慮した医療と効率的な運営に向けた必要事項の検討	総 務 課	13人	年 1 回
倫 理 審 査 委 員 会	所で行う医療等に関し、倫理上の配慮が求められる事項についての検討	総 務 課	10人	随時
機 種 等 選 定 会 議	備品購入又は委託等に係わる機種選定及び入札参加者等の適正な選定	経 営 企 画 課	11人	随時
教 育 研 修 会 議	医療人材の教育・研修及び評価並びに、成果発表会の企画・運営	看 護 局	15人	隔月
運 営 調 整 会 議	各病院の運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総 務 課	芹香 20人 せりがや 16人	芹香 月 1 回（第 1 火） せりがや 月 1 回（第 4 水）
感 染 防 止 対 策 会 議	各病院の院内感染防止及び衛生管理対策等の検討	医療安全推進室	芹香 17人 せりがや 16人	芹香 月 1 回（第 3 火） せりがや 月 1 回（第 2 火）
医 療 事 故 防 止 対 策 会 議	各病院の医療事故の防止体制の整備・確立及び防止対策の企画・立案等	医療安全推進室	芹香 17人 せりがや 16人	芹香 月 1 回（第 1 火） せりがや 月 1 回（第 2 火）
栄 養・給 食 会 議	各病院の栄養管理・食事サービス業務の効率的な運営と向上	栄 養 管 理 科	芹香 16人 せりがや 16人	芹香 年 4 回 せりがや 月 1 回（第 2 火）
薬 事 会 議	各病院の医薬品の適正な管理及び効率的な運用	薬 剤 科	芹香 8人 せりがや 8人	芹香 年 4 回 せりがや 年 2 回
衛 生 委 員 会	各病院の職員の安全と健康の確保及び快適な作業環境の形成	総 務 課	芹香 8人 せりがや 9人	芹香 月 1 回 せりがや 月 1 回
看 護 科 長 会 議	各病院の看護管理に関する連絡調整及び看護組織の運営改善等の協議、看護職員の資質向上の検討	看 護 局	芹香 12人 せりがや 4人	芹香 月 2 回（第 1・第 3 水） せりがや 月 2 回（第 1・第 3 水）

7 主な研修実績

月	研 修	担 当	開催日	テーマ	講 師	参加者数
4 月	新採用・転入職員研修	芹香病院看護局・(総務課)	4月2日～6日(5日間)	別紙参照	別紙参照	51名
6 月	ホームページ研修	事務局	6月26日 13:00～14:40	ホームページ作成の考え方	本部事務局	18名
9 月	接遇研修	教育研修会議	9月10日 15:30～17:30	接遇研修	ヘルスコーチ・ジャパン 渡辺久美子	56名
9 月	せりがや病院感染防止研修	せりがや病院感染防止対策会議	9月28日 15:00～	手洗い	エコラボ株式会社 清水克憲	20名
10月	新棟関連研修	事務局	10月9日 15:00～18:00	電子カルテ等デモンストレーション		129名
10月	研究発表会1回目	教育研修会議	10月10日	7 部署発表		94名
11月	救急蘇生	教育研修会議	11月12日 16:30～18:00	救急時の初期対応	重症集中認定看護師 がんセンター 鎌田 循呼センター 石山 小林	38名
11月	せりがや病院医療事故防止研修	せりがや病院医療事故防止対策会議	11月27日	ロールプレイでKYT	せりがや 事故防止対策部会	20名
12月	感染防止研修①	感染防止対策会議(山口)	12月5日 15:30～	インフルエンザ	感染管理認定看護師 二瓶比呂志	99名
12月	研究発表会2回目	教育研修会議	12月12日	8 部署発表		73名
12月	新棟関連研修	看護局	12月14日 17:00～18:30	新棟整備の準備・開棟当初・開棟後の運営を振り返って	都立松沢病院 開設 準備担当、スーパー 救急看護長 田部井 伸一	47名
1 月	研修発表会3回目	教育研修会議	1月16日	5 部署発表		78名
1 月	医療安全フォーラム	医療事故防止対策会議(山口)	1月28日～ 31日			芹香病院 290名 せりがや病院 73名
2 月	医療安全研修	医療事故防止対策会議(山口)	2月6日 15:30～16:30	医療事故の初期対応	東京海上日動火災(株) 医療賠償損害サービス 室	78名
2 月	衛生委員会研修	衛生委員会(坂田)	2月22日 15:00～16:00	健診結果を活かした健康管理	栄養管理科長	48名

Ⅱ 芹香病院事務事業の状況

1 芹香病院基本方針

1 県民に信頼され親しまれる病院にいたします。

常に県民のニーズを考え、その期待に応えられるようにするとともに、心あたたかい医療を実践することで親しみのある病院づくりを行います。

2 神奈川県精神科中核病院として高度で専門的な医療を提供します。

進歩発展を続ける最新の医療水準を取り入れながら、精神科救急などの専門的医療を推し進めていきます。

3 適切で円滑な入院受入れと早期退院に努力し社会復帰を支援します。

入院の必要な患者様をスムーズに受け入れるとともに、当初より早期退院を目指して計画的な援助を行い、社会復帰や地域生活を支援します。

4 患者様の権利に配慮し納得してもらえる医療を心がけます。

患者様の権利について十分配慮するとともに、インフォームド・コンセントを重視し患者様とともに治療に取り組んでいきます。

5 医療の安全管理を徹底し安心して療養できるよう努めます。

職員の安全教育を繰り返し行うとともに、安心して療養できる環境づくりにも日頃から配慮していきます。

6 県立病院として健全な経営を目指します。

公共性と医療水準を維持しながら、合理的で効果的な経営のあり方を通して、健全で自立した病院経営に努力します。

2 経理の状況

(1) 地方独立行政法人会計 決算状況

(ア) 貸 借 対 照 表

(平成25年 3 月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構荻香病院】

(単位：円)

科 目	金 額			
資産の部				
I 固定資産				
1 有形固定資産				
土地		8,313,272,757		
建物	2,108,011,380			
減価償却累計額	△ 239,135,802	1,868,875,578		
構築物	81,164,358			
減価償却累計額	△ 7,623,552	73,540,806		
器械備品	317,770,411			
減価償却累計額	△ 150,589,337	167,181,074		
車両	643,729			
減価償却累計額	△ 202,135	441,594		
放射性同位元素	0			
減価償却累計額	0	0		
建設仮勘定		2,249,896,938		
有 形 固 定 資 産 合 計		12,673,208,747		
2 無形固定資産				
ソフトウェア		0		
電話加入権		16,000		
その他		0		
無 形 固 定 資 産 合 計		16,000		
3 投資その他の資産				
長期貸付金		0		
長期前払消費税等		125,767,199		
破産更生債権等	13,520,141			
貸倒引当金	△ 13,520,141	0		
その他		832,000		
投資その他の資産合計		126,599,199		
固 定 資 産 合 計			12,799,823,946	
II 流動資産				
現金及び預金		314,128,101		
医業未収金	379,099,560			
貸倒引当金	△ 4,089,427	375,010,133		
未収金		26,874,081		
たな卸資産		16,073,229		
前払費用		4,455,809		
流 動 資 産 合 計			736,541,353	
資 産 合 計				13,536,365,299

(ア) 貸 借 対 照 表
(平成25年 3 月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構芹香病院】

(単位：円)

科 目	金 額			
負債の部				
I 固定負債				
資産見返負債				
資産見返補助金等	1,348,110,609			
資産見返寄附金	1,177,799			
資産見返物品受贈額	395,581,999			
建設仮勘定見返運営費負担金	217,243,659			
建設仮勘定見返補助金等	21,612,381	1,983,726,447		
長期借入金		1,864,400,000		
移行前地方債償還債務		2,000,000		
引当金				
退職給付引当金	2,059,843,933			
環境対策引当金	2,702,090	2,062,546,023		
リース債務		18,949,811		
資産除去債務		13,022,601		
固 定 負 債 合 計			5,944,644,882	
II 流動負債				
寄附金債務		2,245		
一年以内返済予定長期借入金		4,700,000		
一年以内償還予定移行前地方債償還債務		4,625,000		
未払金		301,252,392		
一年以内支払予定リース債務		30,387,996		
未払費用		53,799		
前受金		0		
預り金		12,821,910		
引当金				
賞与引当金	169,128,115	169,128,115		
流 動 負 債 合 計			522,971,457	
負 債 合 計				6,467,616,339
純資産の部				
I 資本金				
設立団体出資金		7,661,411,570		
資 本 金 合 計			7,661,411,570	
II 資本剰余金				
資本剰余金		22,000,000		
資 本 剰 余 金 合 計			22,000,000	
III 利益剰余金				
積立金				
当期末処理損失		△ 614,662,610		
(うち当期総利益)		(△ 131,943,389)		
利 益 剰 余 金 合 計			△ 614,662,610	
純 資 産 合 計				7,068,748,960
負 債 純 資 産 合 計				13,536,365,299

(イ) 損 益 計 算 書
(平成24年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構芹香病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
営業収益			
医業収益			
入院収益	1,446,148,114		
外来収益	563,048,353		
児童福祉施設収益	0		
その他医業収益	22,290,987	2,031,487,454	
運営費負担金収益		1,341,548,711	
補助金等収益		423,703,332	
寄附金収益		706,318	
資産見返運営費負担金戻入		9,269,761	
資産見返補助金等戻入		93,812,561	
資産見返寄附金等戻入		113,638	
資産見返物品受贈額戻入		30,163,490	
営 業 収 益 合 計			3,930,805,265
営業費用			
医業費用			
給与費	2,829,957,470		
材料費	461,822,811		
減価償却費	155,733,854		
経費	483,154,244		
研究研修費	4,970,393		
児童福祉施設費	0	3,935,638,772	
一般管理費			
給与費	0		
減価償却費	0		
経費	0	0	
控除対象外消費税等		99,296,897	
資産に係る控除対象外消費税等償却		2,805,711	
その他営業費用		672,980	
営 業 費 用 合 計			4,038,414,360
営 業 利 益			△ 107,609,095
営業外収益			
運営費負担金収益		1,334,000	
患者外給食収益		8,733,801	
不用品売却収益		0	
財務収益		3,117	
雑益		8,448,592	
営 業 外 収 益 合 計			18,519,510
営業外費用			
患者外給食費		8,027,810	
財務費用		14,376,470	
雑支出		2,030,177	
営 業 外 費 用 合 計			24,434,457
経 常 利 益			△ 113,524,042
臨時利益			
その他臨時利益		4,158,728	4,158,728
臨時損失			
固定資産除却損		22,578,075	
その他臨時損失		0	22,578,075
当 期 純 利 益			△ 131,943,389
当 期 総 利 益			△ 131,943,389

3 業務実績

(1) 各種指標

項 目	計 算 方 式	単位	平成24年度	平成23年度	対前年度比(%)	備 考
病 床 数		床	308 (285)	308 (252)	100.0	
取 扱 患 者 数		人	107,429	111,703	96.2	
入 院 患 者		人	70,681	74,223	95.2	
外 来 患 者		人	36,748	37,480	98.0	
1 日 平 均 取 扱 患 者 数		人	343.6	356.4	96.4	
入 院 患 者	取扱入院患者数／年間日数 365日	人	193.6	202.8	95.5	
外 来 患 者	取扱外来患者数／年間外来診療日数	人	150	153.6	97.7	
病 床 利 用 率	取扱入院患者数／延病床数×100	%	62.9 (72.9)	65.9 (67.9)	88.1 (88.0)	
平 均 在 院 日 数	入院延患者数／(入院患者数＋退院患者数)×0.5	日	115.5	123.6	93.4	
入 院 外 来 患 者 比 率	取扱患者数／取扱入院患者数×100	%	52.0	50.5	103.0	
医師・看護師1人当たりの取扱患者数						
医 師	取扱患者数／医師延人数	人	13.3	16.1	82.6	
看 護 師	取扱患者数／看護師延人数	人	1.5	1.7	88.2	
職 員 数		人	304	279	109.0	期 末 人 数
医 師		人	22	19	115.8	期 末 人 数
看 護 師		人	193	179	107.8	期 末 人 数
そ の 他 職 員		人	89	81	109.9	期 末 人 数
病 床100床 当 た り の 職 員 数	全職員数／病床数×100	人	98.7	90.6	109.0	
医 師	職員数／病床数×100	人	7.1	6.2	115.1	
看 護 師	職員数／病床数×100	人	62.6	58.1	107.7	
そ の 他 職 員	職員数／病床数×100	人	28.8	26.3	109.5	
患 者 1 人 当 た り の 収 益	医業収益／取扱患者数	円	18,910	18,069	104.7	
入 院 患 者	入院収益／入院患者数	円	20,460	19,352	105.7	
外 来 患 者	外来収益／外来患者数	円	15,322	15,073	101.7	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医 師	医業収益／医師延人数	円	252,987	291,048	86.9	
看 護 師	医業収益／看護師延人数	円	28,838	30,893	93.3	
患 者 1 人 1 日 当 た り の 費 用	医業費用／取扱患者数	円	36,635	33,414	109.6	
患 者 1 人 当 た り の 薬 品 費	薬品費／取扱患者数	円	3,644	3,364	108.3	
患 者 1 人 当 た り の 給 食 材 料 費	給食材料費／取扱入院患者数	円	824.7	912	90.4	
医 業 収 益 に 対 す る 費 用 比 率	医業費用／医業収益×100	%	193.7	184	105.3	
給 与 費	給与費／医業収益×100	%	139	133	104.7	
材 料 費	材料費／医業収益×100	%	22.7	22.6	100.4	
経 費	経費／医業収益×100	%	23.7	22.5	105.3	

(注) 医師、看護師の延人数は、期末の在籍人数に365日（平成24・23年度共）を乗じ算出した

(注) 「病床数」欄の（ ）内は稼働病床数を示す

(注) 「病床利用率」欄の（ ）内は稼働病床数の病床利用率を示す

4 患者の状況

(1) 外来患者の状況

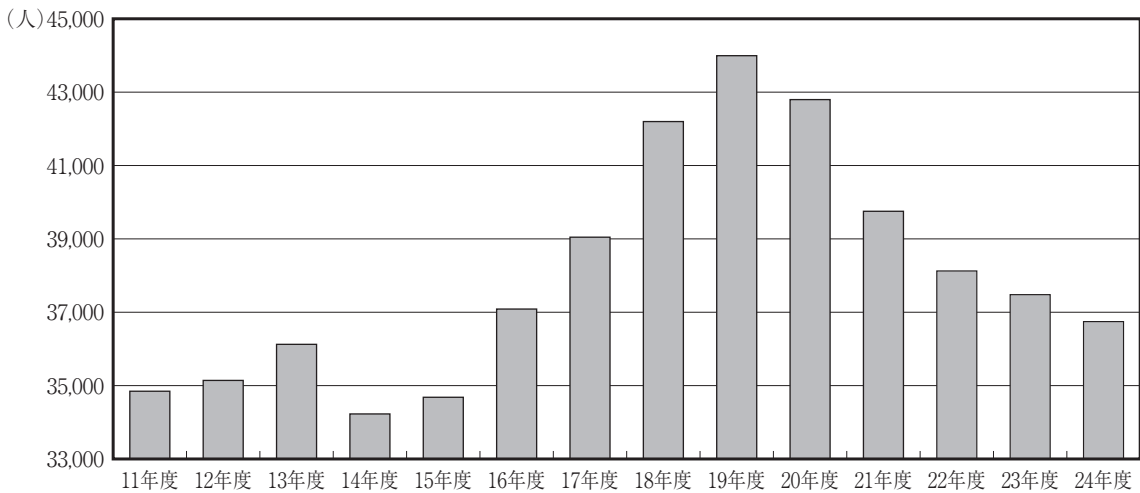
延患者数では732人減で対前年度比2.0%減となっている。また、新患については57人減の対前年度比8.5%減となっている。新外来患者数の病類別は、統合失調症が前年度に比べ1.6ポイント増で、全体の36.8%を占めている。

ア 月別外来患者数

年度	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
24	新 患	75	48	58	46	42	49	57	43	35	50	50	63	616
	再 来	2,962	3,234	3,070	3,206	3,206	2,783	3,226	3,063	2,836	2,820	2,758	2,968	36,132
	延患者数	3,037	3,282	3,128	3,252	3,248	2,832	3,283	3,106	2,871	2,870	2,808	3,031	36,748
	一日平均	151.9	156.3	149.0	154.9	141.2	149.1	149.2	147.9	151.1	151.1	147.8	151.6	150.0
23	新 患	53	62	48	52	52	60	62	46	53	58	77	50	673
	再 来	3,055	2,893	3,086	3,000	3,347	2,986	3,040	3,195	2,978	3,021	3,052	3,154	36,807
	延患者数	3,108	2,955	3,134	3,052	3,399	3,046	3,102	3,241	3,031	3,079	3,129	3,204	37,480
	一日平均	155.4	155.5	142.5	152.6	147.8	152.3	155.1	162.1	159.5	162.1	149.0	152.6	153.6

(注) 精神科のほか、内科・歯科受診者を含む

イ 外来患者数の年次推移状況



ウ 病類別新外来患者数

年度	病類 (ICD) 区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害						
24	男	1	11	2	2	9	93	98		27	1	3	2		5	254
	女	1	1	0	1	1	110	133		22	1	16	3	1	6	296
	計	2	12	2	3	10	203	231		49	2	19	5	1	11	550
	構成比	0.4	2.2	0.4	0.5	1.8	36.8	42.0		8.9	0.4	3.5	0.9	0.2	2.0	100.0
23	男	3	8	12	5	3	98	111		13	2	0	1		13	269
	女	2	8	3	2	2	92	113		30	2	10	2		5	271
	計	5	16	15	7	5	190	224		43	4	10	3		18	540
	構成比	0.9	3.0	2.8	1.3	0.9	35.2	41.5		8.0	0.7	1.9	0.5		3.3	100.0

(注) 新外来患者とは、精神科初診患者と6ヵ月以上通院していない再初診患者のこと

工 年齢別新外来患者数

年 度	年 齢		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
	区 分									
24	男		9	39	56	85	33	20	12	254
	女		11	49	74	74	37	28	23	296
	計		20	88	130	159	70	48	35	550
	構成比		3.6	16.0	23.6	28.9	12.7	8.7	6.4	100.0
23	男		8	37	66	85	38	17	18	269
	女		13	46	74	50	27	36	25	271
	計		21	83	140	135	65	53	43	540
	構成比		3.9	15.4	25.9	25.0	12.0	9.8	8.0	100.0

オ 地域別実外来患者数

年 度			年 度			年 度		
居住地域	24	23	居住地域	24	23	居住地域	24	23
横 浜 市	2,051	2,156	横 須 賀 市	69	63	足 柄 上 郡	1	3
鶴 見 区	25	33	平 塚 市	11	11	中 井 町	0	2
神 奈 川 区	62	64	鎌 倉 市	38	49	大 井 町	0	0
西 区	59	59	藤 沢 市	62	60	松 田 町	1	0
中 区	72	81	小 田 原 市	5	5	山 北 町	0	1
南 区	369	408	茅 ケ 崎 市	14	16	開 成 町	0	0
港 南 区	417	439	逗 子 市	20	13	足 柄 下 郡	1	1
保 土 ケ 谷 区	134	144	相 模 原 市	1	2	箱 根 町	0	1
旭 区	83	77	三 浦 市	11	12	真 鶴 町	1	0
磯 子 区	157	177	秦 野 市	0	3	湯 河 原 町	0	0
金 沢 区	111	120	厚 木 市	5	8	県 内 計	2,408	2,514
港 北 区	36	30	大 和 市	12	16	東 京 都	42	23
緑 区	27	22	伊 勢 原 市	5	1	埼 玉 県	5	3
戸 塚 区	266	280	海 老 名 市	12	9	千 葉 県	6	3
瀬 谷 区	35	28	座 間 市	7	5	群 馬 県	0	0
栄 区	84	82	南 足 柄 市	6	5	栃 木 県	2	2
泉 区	76	84	綾 瀬 市	11	6	山 梨 県	0	0
青 葉 区	18	13	三 浦 郡 葉 山 町	5	1	静 岡 県	1	4
都 筑 区	20	15	高 座 郡 寒 川 町	2	3	茨 城 県	3	1
川 崎 市	53	63	愛 甲 郡	2	1	そ の 他 の 県	31	43
川 崎 区	18	14	愛 川 町	2	1	県 外 計	90	79
幸 区	8	5	清 川 村	0	0	住 所 不 明	0	0
中 原 区	14	11	中 郡	4	2	計	2,498	2,593
高 津 区	3	2	大 磯 町	3	2			
宮 前 区	4	9	二 宮 町	1	0			
多 摩 区	3	10						
麻 生 区	3	12						

(注) 新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

(2) 入退院患者の状況

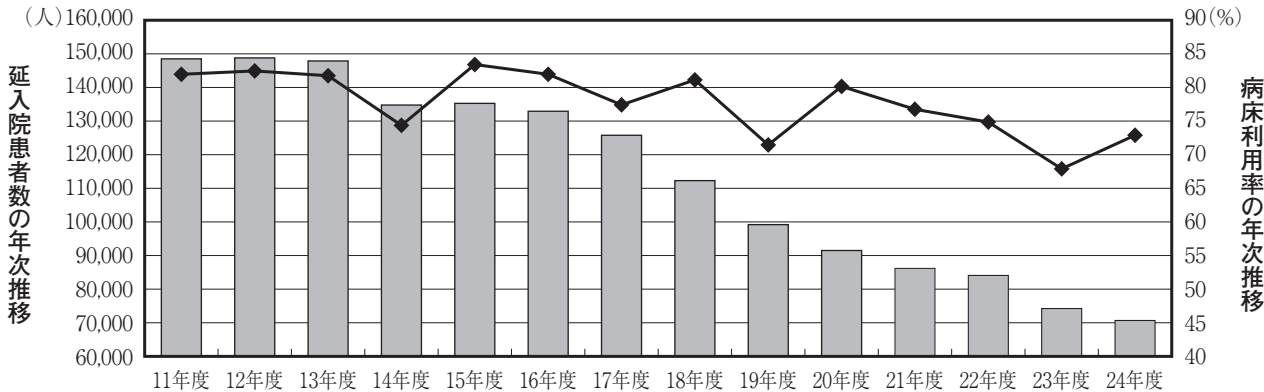
平成24年度は、延患者数70,681人で前年度と比べ3,552人減で対前年度比4.8%減となっている。病床利用率は73.0%で対前年度比4.7ポイントの増となっている。入院患者は前年度に比べ3.0%増となっている。病類別は気分障害が最も多く43.4%を占めている。これは平成20年4月からうつ病対策としてストレスケア病棟を開棟したことによるものである。入院形態は任意入院の構成比が対前年度比4.1ポイント減、医療保護入院が0.5ポイント減、措置入院が5.0ポイント増、鑑定入院は0.1ポイント減となっている。医観法入院処遇が2.6ポイント増加している。

ア 月別入退院患者数

年度	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
24	入院	48	47	53	51	41	58	57	53	53	52	48	51	612
	退院	56	55	44	50	52	35	56	52	59	36	60	57	612
	延患者数	5,709	5,711	5,383	5,750	5,784	5,643	6,135	6,025	6,274	6,359	5,753	6,155	70,681
	病床利用率	75.5	73.1	71.2	73.6	74.0	74.6	78.5	70.5	71.0	72.0	72.1	69.7	72.9
23	入院	38	52	53	50	51	53	60	55	45	51	46	40	594
	退院	49	47	52	56	49	44	55	57	48	53	43	54	607
	延患者数	5,991	6,195	6,058	6,090	6,131	6,023	6,492	6,334	6,405	6,319	5,861	6,334	74,233
	病床利用率	64.8	64.9	65.6	63.8	64.2	65.2	68.0	68.5	67.1	66.2	80.2	81.1	67.9

(注) 月別に新たに入院した数

イ 延入院患者数及び病床利用率の年次推移状況



ウ 病類別新入院患者数

年度	病類 (ICD) 区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害						
24	男	1	6	7	5		56	66		7		1	1		6	156
	女	2	2	1	1		64	73		11		7	3			164
	計	3	8	8	6		120	139		18		8	4		6	320
	構成比	0.9	2.5	2.5	1.9	0.0	37.5	43.4	0.0	5.6	0.0	2.5	1.3	0.0	1.9	100.0
23	男	2	9	5	4	3	59	64		7	1	0	1		3	158
	女	2	2	0	3	0	57	67		19	0	6	2		1	159
	計	4	11	5	7	3	116	131		26	1	6	3		4	317
	構成比	1.3	3.5	1.6	2.2	0.9	36.6	41.3	0.0	8.2	0.3	1.9	0.9	0.0	1.3	100.0

(注) 新入院患者とは、当病院に初めて入院した患者のこと

工 病類別・年齢別実入院患者数

年度	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	年齢構成比
	年齢	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
24	19歳以下	男						2			2					2	6	2.2
		女						3	1		2			1			7	
		小計						5	1		4			1		2	13	
	20～29歳	男		3			1	15	7		4					3	33	10.3
		女		1				12	7		4		2	2		1	29	
		小計		4			1	27	14		8		2	2		4	62	
	30～39歳	男		1		1	3	49	9		2			1		2	68	21.3
		女			1	1	1	32	17		5		3				60	
		小計		1	1	2	4	81	26		7		3	1		2	128	
	40～49歳	男		1	4		3	42	39					5		2	96	30.6
		女		1	1			45	33		6		2				88	
		小計		2	5		3	87	72		6		2	5		2	184	
	50～59歳	男		1	1		1	23	13		2		1				42	14.7
		女						19	23		1		2	1			46	
		小計		1	1		1	42	36		3		3	1			88	
	60～69歳	男		4				22	13								39	14.7
		女	1					35	12		1						49	
		小計	1	4				57	25		1						88	
	70歳以上	男		4				8	6								18	6.2
		女	1	2				4	12								19	
		小計	1	6				12	18								37	
	計	男	0	14	5	1	8	161	87		10		1	6		9	302	100.0
		女	2	4	2	1	1	150	105		19		9	4		1	298	
		計	2	18	7	2	9	311	192		29		10	10		10	600	
		構成比	0.3	3.0	1.2	0.3	1.5	51.8	32.0		4.8		1.7	1.7		1.7	100.0	
年度	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	年齢構成比
	年齢	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
23	19歳以下	男						5			1					1	7	2.2
		女						3	2		3			1		1	10	
		小計						8	2		4			1		2	17	
	20～29歳	男		2				26	5		2	1		1		4	41	9.2
		女				1		11	7		8		2	2			31	
		小計		2		1		37	12		10	1	2	3		4	72	
	30～39歳	男		1		1	1	47	16		1			3		3	73	20.1
		女				2	2	50	18		8		5				85	
		小計		1		3	3	97	34		9		5	3		3	158	
	40～49歳	男		6	4	3	2	61	35		2			1		1	115	27.9
		女						63	29		8		3	1			104	
		小計		6	4	3	2	124	64		10		3	2		1	219	
	50～59歳	男		2			1	51	28		4						86	17.7
		女						27	21		5						53	
		小計		2			1	78	49		9						139	
	60～69歳	男		3	2		1	40	7		3						56	15.6
		女	2	2				40	19		3						66	
		小計	2	5	2		1	80	26		6						122	
	70歳以上	男	4	4				11	9					1			29	7.3
		女	1					13	14								28	
		小計	5	4				24	23					1			57	
	計	男	4	18	6	4	5	241	100		13	1		6		9	407	100.0
		女	3	2		3	2	207	110		35		10	4		1	377	
		計	7	20	6	7	7	448	210		48	1	10	10		10	784	
		構成比	0.9	2.5	0.8	0.9	0.9	57.1	26.8		6.1	0.1	1.3	1.3		1.3	100.0	

(注) 実入院患者数とは、前年度末に在院していた患者数に、当年度に新たに入院した患者数を足した数

オ 地域別実入院患者数

年度 居住地域		24	23	年度 居住地域		24	23	年度 居住地域		24	23
横 浜 市		483	547	横 須 賀 市	21	18	足 柄 上 郡	0	3		
	鶴 見 区	6	8	平 塚 市	5	9	中 井 町	0	2		
	神 奈 川 区	16	19	鎌 倉 市	8	16	大 井 町	0	0		
	西 区	18	19	藤 沢 市	38	39	松 田 町	0	0		
	中 区	18	18	小 田 原 市	3	2	山 北 町	0	1		
	南 区	75	87	茅 ケ 崎 市	10	13	開 成 町	0	0		
	港 南 区	81	107	逗 子 市	9	5	足 柄 下 郡	1	0		
	保 土 ケ 谷 区	38	44	相 模 原 市	1	25	箱 根 町	1	0		
	旭 区	26	22	三 浦 市	1	3	真 鶴 町	0	0		
	磯 子 区	31	43	秦 野 市	0	2	湯 河 原 町	0	0		
	金 沢 区	32	30	厚 木 市	4	5	県 内 計	650	760		
	港 北 区	19	13	大 和 市	7	11	東 京 都	22	6		
	緑 区	10	8	伊 勢 原 市	3	0	埼 玉 県	2	0		
	戸 塚 区	47	74	海 老 名 市	5	3	千 葉 県	5	0		
	瀬 谷 区	10	7	座 間 市	5	2	茨 城 県	1	1		
	栄 区	20	19	南 足 柄 市	2	4	群 馬 県	3	0		
	泉 区	21	24	綾 瀬 市	5	1	栃 木 県	0	2		
	青 葉 区	7	3	三 浦 郡 葉 山 町	3	1	静 岡 県	0	4		
	都 筑 区	8	2	高 座 郡 寒 川 町	0	1	そ の 他 の 県	23	8		
	川 崎 市		30	46	愛 甲 郡	2	2	県 外 計	56	21	
川 崎 区		10	10	愛 川 町	2	2	住 所 不 明	0	3		
幸 区		3	3	清 川 村	0	0	計	706	784		
中 原 区		5	4	中 郡	4	2					
高 津 区		2	3	大 磯 町	3	2					
宮 前 区		4	8	二 宮 町	1	0					
多 摩 区		1	7								
麻 生 区		5	11								

カ 入院費負担区分別患者数（平成24年3月末現在在院患者一覧表）

年度	負担区分 区分	健康保険法		国民健康 保 険 法	生 活 保 護 法	精神保健 福 祉 法	感染症法 (第37条)	自 費	そ の 他	計
		本 人	家 族							
24	男	5	4	72	18	5			13	117
	女	4	9	37	11	4			8	73
	計	9	13	109	29	9			21	190
	構成比	4.2	7.4	62.1	19.5	5.2			1.6	100.0
23	男	7	7	73	18	6			3	114
	女	1	7	45	19	4				76
	計	8	14	118	37	10			3	190
	構成比	4.2	7.4	62.1	19.5	5.2			1.6	100.0

（注）本表のその他とは、「臨床研究入院」「医療観察法」等の患者が含まれる

キ 入院形態別患者数

年度	形態	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		区分													
24	任意	男	13	6	6	9	4	13	7	4	9	7	7	3	88
		女	4	10	14	11	10	11	14	12	7	8	6	12	119
		小 計	17	16	20	20	14	24	21	16	16	15	13	15	207
		構成比	35.4	34.0	37.7	39.2	34.1	41.4	43.4	30.2	30.2	28.8	27.1	29.4	33.8
	医療保護	男	9	9	7	8	16	10	13	10	11	7	10	10	120
		女	11	9	13	10	6	12	5	10	11	7	9	11	114
		小 計	20	18	20	18	22	22	18	20	22	14	19	21	234
		構成比	41.7	38.3	37.7	35.3	53.7	37.9	31.6	37.7	41.5	26.9	39.6	41.2	38.2
	措置	男	3	7	9	7	1	4	10	7	3	13	8	5	77
		女	7	3	4	3	4	7	7	4	7	8	2	8	64
		小 計	10	10	13	10	5	11	17	11	10	21	10	13	141
		構成比	18.9	18.9	24.5	18.9	9.4	20.8	32.1	20.8	18.9	39.6	18.9	25.5	23.0
	鑑 定	男								1					1
		女													0
		小 計								1					1
		構成比								1.9					0.2
	医 観 法 特例措置	男													
		女													
		小 計													
		構成比													
	医 観 法 入院処遇	男								3	3	1	3	1	11
		女								2	2	1	1	1	
		小 計								5	5	2	4	2	18
		構成比								8.6	8.6	3.4	6.9	3.4	2.9
	臨床研究	男	1	3					1				1		6
		女				3		1					1		5
		小 計	1	3		3		1	1				2		11
		構成比	2.1	6.4		6.4		2.1	1.8				3.5		1.8
	計	男	26	25	22	24	21	27	31	25	26	28	29	19	303
		女	22	22	31	27	20	31	26	28	27	24	19	32	302
		計	48	47	53	51	41	58	57	53	53	52	48	51	612
23	任意	男	4	13	10	8	9	8	11.0	8	5	7	6	7	96
		女	9	11	12	13	11	11	15	14	11	11	10	8	136
		小 計	13	24	22	21	20	19	26	22	16	18	16	15	232
		構成比	27.1	51.1	41.5	41.2	48.8	32.8	43.4	41.5	30.2	34.6	33.3	29.4	37.9
	医療保護	男	10	9	10	4	10	14	11	12	12	13	10	11	126
		女	6	3	11	13	14	11	7	9	7	13	11	6	111
		小 計	16	12	21	17	24	25	18	21	19	26	21	17	237
		構成比	33.3	25.5	39.6	33.3	58.5	43.1	31.6	39.6	35.8	50.0	43.8	33.3	38.7
	措置	男	4	7	6	5	5	4	6	5	7	4	4	3	60
		女	5	7	3	4	1	3	8	4	3	3	5	4	50
		小 計	9	14	9	9	6	7	14	9	10	7	9	7	110
		構成比	18.8	29.8	17.0	17.6	11.7	12.1	24.6	17.0	18.9	13.5	19.5	13.7	18.0
	鑑 定	男								1					1
		女					1								1
		小 計					1			1					2
		構成比					2.4			1.9					0.3
	医 観 法 特例措置	男													
		女													
		小 計													
		構成比													
	医 観 法 入院処遇	男				1		1							2
		女													
		小 計				1		1							2
		構成比				2.0		1.7							0.3
	臨床研究	男		1	1	2			2	1				1	8
		女		1				1		1					3
		小 計		2	1	2		1	2	2				1	11
		構成比		4.3	1.9	3.9		1.7	3.5	3.8				2.0	1.8
	計	男	18	30	27	20	24	27	30	27	24	24	20	22	293
		女	20	22	26	30	27	26	30	28	21	27	26	18	301
		計	38	52	53	50	51	53	60	55	45	51	46	40	594

ク 病類別・在院期間別在院患者数

年度	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
			老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
	期間	区分																
24	1年未満	男		13	8	1	8	133	83		20	2	4	6		4	282	95.4
		女		5	2	3	1	142	70		14	1	13	5			256	
		小計		18	10	4	9	275	153		34	3	17	11		4	538	
	1～2年	男						4									4	0.9
		女						1									1	
		小計						5									5	
	3～4年	男						7									7	2.1
		女						5									5	
		小計						12									12	
	5～9年	男		1				1									2	1.2
		女						4	1								5	
		小計		1				5	1								7	
	10～19年	男															0	0.0
		女															0	
		小計															0	
	20～29年	男						1									1	0.2
		女															0	
		小計						1									1	
	30年以上	男						1									1	0.2
		女															0	
		小計						1									1	
	計	男		14	8	1	8	147	83		20	2	4	6		4	297	100.0
		女		5	2	3	1	152	71		14	1	13	5			267	
		計		19	10		9	299	154		34	3	17	11		4	564	
		構成比		3.4	1.8		1.6	53.0	27.3		6.0	0.5	3.0	2.0		0.7	99.3	
年度	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
			老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
	期間	区分																
23	1年未満	男		4	1			31	12		2			1		1	52	16.8
		女					1	25	14		2			1			43	
		小計		4	1		1	56	26		4			2		1	95	
	1～2年	男		1				18	1								20	5.5
		女						11									11	
		小計		1				29	1								31	
	3～4年	男						7	1								8	2.3
		女						5									5	
		小計						12	1								13	
	5～9年	男						10									10	3.7
		女						11									11	
		小計						21									21	
	10～19年	男						14	1								15	3.5
		女						5									5	
		小計						19	1								20	
	20～29年	男						6									6	1.2
		女						1									1	
		小計						7									7	
	30年以上	男						3									3	0.5
		女															0	
		小計						3									3	
	計	男		5	1			89	15		2			1		1	114	33.7
		女					1	58	14		2			1			76	
		計		5	1		1	147	29		4			2		1	190	
		構成比		0.9	0.2		0.2	26.1	5.1		0.7			0.4		0.2	33.7	

ケ 病類別・転帰別退院患者数

病類(ICD)			脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
年度	転帰	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
24	全快	男																
		女																
		小計																
	軽快	男	2	5	4	1	7	90	56		12	1	2	4	1	5	190	67.0
		女	3			1	1	105	82		13	1	10	2		2	220	
		小計	5	5	4	2	8	195	138		25	2	12	6	1	7	410	
	未治	男						1	6		1			1			9	4.6
		女			1	1		4	8		5						19	
		小計			1	1		5	14		6			1			28	
	転医	男		6	4		1	51	15		2		2	1		4	86	25.5
		女		2	1	1		42	14		4		3	3			70	
		小計		8	5	1	1	93	29		6		5	4		4	156	
	死亡	男						4									4	1.0
		女						1	1								2	
		小計						5	1								6	
	鑑定了	男						1									1	0.2
		女															0	
		小計						1									1	
医観法入院処遇終了	男															0	0.0	
	女															0		
	小計						0									0		
臨研終了	男							7								7	1.8	
	女							4								4		
	小計							11		0						11		
計	男	2	11	8	1	8	147	84		15	1	4	6	1	9	297	100.0	
	女	3	2	2	3	1	152	109		22	1	13	5		2	315		
	計	5	13	10	4	9	299	193		37	2	17	11	1	11	612		
	構成比	0.7	3.6	2.0	2.3	0.5	49.2	26.2		7.9	0.2	3.0	2.3	0.0	2.1	100.0		

病類(ICD)			脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
年度	転帰	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
23	全快	男																
		女																
		小計																
	軽快	男	1	7	5	5	2	102	58		8		3	4		9	204	71.6
		女		4	1	5		105	65		29		15	6		4	234	
		小計	1	11	6	10	2	207	123		37		18	10		13	438	
	未治	男		1				3	5		1						10	2.9
		女		1				2	3		2						8	
		小計		2				5	8		3						18	
	転医	男	1	9	6	3	1	49	9		3			3			84	21.7
		女	2			1		32	8		4	1		1			49	
		小計	3	9	6	4	1	81	17		7	1		4			133	
	死亡	男						2									2	0.5
		女						1									1	
		小計						3									3	
	鑑定了	男						1									1	0.3
		女							1								1	
		小計						1	1								2	
医観法入院処遇終了	男						2									2	0.3	
	女															0		
	小計						2									2		
臨研終了	男							7		1						8	1.8	
	女							3								3		
	小計							10		1						11		
計	男	2	17	11	8	3	159	79		13		3	7		9	311	99.2	
	女	2	5	1	6		140	80		35	1	15	7		4	296		
	計	4	22	12	14	3	299	159		48	1	18	14		13	607		
	構成比	0.7	3.6	2.0	2.3	0.5	49.2	26.2		7.9	0.2	3.0	2.3		2.1	100.0		

コ 病類別・在院期間別退院患者数（24年度）

病類(ICD)	期間	区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
			老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
1年未満	男		2	11	8	1	8	133	84		14	1	4	6	1	9	282	95.3
	女		3	2	2	3	1	142	108		22	1	13	5		2	304	
	小計		5	13	10	4	9	275	192		36	2	17	11	1	11	586	
1～2年	男							4			1						5	2.0
	女							1									1	
	小計							5			1						6	
3～4年	男							7									7	1.0
	女							5									5	
	小計							12									12	
5～9年	男							1									1	0.8
	女							4	1								5	
	小計							5	1								6	
10～19年	男																0	0.7
	女																0	
	小計																0	
20～29年	男							1									1	0.2
	女																	
	小計							1									1	
30年以上	男							1										0.0
	女																	
	小計							1										
計	男		2	11	8	1	8	147	84		15	1	4	6	1	9	297	100.0
	女		3	2	2	3	1	152	109		22	1	13	5		2	315	
	計		5	13	10	4	9	299	193		37	2	17	11	1	11	612	
	構成比		0.8	2.1	1.6	0.7	1.5	48.9	31.5	0.0	6.0	0.3	2.8	1.8	0.2	1.8	100.0	

(3) 救急医療の状況

年度	月	区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
24	取扱件数		(10)	(12)	(13)	(12)	(8)	(13)	(19)	(11)	(13)	(22)	(14)	(14)	(161)
			24	19	15	22	16	24	27	21	23	28	21	27	267
	入院		(10)	(10)	(13)	(11)	(7)	(12)	(16)	(11)	(11)	(21)	(10)	(13)	(145)
			18	15	15	18	10	19	21	20	17	25	14	20	212
	外来処置		(0)	(2)	(0)	(1)	(1)	(1)	(3)	(0)	(2)	(1)	(4)	(1)	(16)
			6	4	0	4	6	5	6	1	6	3	7	7	55
23	取扱件数		(12)	(14)	(9)	(10)	(7)	(7)	(15)	(10)	(11)	(8)	(8)	(7)	(118)
			19	21	14	27	17	22	26	18	23	24	16	17	244
	入院		(9)	(13)	(9)	(9)	(6)	(7)	(14)	(9)	(10)	(7)	(8)	(7)	(108)
			13	17	12	18	15	16	19	15	17	15	14	13	184
	外来処置		(3)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(10)
			6	4	2	9	2	6	7	3	6	9	2	4	60

(注) () は、精神保健診察件数で内数

5 業務の状況

(1) 看護

ア 看護局の概要

(ア) 病院機能と看護職員配置（H25. 3. 31現在）

看護局長 1名		副看護局長（業務担当）1名 （教育担当）1名			
病棟	病棟機能	病床数	看護科長	看護職員 定数	病棟 技能員
A-2	ストレスケア病棟 開放病棟	37 保護室 1	1	16	2
A-3	総合治療病棟 閉鎖病棟	50 保護室 6 静養室 6	1	20	2
B-1	救急病棟 閉鎖病棟	26 保護室14 静養室 4	1	29	2
B-2	救急病棟 閉鎖病棟	34 保護室 6 静養室 5	1	20	2
B-3	医療介護病棟 （含重症認知症・結核） 閉鎖病棟	45 結核 2 一般病床 保護室 2 静養室 2	1	24	2
C-2	一般病棟 閉鎖病棟	60 保護室 3 静養室 2	1	20	2
F病棟 （医療観察法病棟）	医療観察法病棟 閉鎖病棟	33	1	42	1
休 床		23			
小 計		308	7	171	13
外 来			1	6	
医療安全推進室				1	
地域医療相談室				4	
デイ・ケア				1	
看護教育科				1	
看護局	看護管理			3	
合 計			8	187	13

(イ) 看護局活動

<看護局理念>

私たちは患者さんの尊厳と人権を尊重し最善の利益を考えた看護を提供します。

<看護局方針>

患者さんの自己決定・自立を支援し患者さんと共に可能性にチャレンジします。

〈平成24年度 看護局目標評価〉

看護局目標	中位目標	評価指標
1. 患者さんの自立を推進し、満足度の高い看護を提供します。	1) ヘンダーソンの看護論を活用した看護を提供します。	・看護論講義参加率80% ・講義理解率60%
	2) チーム医療を推進します。	・多職種と行うカンファレンスの実施
	3) 安全で安心な看護を提供します。	・薬剤関連レベル2以上を7件以下 ・患者誤認を0件 ・業務改善件数
2. 新棟整備に積極的に参画し、精神医療センターの未来にむけて環境を整えます。	1) 標準看護計画、看護基準、看護記録等の整備と定着を推進します。	・標準看護計画の見直し件数 ・看護基準見直し件数 ・看護記録の整備

評 価															
○7月11日、31日、10月5日の講義に167名の参加があり、94.4%の参加率であった。 「4つの主要概念」「常在条件と病理的状态」「基本的看護の構成要素」の理解度は、「わかった」「おおよそわかった」が80%であった。 また、看護科長代理、現任、実習指導、記録委員会等でペーパーパーシェントで看護展開し理解を深めた。 【次年度の課題】 学習の継続と実践の中でヘンダーソンの看護論を用いて看護過程を展開することが必要。															
○医師、多職種等でカンファレンスを実施した。(表1)カンファレンスを行うことで、統一した看護の提供や在宅への移行がスムーズであった。 (表1) <table border="1"> <tr> <td>A2</td><td>毎週月曜日に多職種とのカンファレンスを実施し、情報の共有ができた。</td></tr> <tr> <td>A3</td><td>医師、PSWと連携し112回のカンファレンスを実施した。そのうち、患者参加カンファレンス38回、家族参加カンファレンス8回であった。</td></tr> <tr> <td>B2</td><td>163回実施できた。(H24年4月～H25年1月まで)</td></tr> <tr> <td>B3</td><td>医師とのカンファレンスは、月～金まではほぼ毎日実施できた。多職種とのカンファレンスは、2回/月実施できた。</td></tr> <tr> <td>C2</td><td>OTとのカンファレンスは、1回/月実施した。</td></tr> <tr> <td>F</td><td>多職種チームで治療状況の確認を行い、治療に取り組むことができた。</td></tr> <tr> <td>外来</td><td>医事課との話し合いでスムーズに外来受診できるよう改善した。また、B1病棟と連携し退院前後の訪問を実施し効果的であった。</td></tr> </table>		A2	毎週月曜日に多職種とのカンファレンスを実施し、情報の共有ができた。	A3	医師、PSWと連携し112回のカンファレンスを実施した。そのうち、患者参加カンファレンス38回、家族参加カンファレンス8回であった。	B2	163回実施できた。(H24年4月～H25年1月まで)	B3	医師とのカンファレンスは、月～金まではほぼ毎日実施できた。多職種とのカンファレンスは、2回/月実施できた。	C2	OTとのカンファレンスは、1回/月実施した。	F	多職種チームで治療状況の確認を行い、治療に取り組むことができた。	外来	医事課との話し合いでスムーズに外来受診できるよう改善した。また、B1病棟と連携し退院前後の訪問を実施し効果的であった。
A2	毎週月曜日に多職種とのカンファレンスを実施し、情報の共有ができた。														
A3	医師、PSWと連携し112回のカンファレンスを実施した。そのうち、患者参加カンファレンス38回、家族参加カンファレンス8回であった。														
B2	163回実施できた。(H24年4月～H25年1月まで)														
B3	医師とのカンファレンスは、月～金まではほぼ毎日実施できた。多職種とのカンファレンスは、2回/月実施できた。														
C2	OTとのカンファレンスは、1回/月実施した。														
F	多職種チームで治療状況の確認を行い、治療に取り組むことができた。														
外来	医事課との話し合いでスムーズに外来受診できるよう改善した。また、B1病棟と連携し退院前後の訪問を実施し効果的であった。														
○薬剤関連レベル2以上は、10件であった。その内訳は、注射点滴2件、内服薬7件、その他1件であった。事故防止の取り組みとして、与薬手順の見直しを行った。また、与薬のKYT自問自答カードを作成し配布した。 ○患者誤認は、6件発生し目標達成できなかった。 【次年度の課題】 薬剤関連、患者誤認について、目標達成できなかったので手順の周知徹底を図る。															
○私物洗濯の委託化 今まで非常勤職員を雇用し入院患者の私物洗濯を行ってきた。安価な料金で芹香病院の経営を圧迫していた。看護科長会が中心となり業務改善に取り組んだ。洗濯代の支払い、回収と納品、感染・便等の汚染時等の問題を解決し3月トライアルし、次年度4月1日から稼働する予定。 ○経管・経腸栄養剤の見直し 深夜の注入を朝7時30分としまた市販の半固形化の経腸栄養剤を使用することで、患者にとって生活時間の見直しと業務の効率化が図れた。 ○外来では、A2病棟の入院前検査を病棟・医事課・検査科・医療相談室と相談し実施することができた。 【次年度の課題】 新棟整備に向け、業務の統一・効率化を進めていく。															
○ヘンダーソンの14項目に合わせ、標準看護計画の分類を整理した。表記や作成手順の統一を図り10項目の見直しを行った。未検討・未立案が40%残っており、次年度引き続き検討を進める。 看護基準は、修正・見直しを行い看護手順の様式を整え、日常生活援助の11項目について見直し及び修正を行った。看護記録は、初期計画1週間以内、急性期の計画が1ヶ月、慢性期の計画は3ヶ月以内に評価・修正は、78%であった。自己監査チェック表の見直しを行い使用した。自己監査チェックは、全員が行うことはできなかった。 【次年度の課題】 標準看護計画・看護基準の見直し・修正ができていない項目があるので引き続き行う。															

看護局目標	中位目標	評価指標
	2) 人材育成を支援します。	・キャリア形成支援マニュアルを完成させる ・新採用者離職率0% ・中途採用者離職率0%
	3) ワークバランスを支援します。	・年休所得日数15日 ・時間外 ・私療者数、日数昨年より減少
	4) 円滑なベッドコントロールと退院支援を推進します。	・病床利用率79.9%

評

価

○他の病院機構のキャリア形成支援マニュアルを参考に精神医療センターの特徴を加味し、12月に完成した。看護科長、看護科長代理、現任教育担当者に配布した。全職員には、ステップ申請に関する部分を抜粋し配布した。次年度から適用していく。

○プリセプター・プリセプティの支援を現任教育と協力しながら、看護科長代理が統括した。また、新採用者全員と中途採用の希望者に、6～7月にかけてカウンセリングを実施した。また、1年目の新採用者、中途採用者と2年目の新採用者を対象に、「10分トーク」を計画し実施した。教育科が関わることで日ごろセクションで言えない思いを打ち明けるものもいた。新採用者は離職率0%であったが、中途採用者は1名の退職があった。

【次年度の課題】

病棟全体で新採用者を育てる職場環境の整備と引き続き「10分トーク」を継続する。

○ワークバランスについては、3交代勤務での「正循環」利用は2セクションのみであった。深夜入りの日勤での時間年休取得に努めた。また、夜勤時間をは、72時間を超過することはほとんどなく実施できている。

年休取得については、深夜入り前の時間年休取得や外来はお誕生日休暇を全員が取得するなど工夫し全体で14.2日取得できた。平成23年度は、12.3日で約2日多く取得できた。各セクションの年休平均取得日数は、表参照。

H23年度は、Fの数字はC3病棟

	A2	A3	B1	B2	B3	C2	F	外来
24年度年休平均取得日数	12.6	16.8	14.5	14.7	14.3	12.2	13.2	16.4
23年度年休平均取得日数	11.9	11.1	12.5	13	14.1	11.3	13.7	13.1

2交代勤務を行っている病棟では、「疲労蓄積度」は軽度上昇している。患者数の増加や「医療観察法」病棟の業務の特殊性によるものか明らかではない。今後も引き続き経過を見ていく。

○時間外

H23年度は、Fの数字はC3病棟

	A2	A3	B1	B2	B3	C2	F	外来	看護局	全体
24年度時間外	2.1	2.1	2.4	3.7	2.2	1.5	3.6	1.4	30.6	5.5
23年度時間外	1.7	1.1	2.4	3.2	1.5	8.4	7.6	1.3	15.3	4.9

○私療については、24年度が484日で、23年度は347日であった。対象者の数は減少しているが、23年度から引き続き治療を要することと私療期間が長いことが増加した要因と考えられる。

【次年度の課題】

スタッフ一人ひとりが元気で働き続けられるよう、働きやすい勤務・環境を整える。

○ベッドコントロール会議で情報の共有を図り、転棟の調整を行った。B1病棟に入院要請は、全症例受け入れた。B2病棟と協力し、受け入れ体制を整えた。B2病棟は、他の病棟に転棟調整を行った。

ストレス病棟は、「病棟見学会と講演会」の実施とクリニックの訪問を行い病棟の広報活動を行った。

回復リハビリ病棟の長期入院患者に対しては、地域医療相談室担当者と調整し、グループホームや施設見学や申し込みを行った。その結果、32名が退院できた。

病棟間の調整や啓蒙活動を行ったが、目標は達成できなかった。

	A2	A3	B1	B2	B3	C2	F	合計
24年度目標値(%)	75	86.4	85	85	75.3	80	60.5	79.9
平成24年度	58.8	80.3	85.5	86.5	72.3	70.6	37.8	72.9
平成23年度	59.9	77.1	84.7	83.3	63.7	64.6	0	67.9

*平成24年度合計の病棟利用率は、285床に対しての計算

【次年度の課題】

各セクションが目標達成できる対策を検討し、また外来と病棟、病棟間の連携を強化する。

(ウ) 看護教育

a 平成24年度 院内教育研修実施状況

研修名		ねらい	方法	研修日	時間	対象者	人数	担当
支援プログラム	採用時研修	精神医療センター組織の一員としての自覚を持つことができる（新卒新採用・転入者）＊既卒者・転入者は希望項目参加	・講義 ・演習 ・病院見学	4/2(月) ～ 4/6(金)	5 日間 (1 日 8 時間) (8:30-17:15)	平成24年度 新採用者 既卒新採用者 転入者	27名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 看護教育科
	接遇研修	看護師として必要な接遇の実践を学ぶ	・講義 ・ロールプレイ	5/30(木)	3 時間15分 (14:00-17:15)	平成24年度 新採用者 転入者	26名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 看護教育科
	基礎技術研修② (精神科看護技術)	精神科における専門的な看護技術の実践を学ぶ	・講義 ・デモンストレーション ・演習	4/24(火) 4/27(金)	3 時間45分 (13:30-17:15)	新卒新採用者 他科長が必要と認めた者	26名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 3 名
	基礎技術研修① (救急蘇生法)	看護師として必要な急変時の基礎的対応を学ぶ	・講義 ・演習 ・デモンストレーション	6/29(金)	3 時間45分 (13:30-17:15)	新卒新採用者 他科長が必要と認めた者	16名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 4 名 主任看護師 1 名
	フォローアップ研修 (新卒新採用)	入職してからの3ヶ月を振り返り、今後の看護実践への活力につなげる	・自然散策 ・GW	6/29(金)	3 時間 (9:00-12:30)	既卒新採用者・転入者	19名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 看護教育科
	フォローアップ研修 (既卒・転入)	入職してからの様々な思いや看護を、仲間と共有し、精神医療センターの看護師としてこれまでの経験を活かしながら取り組んでいく心構えができる	・自然散策 ・GW	6/1(金)	3 時間45分 (13:30-17:15)	新卒新採用者	7 名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 1 名
ステップⅠ	看護倫理Ⅰ (看護専門職としての倫理)	専門職としての倫理を再確認し、センターの看護師としての行動につなげる	・講義「看護倫理とは」 ・GW (WILL/CAN/MUST)	7/2(月) 7/9(月)	1 時間45分 (15:30-17:15) 3 時間45分 (13:30-17:15)	ステップⅠを申請する者	13名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 2 名
	看護過程Ⅰ (看護理論の理解)	V.ヘンダーソンの看護論を学習し、看護実践のための観察・判断能力を養う	・講義(ヘンダーソン看護論について) ・GW (ペーパーベシエントを用いて)	7/31(火) 講義：公開(外部講師) 9/3(月)	2 時間15分 (15:00-17:15) 3 時間45分 (13:30-17:15)		13名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 1 名 教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 1 名
	チームメンバー研修	チームナーシングについて理解を深め、メンバーシップを発揮するための能力を養う	・1 日以上リーダーと共に行動する。 ・講義「チームナーシングとは」 ・GW (カード法)	12/3(月)	3 時間45分 (13:30-17:15)		12名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 1 名
	看護倫理Ⅱ (精神科看護と倫理)	精神科看護における倫理的課題について理解する	・講演会(公開) ・討議 ・セッション発表	6/21(木)	3 時間45分 (13:30-17:15)		34名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 1 名
ステップⅡ	リーダーシップⅠ (チーム医療におけるリーダーシップ)	チーム医療の中で、リーダーシップを発揮できる能力を養う。	・講義「チームリーダー、リーダーシップ」 ・GW (カード法)	9/12(木)	3 時間45分 (13:30-17:15)	ステップⅠ以上の者、また看護科長が認める者	24名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 1 名
	看護過程Ⅱ (事例検討)	自己の看護を客観的に見つめ、個別性を踏まえた看護実践について考える	・講義(ヘンダーソン看護論について) ・オリエンテーション ・GW (事例について考える)	10/5(金) 講義：公開(外部講師) 11/14(木)	2 時間15分 (15:00-17:15) 3 時間45分 (13:30-17:15)		20名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 1 名

研修名		ねらい	方法	研修日	時間	対象者	人数	担当
ステップⅢ	人間関係研修	看護師としてのアサーティブなコミュニケーションを行うための知識・技術を学ぶ	・講義（公開） ・演習	10/15(月) 講 義：公開 （外部講師）	8 時間 (9:00-17:15)	ステップⅡ以上の者 また、看護科長が認める者	12名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 1 名
	リーダーシップⅡ (問題解決)	問題解決法を学び、セクションの課題を捉え、リーダーシップ能力を発揮した問題解決への取り組みができる	・講義、GW	6/22(金)	3 時間15分 (14:00-17:15)		5 名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 2 名
			・GW（テーマ、計画の検討）	7/27(金)	3 時間15分 (14:00-17:15)			
			・GW（取り組み経過の検討）	9/13(木)	3 時間15分 (14:00-17:15)			
			・取り組み発表	12/13(木)	3 時間15分 (14:00-17:15)			
	看護過程Ⅲ (看護理論の活用①)	V.ヘンダーソンの看護論の理解を通じて自己の看護実践の意味づけができる	・講義（ヘンダーソン看護論について） ・「ケース・スタディとは」	7/11(水) 講 義：公開 （ 外 部 講師）	3 時間45分 (13:30-17:15)		13名	教育担当副看護局長 看護教育科 現任教育担当看護師 2 名
			・ケーススタディ発表	11/16(金)	3 時間45分 (13:30-17:15)			
ステップⅣ	看護過程Ⅳ (看護理論の活用②) *専門研修読み替え可	セルフケア理論（オレム－アンダーウッド看護論）を学習通して精神看護についての理解を深める	・オリエンテーション（研修の進め方）	9/7(金)	3 時間15分 (14:00-17:15)	ステップⅢ以上の者 また、看護科長が認める者”	3 名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 2 名
	・GW（事例について考える）		11/8(木)	3 時間45分 (13:30-17:15)				
	教育研修	スタッフ教育ができる能力を養う	・講義「講義案作成」	6/15(金) 講 義：公開	3 時間45分 (13:30-17:15)		5 名	
			・GW 講義案の検討	9/10(月)	3 時間45分 (13:30-17:15)			
			・講義案に基づいて実践	10月以降	未定			
	看護研究	日常の課題を研究的視点で捉え探求のためのリーダーシップが取れる	・ 4 月 オリエンテーション	4 /12(木)16:00～17:15 6 月中旬：研究計画書提出 1 月上旬：発表抄録提出→発表	4 名			
	Ⅴ	教育活動	ポイント制*累積50ポイントで申請ができる。教育活動・研究活動の双方は必ずポイントをとる。ただし、10ポイントは看護研究を院外発表することにより取得する。					
研究活動								
役割研修	新主任研修	主任としての認識を深め、自己の役割に積極的に取り組める	・講義 ・GW（カード法）	4/16(月)	3 時間15分 (14:00-17:15)	平成24年度プリセプター予定者	12名 (他聴講 3 名)	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 1 名
	プリセプターⅠ	プリセプターシップについて理解しプリセプターとしての役割行動につなげることができる	・講義 ・ロールプレイ	1/18(金)	3 時間45分 (13:30-17:15)	平成25年度プリセプター予定者	5 名	
	プリセプターⅡ	指導の中で生じた疑問や不安を軽減し、プリセプターとしての自己の課題を明確にできる	・GW（レポートをもとに討議）	6/13(木)	3 時間45分 (13:30-17:15)		12名	
	看護科長研修 (病院毎による)	看護管理実践能力の向上をはかる	・講義	5/7(月)	1 時間 (14:00-15:00)		8名	
			・講義	5/9(木)	30分 (15:00-15:30)			
			・GW	5/23(木)	1 時間 (13:30-14:30)			
	実習指導者新任研修	実習指導者としての役割を学び、看護教育についての理解を深める	・講義 「実習指導者の役割」	5/24(木)	1 時間45分 (15:30-17:15)	平成23年度プリセプター担当者	10名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師 2 名
静脈注射研修	静脈注射の実際	医師の指示に基づいた静脈注射を安全に実施するために必要な知識・技術を習得する	・講義 1 回 (7/11) ・演習 ・テスト	7/11 ～ 8/2の間		精神医療センター看護職員 (非常勤、契約除く)	18名	静脈注射検討部会

研修名		ねらい	方法	研修日	時間	対象者	人数	担当
精神看護専門研修	新主任研修	主任としての認識を深め、自己の役割について積極的に取り組める。		4/21	2 時間 14:00-16:00	・精神科看護経験4年間ある者 ・キャリア形成過程ステップⅢ以上	9 名	教育担当副看護局長 看護教育科
講演等	看護研究基礎研修	論理的思考を養うとともに、チームの一員として研究に取り組むための基礎的知識を養う	・講義「看護研究のための基礎」	5/7(月)	1 時間15分 (16:00-17:15)	本年度看護研究に取り組む看護職員とそのメンバー	13 名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科
				5/14(月)	1 時間15分 (16:00-17:15)			
			・Aグループ 1 回目 4 セクション個別指導	5/29(火)	2 時間15分 (15:00-17:15)			
			・Bグループ 1 回目 4 セクション個別指導	5/31(木)	2 時間15分 (15:00-17:15)			
			・Aグループ 2 回目 4 セクション個別指導	6/11(月)	2 時間15分 (15:00-17:15)			
			・Bグループ 2 回目 4 セクション個別指導	6/18(月)	2 時間15分 (15:00-17:15)			
	公開講義	精神障害における老年期を知ろう	精神科認定看護師による	8/3(金)	1 時間30分 (17:30-19:00)	全看護職員 院外看護職員	6名 (院外2名)	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
		行動制限、その法律と歴史		11/16(金)			18名 (院外4名)	
		精神科薬物療法		11/30(金)			14名 (院外6名)	
	精神科基礎研修 *ステップⅣ教育研修受講者が講義を実施する	精神科看護の基礎的知識を養う	・講義「精神科看護の基本の考え方」	5/18(金)	約各1時間 (16:00-17:15)	全看護職員 院外看護職員	22名 (院外3名)	
			・講義「薬と看護」	6/26(火)			19名	
			・講義「精神科における家族看護」	7/20(金)			16名 (院外3名)	
			・講義「精神科看護師とソーシャルサポート」	9/28(金)			22名 (院外2名)	
	看護局主催講演会	新棟整備に向けての方向性を見出す	・講義	12月頃 外部講師	未定	全看護職員	47名	
	看護研究発表会	看護研究活動を通して得た成果を発表し相互の学びとする	発表会	2/2(土)	3 時間30分 (9:00-12:30)		53名	
	伝達講習会	院外研修の報告を受け、自己研鑽への動機づけとする		3/15(金)	2 時間 (16:30-18:30)		60名	

b 平成24年度学会・院外研修参加状況

	主 催	学会名・研修名	開催地	開催日	人数
学 会	日本精神科看護技術協会	第37回日本精神科看護学会総会	兵庫	6/1～3	1
	日本看護協会	第43回日本看護学会地域看護学術集会	岐阜	9/6・7	1
	日本看護管理学会	第16回日本看護管理学会年次大会	北海道	8/25・26	1
	日本精神科看護技術協会	第19回日本精神科看護学会専門学会Ⅰ	秋田	8/31 9/1	1
	日本精神科看護技術協会	第19回日本精神科看護学会専門学会Ⅱ	鳥取	11/10・11	6
	日本看護協会	第43回日本看護学会精神看護学術集会	佐賀	7/19・20	3
	日本看護協会	第43回日本看護学会看護管理学術集会	京都	10/2・3	1
	日本精神保健看護学会	第22回精神保健看護学会	熊本	6/23・24	1
	リハビリテーション学会	第20回精神障害者リハビリテーション学会	神奈川	11/16～18	1
	褥瘡学会	第14回日本褥瘡学会学術集会	神奈川	9/1・2	2
	日本環境感染学会	第28回日本環境感染学会総会	神奈川	3/1・2	1
	神奈川県精神科看護技術協会	県支部研究発表会	県内	10/13	4
	神奈川県看護協会	横浜第2支部看護研究発表会	県内	11/18	6
				小 計	29
研 修	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所	第13回発達障害支援医学研修	東京	7/4・5	1
	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所	司法精神医学研修	東京	12/11～13	1
	精神・神経科学振興財団	指定入院医療機関従事者研修会（入院）	東京	9/14～16	11
	精神・神経科学振興財団	指定入院医療機関従事者研修会（通院）	東京	11/9～11	1
	全国自治体病院協議会	精神科特別部会総会・研修会	東京	8/30・31	5
	全国自治体病院協議会	第2回接遇トレーナー研修会	東京	1/9～11	2
	医療観察法関連職種	第8回医療観察法関連職種研修	長野	6/29・30	5
	神奈川県看護協会	A群 褥瘡予防とケアの実践	県内	6/11	1
	神奈川県看護協会	A群 栄養管理のアセスメントと実践	県内	6/4	1
	神奈川県看護協会	A群 求められる看護記録	県内	6/8	2
	神奈川県看護協会	B群 医療安全管理者養成研修	県内	9/3～2/6	1
	神奈川県看護協会	C群 KYTで高めようリスクセンス	県内	12/18	1
	神奈川県看護協会	D群 災害看護－実務編－②	県内	1/16・17	1
	神奈川県看護協会	D群 看護管理Ⅰ 主任に求められる看護管理②	県内	2/14・15	1
	神奈川県精神科病院協会	精神科看護新任者研修会	県内	6/4・5	23
	神奈川県精神科病院協会	実践で活かせる認知行動療法	県内	5/2	1
	神奈川県精神科病院協会	発達障害の理解	県内	7/3	3
	神奈川県精神科病院協会	医療者として精神科患者の処遇を考える	県内	11/2	3
	よこはま看護専門学校	臨床と共に取り組む「身に付く」看護実践能力	県内	8/3	2
	横浜病院協会看護専門学校	臨地実習指導に活かすコーチングスキル	県内	8/24	2
	保健福祉大学実践教育センター	高齢者の摂食・嚥下障害支援研修	県内	11/7～12/17	1
	日本精神科看護技術協会	児童思春期認定看護師養成課程	県内	5/7～2/10	1
	保健福祉大学実践教育センター	感染管理認定看護師教育課程	県内	4/7～3/31	1
	保健福祉大学実践教育センター	管理者養成課程管理Ⅰ	県内	5/7～9/3	2
	保健福祉大学実践教育センター	管理者養成課程管理Ⅱ	県内	10/6～3/8	1
	保健福祉大学実践教育センター	管理者養成課程管理Ⅲ	県内	6/1～10/26	1
	保健福祉大学実践教育センター	実習指導者養成研修	県内	9/3～11/8	1
	神奈川県立病院機構	新採用職員研修	県内	4/10	21
	神奈川県立病院機構	看護職員研修専門Ⅰ	県内	8/10 9/18	5
	神奈川県立病院機構	看護職員研修専門Ⅱ	県内	6/4 9/3	4
	神奈川県立病院機構	看護職員研修管理Ⅰ	県内	6/28 7/20	4
	神奈川県立病院機構	看護職員研修管理Ⅱ	県内	6/19 7/6 12/20	2
				小 計	112

c 看護職員講師派遣等実績

学 校 等	科 目 名	氏 名
神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科	精神看護方法論Ⅰ 治療・検査・症状のある人の看護 16時間	杉山 明子
横浜市医師会看護専門学校	精神看護学Ⅱ（精神障害と看護） 15時間	原 隆子
神奈川県立衛生看護専門学校 第二看護学科	コミュニケーション技法 6時間	安藤 馨
	精神障害のある人の看護 12時間	山川 壽也
社会保険横浜看護専門学校	精神看護方法論Ⅱ 14時間	大室 拓道
神奈川県立よこはま看護専門学校	精神看護学Ⅲ 10時間	東 和明
	卒業前シンポジウム	白石 美由紀
神奈川県立保健福祉大学	精神看護学Ⅱ	石田 正人
保健福祉大学実践教育センター	ヘルスケア提供システム論 講義8時間、演習4時間	尾花 由美子
	グループマネジメント	高橋 祐子
	患者・家族への教育的アプローチ	山口 いずみ
神奈川県看護協会	看護管理Ⅱ～看護師長に求められる看護管理① 6時間	尾花 由美子
	看護組織論 15時間	
	新人看護職員・新人実地指導者合同研修 26時間	白石 美由紀
全国自治体病院協議会精神科特別部会	精神科における人材育成と活用	二瓶 比呂志
日本精神科看護技術協会	第7回医療安全推進フォーラム	嘉山 一壽
日本精神科看護技術協会神奈川県支部	神奈川県看護研究発表会	尾花 由美子
	医療者として精神科患者の処遇を考える	嘉山 一壽
	薬物乱用防止教室指導者講習会 6時間	黒田 明仁
	発達障害の看護研修	内田 靖子
	薬物乱用防止教室	中村 久美子 黒田 明仁
神奈川県精神神経科診療所協会	こころと福祉の相談会	小林 重太
地域精神保健福祉機構	学校メンタルヘルス研究会	幸村 幸男 篠原 仁
	学校MHLプログラム	幸村 幸男
社会福祉法人 伸こう福祉会	発達障害の基礎知識と対応について	内田 靖子
神奈川県立病院本部	専門コースⅠ	山口 時雄
	専門コースⅡ	石田 正人
	管理コースⅠ	尾花 由美子 高橋 祐子
	管理コースⅡ	前野 紀子
医療法人 誠心会 神奈川病院	ノロウイルス感染症と発生時の対応	二瓶 比呂志
医療法人社団 水野会 平塚十全病院	インフルエンザの基礎知識	
北里大学看護キャリア開発センター	学生との教育的かわり 14時間	石田 正人
北里大学大学院看護学研究科	精神看護学Ⅲ 7時間	
神奈川県立がんセンター	症状緩和：不安・抑うつ	白石 美由紀

d 執 筆

掲 載 先	内 容	氏 名
第43回日本看護学会論文集 精神看護	精神科に就職した新人看護師の困難-就職後 3ヶ月目の体験から-	白石美由紀

e 学会発表等

- 1 横溝奨, 佐藤泰幸, 荒井修司: 精神科救急病における家族に対する危険物の意識調査. 第37回日本精神科看護学術集会. 6月
- 2 白石美由紀, 高橋祐子, 石田正人, アリマ美乃里: 精神科に就職した新人看護師の困難-就職後3ヶ月目の体験から-. 第43回日本看護学会精神看護学術集会. 7月
- 3 池田康子, 江崎みゆき, 福田幸子, 斉藤久代, 山口いずみ: 長期隔離患者の隔離解除に向けての看護実践. 第43回日本看護学会精神看護学術集会. 7月
- 4 前野紀子: セカンドキャリア支援の方策-半構成的面接で導き出された7項目-. 第43回日本看護学会看護管理学術集会. 10月
- 5 高萩理恵子: アスペルガー障害疑い患者への関わり-反社会的行動減少へのプロセスを考える-. 日本精神科看護技術協会神奈川県支部平成24年度看護研究発表会. 10月
- 6 山田直美: 初回入院でm-ECTを受けた患者の不安-看護師としてその不安を受け止めるために-. 第19回日本精神科看護学術集会専門Ⅱ. 11月
- 7 横山あゆみ, 福田伸一: 身体拘束をしていた患者の拘束解除への取り組み. 第19回日本精神科看護学術集会専門Ⅱ. 11月
- 8 落合浩子, 清水小織, 福田典子, 中満千夏: 長期入院の統合失調症を理解していくプロセス-患者参加型カンファレンス後のグループミーティングの結果から-第19回日本精神科看護学術集会専門Ⅱ. 11月
- 9 和田絵美: 入院生活の不安が治療拒否として現れた統合失調症患者への関わり-環境調整と共感的姿勢の大切さ-. 第15回神奈川看護学会. 11月

f 平成24年度交流研修実績

研修施設	日 程	実 施 地	人 数
神奈川県立がんセンター	2/1～5/31	県 内	1
神奈川県立こども医療センター	3/1～4/30		1
	5/1～7/31		1
神奈川県立足柄上病院	3/1～6/30		1

医療観察法 実務研修

研修施設	日 程	実 施 地	人 数
国立病院機構久里浜医療センター	6/4～6/15	県内	2
	6/18～6/29		2
	7/2～7/13		3
	7/17/7/27		2
国立精神・神経医療研究センター病院	6/4～6/15	東京	2
国立病院機構肥前精神医療センター	6/4～6/15	佐賀	2
埼玉県立精神医療センター	6/18～6/28	埼玉	1
東京都立松沢病院	6/4～6/15	東京	2
	6/18～6/29		2
	7/2～7/13		3
	7/17～7/27		2
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター	7/2～7/6	岡山	1
	7/2～7/13		1
	7/2～7/27		1
国立病院機構花巻病院	7/2～7/27	岩手	1

g. 見学・実習

項 目 名	対 象 者	人 数	実 施 月
看護教育実習生	看護師	2名	平成24年10月
保健福祉大学【保健医療福祉論Ⅰ】現場訪問	大学生	12名	平成24年8月
病院見学	看護学生・看護師	24名	平成24年4月～平成25年2月 16回
インターシップ（3月・7月・8月）	看護学生・看護師	17名	平成23年3月、平成24年7月・8月
精神科認定看護師課程	看護師	1名	平成24年10月～11月

h 実習生の受け入れ

学 校 名	実 施 月	人 数
横浜市病院協会看護専門学校	平成24年7月	10人
横浜市医師会看護専門学校	平成24年5月～12月	30人
社会保険横浜看護専門学校	平成24年5月～12月	34人
県立衛生看護専門学校第一看護学科	平成24年5月～10月	25人
県立衛生看護専門学校第二看護学科	平成24年6月～10月	12人
県立よこはま看護専門学校	平成24年5月～11月	49人
県立保健福祉大学	平成24年7月～12月	40人
聖母看護学校	平成24年9月	30人
東京衛生学園	平成25年2月～3月	14人

(2) 作業療法 (OT)

ア 作業療法

当院の作業療法は、日常生活の回復を図り社会適応や自立を促すために様々なプログラムを実施している。作業療法科では、安心していただける居場所の提供を基本に、参加患者の状態により活動プログラムや所属するグループを考慮し、参加患者の今後の目標を意識して治療に当たっている。

その内容は主に、

- ・社会復帰訓練を中心とした活動
- ・ADL及びAPDL訓練を中心とした活動
- ・コミュニケーション及び自己表現力を高める活動
- ・体力の維持・向上を中心とした活動
- ・協同作業を中心とした活動
- ・生産的作業を中心とした活動
- ・レクリエーション活動
- ・面接及び相談

である。

ここ数年に見る入院患者の状態は、3～6ヶ月で退院していく人が増える一方で、対人関係や作業能力等において作業療法士とマンツーマンによる密度の高い関わりを必要とする人、集団場面の適応能力が低い人、集中力・持続力に欠ける人、病棟から出てOTに参加することが難しい人など、多様化している。作業療法科では今年度から活動内容を柔軟に構成している『フリースペース』というプログラムの中に、今まで病棟外での活動が難しかった人に対応した『スポーツ』『のんびりスペース』の新しい内容を加えた。

通院患者においてはデイケアや作業所といった集団活動への参加が困難な人を、個人プログラムが中心である『外来OT』で受け入れている。開催日は平日の月曜日から金曜日で、各々のスケジュールに柔軟な対応が出来るようにしている。また、外来OT参加者は地域移行が難しいケースも多いが、参加者の一部には『体育』『SST』『栄養講座』などの小集団の活動プログラムへ参加を促し次の目標に進めるようにしたり、デイケアへの見学に同行しスムーズな移行を図ったりして対応している。

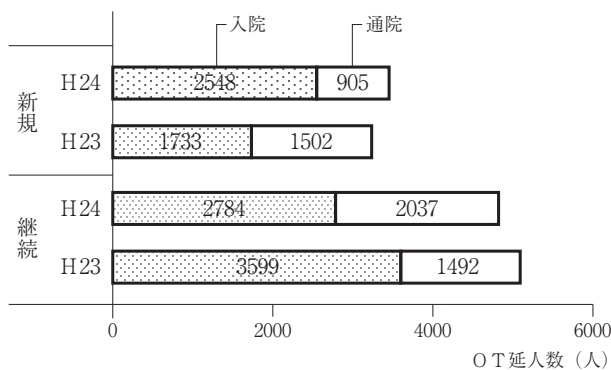
今年度の内容と実績は次表の通りである。

(ア) 患者受入れ状況

a OT実施人員

(単位：人)

年度	区分	実 人 員					
		新 規		継 続		計	
		男	女	男	女	男	女
24		234		160		394	
		121	113	100	60	221	173
23		203		222		425	
		112	91	142	80	254	171
対前年度比 (%)		115.3		72.1		92.7	
		108.0	124.2	70.4	75.0	87.0	101.2



b 月別実施延人員

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
24		627	673	671	688	696	653	796	743	670	680	678	699	8,274
23		661	635	754	697	785	686	702	724	685	672	646	679	8,326
対前年度比 (%)		94.9	106.0	89.0	98.7	88.7	95.2	113.4	102.6	97.8	101.2	105.0	102.9	99.4

c 患者別受け入れ状況

区分 年度	F0	F1	F2	F3	F4	F6	F7	F8	G4	その他	計
	症状性を含む器質性精神障害	精神作用物質使用による精神および行動の障害	統合失調症	気分（感情）障害	神経症性障害	成人の人格および行動の障害	精神遅滞	心理的発達の障害	てんかん		
24	11	2	208	144	15	3	5	4	2	0	394
23	9	6	225	141	21	3	5	8	7	0	425
対前年度比（％）	122.2	33.3	92.4	102.1	71.4	100.0	100.0	50.0	28.6	—	92.7

d 年齢別受け入れ状況

区分 年度	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均年齢
24	4	38	95	110	74	73	394	46.8
23	4	36	102	108	88	87	425	47.1
対前年度比（％）	100.0	105.6	93.1	101.9	84.1	83.9	92.7	

e 病棟別患者受け入れ状況

区分 年度	A2	A3	B1	B2	B3	C2	C3	外来	計
24	92	39	31	34	33	65	—	100	394
23	100	51	4	35	35	54	37	109	425
対前年度比（％）	92.0	76.5	775.0	97.1	94.3	120.4	—	91.7	92.7

(イ) 転 帰

区分 年度	継続	終 了													中断	計
		就労・復職	就学・復学	作業所	デイ・ケア	生保・健教室	家庭復帰	施設	ア単・パート身	転院	ステップアップ・OT	作業療法院	入院	その他		
24	181	12	0	3	6	1	106	12	6	18	0	22	4	8	15	394
23	221	12	0	3	10	0	82	9	0	12	3	25	2	0	44	202
対前年度比（％）	81.9	100.0	0.0	100.0	60.0	—	129.3	133.3	—	150.0	0.0	88.0	200.0	—	34.1	195.0

(ウ) 非請求件数

区分 年度	面 接		電話での相談及び アフターフォロー	訪問	身体機能評価	算定なし※	計
	入院患者	外来患者					
24	37	71	22	1	10	73	214
23	1	101	27	2	—	—	131

※精神科作業療法は1日2時間を1単位として1回算定できるが、参加がそれを超えた場合

(エ) プログラム内容及び実施状況

a グループワーク

プログラム活動	件数	延人員	プログラム活動		件数	延人員
グループミーティング (今月のOTの活動内容やOT行事について話し合い)	3	21	病棟OT	A2	162	1,041
				A3	50	511
				B1	26	79
B2	10	32				
社会復帰訓練 (退院直前訓練、SST、栄養講座、OT行事の準備など)	141	466		B3	43	275
				C2	94	1,178
ADL訓練 (料理、掃除、環境整備など)	13	55	レクリエーション (DVD鑑賞、ゲーム、バス旅行、散歩など)		38	179
身体的活動 (体育、体力づくり散歩など)	43	201	合 計		623	4,038

b 導入及び評価グループ

グループ名	件数	延人員
フリースペース	225	693
ステップⅠ	93	397
あすなろ	93	466
合 計	411	1,556

c 個人プログラム

種 目 名	件数	延人員	種 目 名	件数	延人員
勉強	70	74	粘土	8	8
絵画	70	75	籐細工	7	7
パソコン入力	56	56	園芸	3	3
ネット手芸	47	49	作文	3	3
木工細工	41	41	刺繍	2	2
刺し子	27	40	和裁	1	1
ビーズ細工	25	25	裁縫	1	1
ぬりえ	24	28	小物作り	1	1
革細工	18	18	その他	4	4
紙細工	14	14	合 計	450	30

d 通院作業療法

グループ名	件数	延人員
外来OT	362	1,097
外来OTⅡ※復職支援のプログラム（作業療法担当分）	139	967
外来OTⅢ※気分障害を対象としたプログラム	95	426
合 計	596	2,490

(オ) 教育（見学・実習・講義）

a 見学・研修受入れ

年度	区分	行政関係者	医療関係者	学 生 (医師・看護師)	院 内		そ の 他	計
					職 員	患 者		
24	件 数	0	4	48	8	14	2	76
	人 員	0	10	103	9	19	2	143
23	件 数	1	1	70	10	13	1	96
	人 員	1	4	123	10	14	1	153
対前年度比 (%)	件 数	0.0	400.0	68.6	80.0	107.7	200.0	79.2
	人 員	0.0	250.0	83.7	90.0	135.7	200.0	93.5

b 実習生の受入れ

内 容	対 象	実 施 日	人数
作業療法 4年インターン実習	北里大学医療衛生学部作業療法学専攻	平成24年4月9日～6月1日	1

(3) デイ・ケア療法

外来の精神科患者を対象に社会生活機能の回復を図るため、昭和57年6月から試行し、昭和61年4月に精神科デイ・ケア療法大規模適合施設の承認を受け、本格実施した。実施にあたっては、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士の多職種チームを構成し、対象者の社会生活支援を行ってきた。

開催日は月曜日から金曜日の週5日で、平日にいつでも利用できるようになっている。治療内容は、心理教育的プログラムを中心に集団精神療法や日常生活訓練、SSTや就労関連プログラムなど利用者の要望に応えられるよう多種に及んでいる。平成18年度から診療報酬の改正に伴い、3時間程度のショート・ケアが新設され、当院デイ・ケアでも8月10日より導入し、新規入所者で急性期離脱後の活動性の低い方や、面接を中心とした支援で就労を継続したい方などに活用していただいている。また、平成15年に医療観察法が制定され、平成17年より施行された。これを受け当院デイ・ケアでも医療観察法の対象者を積極的に受け入れている。

更に、訪問支援の実施としては、地域活動支援センター・生活訓練施設・就労移行支援事業所などの福祉施設やハローワーク・就労相談センターなどの就労支援機関へも同行し、スムーズな地域生活への導入や移行に取り組んでいる。院内の他部門との連携としては、訪問看護部門との協力体制で単身者や医療観察対象者の生活を支援している。また、退院促進の一環として、退院間近の入院患者も受け入れ、スムーズな地域生活への移行を図っている。平成22年度からは、医療観察法の入院処遇（社会復帰期）の対象者の受け入れを試行している。

地域との連携では、地区の保健福祉センターや上記同様の福祉施設の他、他デイ・ケアとの交流（バレーボール大会や作品展）や港南区ネットワーク祭りなどに参加し、交流を深めている。そして、神奈川デイ・ケア連絡会の事務局補佐でもあることから、県内デイ・ケア施設との連携にも積極的に取り組んでいる。

その他、退所後の支援として、退所者やその家族との面接も行なっている。

ア デイ・ケア参加者

(ア) 月別参加者数

月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (右：月平均)	
在 籍 者 数		122	125	131	135	134	134	132	133	134	134	137	136	1,587	132.3
(う ち 入 院)		6	8	8	8	9	13	15	12	11	10	11	12	123	10.3
(うち医療観察法通院者)		14	13	11	13	11	11	11	11	11	11	11	10	138	11.5
就 労 ・ 就 学 者 実 数		8	7	8	8	8	8	6	6	6	6	6	6	83	6.9
福祉施設等通所者実数		27	27	27	26	28	28	27	29	29	27	29	29	333	27.8
延 数	参 加 者 延 数	728	909	892	851	864	822	932	841	833	766	770	857	10,065	838.8
	(う ち 入 院)	24	43	61	42	77	105	114	75	101	90	83	84	899	74.9
	(医療観察法通院者)	66	84	77	68	73	70	63	65	66	55	79	71	837	69.8
	シ ョ ー ト 延 数	162	305	291	286	348	404	418	360	401	322	338	385	4,020	335.0
	(う ち 入 院)	24	42	55	34	61	87	89	43	61	61	66	63	686	57.2
	平 均														
平 均	参加者一日平均	36.4	43.3	42.5	40.5	37.6	43.3	42.4	40.0	43.8	40.3	40.5	42.9	494	41.1
	(う ち ショート)	8.1	14.5	13.9	13.6	15.1	21.3	19.0	17.1	21.1	16.9	17.8	19.3	198	16.5
実 施 日 数		20	21	21	21	23	19	22	21	19	19	19	20	245	20.4

(イ) 地域別参加者数

地域別 年 度	横 浜 市																横 須 賀 市	鎌 倉 市	川 崎 市	相 模 原 市	藤 沢 市	そ の 他	合 計	
	鶴 見 区	西 区	中 区	南 区	港 南 区	保 土 ケ 谷 区	旭 区	磯 子 区	港 北 区	戸 塚 区	栄 区	泉 区	神 奈 川 区	金 沢 区	緑 区	青 葉 区	小 計							
平成24年度	2	4	5	26	43	8	3	20	1	23	5	3	6	6	1	1	157	2	2	1	0	1	4	167
平成23年度	2	3	3	30	42	13	0	16	1	27	6	4	5	3	0	1	156	1	3	1	0	1	3	165

(ウ) 年齢・病名別参加者数

病 名	年 齢 別		19歳以下			20～29歳			30～39歳			40～49歳			50歳以下			計		
	男	女	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
中毒性精神障害 (F1)						1	1					1		1						
統合失調症 (F2)	2		2	20	10	30	36	22	58	25	13	38								
気分（感情）障害 (F3)												1	1	2						
人格及び行動障害 (F6)		1	1									1		1						
精神遅滞 (F7)																				
そ の 他		1	1	3		3	2	2	4	4		4								
計	2	2	4	23	11	34	38	24	62	32	14	46								

イ プログラム内容

プ ロ グ ラ ム		小計	内 容 ・ 目 的
神 集 療 団 法 精	全体ミーティング	19	DC運営に関わる議題についてメンバー・スタッフで話し合う。
	グループミーティング(行事委員会)	9	行事ごとに委員会を作り、企画・立案・運営をメンバー・スタッフで実施していく。
	小 計	28	
訓 職 練 業 前	作 業	98	外部からの請負作業(やまゆり発送など)を通して、就労・作業所への準備性を高めていく。
	係の仕事	24	分担された係りを体験していく中で就労・作業所等への心構えや責任感を養っていく。
	就労勉強会	20	就労へのイメージ作り、就労の準備性を高める、現実的な目標を見出す。
	小 計	142	
創 作 活 動	創 作	18	創造性を養い、情緒の表出を図るため、絵画、手工芸、文芸、共同制作等を行う。
	垂れ幕作り	12	県下バレーボール大会の応援垂れ幕を応援グループで製作する。
	物作りサークル	12	様々な手芸品に挑戦する中で創る楽しさを体験していく。達成感を得る。
	お菓子づくり	10	お菓子作りを楽しむ。簡単な調理を経験する。
	思い出アルバム	6	外出や行事の写真の編集。役割分担をしながら実施しアレンジする。
	竹トンボ作り	1	外部講師の指導により竹トンボの制作。ボランティアとの交流を通し社会性を養う。
	布草履作り	1	外部講師の指導により布草履の製作。ボランティアとの交流を通し社会性を養う。
	小 計	60	
指 日 常 常 生 生 活 活	料 理	64	能力・目的別にグループ分けをし、調理に取り組む。
	防災訓練	1	院内の訓練に参加することで非常時に備える。
	生活クラブ	8	日常生活に必要な知識・技能の習得を図る。参加者の自立を促す。
	小 計	73	
活 ク ラ ッ ク 活 動	グループ活動	15	担当スタッフ別のグループとなり、それぞれグループ活動に取り組む。
	クラブ活動	76	同好のメンバーが集まり、自主的にグループ運営を行う。
	小 計	91	
運 動 療 法	バレーボール	43	チームプレーを通して協調性を養う、体力作り、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的とする。
	ヨガ	51	体力の維持、身体を動かすことの心地よさを体験すること等を目的としグループで実施。
	ソフトボール	19	チームプレーを通して協調性を養う、体力作り、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的とする。
	ファイトクラブ	19	体力作り、メンバー間の親睦を図ること等を目的とする。
	スポーツ大会(含む、準備交流試合)	1	大会などの目標に向けてチームワークを経験する。他施設との交流会の準備・実施を行う。
	体力測定	2	現在の体力を把握し、自己の身体への意識を高める。
	木曜スポーツ	1	参加者で何をするか話し合い、体力作り、身体を動かす心地よさを体験する等を目的とする。
	小 計	136	
音 楽 療 法	コーラス(含む、大会)	21	外部講師の指導により、合唱の練習をし年数回成果を発表。
	ドラム	3	外部講師の指導により、ドラムを中心とした打楽器を皆で演奏をする。
	楽器演奏	11	楽器に興味のある人が集まり、楽しみながら演奏をする。年数回成果を発表。
	琴演奏	1	夏のイベントとして外部講師の琴演奏を鑑賞し日本の伝統に親しむ。
	小 計	36	
認 知 行 動 療 法 ・ 心 理 教 育 他	生活設計研究会	32	病気や薬、社会制度や経済的な知識を得、将来の生活の見通しを立てらるようになるための心理教育。
	健康・栄養講座(健診含む)	11	身体的な自己管理に関心を持つことを目的とし健康に関する講義を受ける。
	生活技能訓練	20	対人関係の改善を目的に、課題の場面を演じながら訓練を行う。
	服薬クラブ	12	服薬の必要性を学び自己管理の練習をする心理教育。
	気持ちのコントロール	12	怒りを中心とした自分の感情を認識しコントロールする方法を学ぶ。
	認知行動療法	12	病気の症状についての対処法を身に付けるための心理教育。
	福祉講座・講演会	9	精神障害者の動向や福祉制度の状況などを知る機会とする。
	ダイエット	22	肥満の健康上の問題を認識し、ダイエットの手法を学び体重の自己管理をしていく。
	社会人クラブ	8	社会生活する上での常識とされることやマナーの実践を学び役立てていく。
	小 計	138	
レ ク リ ー エ ー シ ョ ン 活 動	パーティー(含む、準備)	20	忘年会、歓送迎会等の準備、実施。
	外出(含む、準備)	7	社会性を養い、視野を広げることを目的とする。
	バザー・港南ネット祭り・デイケア作品展(含む、準備)	32	入院患者・職員との交流、地域福祉施設との交流を図るために参加。
	ロードショー	0	興味関心のある映画等を選び準備、鑑賞していく。
	かき氷、すいか割り(含む、準備)	4	夏の風物詩としての行事を行い楽しむ。
	看護の日レク	0	看護の日イベント行事に参加し楽しむ。
	小 計	63	
そ の 他	パソコン	33	外部講師の指導により、パソコンの操作を学ぶ。
	ニュースの窓	12	視野を広げる目的で各自新聞を持ち寄り自分に関心のある記事を紹介する。
	書 道	12	外部講師の指導により、各自好きな言葉を書き、添削を受ける。年数回成果を発表。
	茶 道	11	外部講師の指導により、お茶のたて方、飲み方を学ぶ。
	華 道	11	外部講師の指導でお花のいけ方を学ぶ。
	新人オリエンテーション	12	新入所者に対し、メンバーがデイケアの説明を行う。
	アロマテラピー	4	外部講師の指導により、いろんな香りを楽しみながら、リラックスする方法を学ぶ。
	植物を育てる	20	花や野菜などの植物を育てる事で季節感を得ながら、達成感を得る。
	メイクアップ講座	3	外部講師の指導により、メイクの方法を学び整容への関心を高める。
	頭のトレーニング	22	クイズ・パズル等を行うことで頭のリラックス、及び活性化を図る。
	リラクゼーション	4	ストレッチなどを行う、心身のリラックスを図る。
	金曜クラブ	9	ゲームや音楽鑑賞などを通して、メンバー同士が交流することを目的とする。
	英会話	9	外部講師の指導により、英会話について学ぶ。
	小 計	162	
合 計		929	

ウ 転 帰

(単位：人) H24. 3. 31現在

性別	転帰	就 労	就労支 援移行	就労継 続支援	支 援 セ ンター等	就 学	家庭内 適 応	転院等	入 院	不適応	死 亡	中 断	その他	D C 延長	6ヶ月 未 満	計
男		3	1	7	0	0	0	3	1	1	2	4	0	79	10	111
女		1	0	2	1	0	3	2	0	1	1	7	0	34	4	56
計		4	1	9	1	0	3	5	1	2	3	11	0	113	14	167

〔家庭内適応〕…主婦、家事手伝い等を行っている者

〔中 断〕…病状悪化した者

〔そ の 他〕…他施設入所、転居、他D C

〔D C 延 長〕…終了せず延長を行い平成24年3月31日現在通院している者

〔6ヶ月未満〕…期間が終了しておらず平成24年3月31日現在通院している者

エ 個別支援

(ア) 相談件数

(単位：人)

手 段	本 人	家 族	退所者	その他関係機関など
電 話	176	65	24	257
面 接	925	63	9	38
見 学	—	—	—	33

(イ) 訪問件数

(単位：人)

職場、福祉施設など	13
-----------	----

(ウ) カンファレンス（医療観察法含む）

科 内 2,971 件	科 外 183 件
----------------	--------------

オ 家族会

開催月	テ ー マ	開催数	参加者数
5月、6月	親子（家族）面談	2回	24名
7月	統合失調症の人の回復力を高める家族のコミュニケーション①（DVD鑑賞）	1回	5名
8月	当事者の話 講師 デイケアのOB	1回	9名
9月	統合失調症の人の回復力を高める家族のコミュニケーション②（DVD鑑賞）	1回	5名
10月	就労支援の実際について 講師 横浜メンタルネットワークサービス	1回	5名
11月	ヘルパーの話 講師 NPO法人 有為グループ	1回	3名
11月、12月	親子（家族）面談	2回	20名
1月	福祉制度の話「地域で利用できる制度について」 講師 港南区MSW	1回	6名
2月	懇談会「関わり方・意見交換」	1回	6名
3月	成年後見人制度・悪徳商法セミナー 講師 NPO成年後見相談センター・ラパス	1回	6名
合 計		12回	89名

カ 教 育

(ア) 研修・見学

(単位：人)

	医療関係者	福祉関係者	行政関係者	そ の 他	合 計
研 修	43	14	0	0	57
見 学	30	1	0	1	32

(4) 検査業務

ア 心理業務

心理室には常勤5名、非常勤1名、計6名の心理士が在籍。うち2名は医療観察法病棟に配属、2名がストレスケア（A2）病棟に配属。

主な業務は心理検査、心理療法（心理面接）、医療観察法業務である。心理業務のうち心理検査は、精神医学的診断を補う目的や、パーソナリティの理解を深める目的で、必要に応じていくつかの検査を組み合わせ実施している。心理療法は外来ならびに入院患者を対象とし、一対一の心理面接、集団療法などの形態で必要な心理的ケアを提供するものである。主治医から依頼のあった患者に対し契約を結び、必要に応じて主治医との連携をとりつつ継続的な関わりを持った。診断は統合失調症、うつ状態、人格障害などであった。その他に、医療観察法の鑑定に関わる心理検査、通院所処遇対象者への心理面接、多職種でのチーム会議などにも参加した。

ストレスケア（A2）病棟では、心理検査ならびに心理面接を実施した。他に、rTMS研究入院において、心理検査を実施した。

また、リワークプログラムにおいては、多職種で運営についての検討を重ね、協力してプログラム・各種面接を実施した。その他、リワークプログラムにおいては認知行動療法（集団精神療法）、テーマトーク（OTとの合同のプログラム）を担当し、心理検査等を実施した。

医療観察法病棟においては、入院治療をこれまで2床の暫定病棟にて行ってきたが、2012年11月より33床の新病棟が開棟し、各種プログラムの企画運営、心理検査・心理面接の実施、対象者の外出・外泊への付き添い、MDT会議、CPA会議、治療評価会議等多職種チームの会議等に参加した。

(ア) 心理検査（平成24年度）

検査名		外来(リワーク含)	入院（医観法含）	r TMS研究	計
知能検査	WAIS-III	18	70	12	100
	WISC-IV	0	2	0	2
	田中ビネー	0	0	0	0
	コース立法体	0	1	0	1
人格検査	ロールシャッハ人格診断検査	18	62	0	80
	SCT文章完成法	17	67	0	84
	描画検査（バウムテスト等）	8	71	0	79
	P-Fスタディ	4	12	0	16
	その他の人格検査	0	0	0	0
その他の心理検査	ベンダーゲシュタルトテスト	1	4	0	5
	内田クレベリン検査	0	0	0	0
	MMSE,HDS-R	18	112	0	130
	COGNISTAT	5	28	0	33
	WMS-R	0	1	0	1
	HAM-D	17	0	102	119
	SCID	0	0	12	12
	STAI	0	0	102	102
	WSCT	0	4	41	45
	CES-D	0	337	0	337
	その他	7	16	212	235
計 (実人数)		113 (48)	787 (201)	481 (12)	1,381 (261)

(イ) 心理療法（平成24年度）

	外 来	入 院	リワーク	医療観察法病棟
心理面接等	440 (30)	175 (18)	—	231 (20)
集団プログラム等	0	0	85 (26)	60 (10)

※1 計欄（ ）は実人数を示す。

※2 外来移行後分含む。

(ウ) その他（平成24年度）

A2病棟 運営カンファレンスへの参加	12
リワーク・プログラム OTとの合同のプログラムの実施	35 (26)
リワーク・プログラム インテーク・復職準備評価面接の実施	65 (26)
リワーク・カンファレンスの実施	24
医療観察法（入院病棟）多職種チーム会議への参加	228
医療観察法（通院処遇）多職種チーム会議への参加	128

イ 放射線業務

検査科放射線は芹香・せりがや両病院のX線検査及びCT検査を行っています。平成18年度より、せりがや病院の入院患者様を毎週月・木曜日に芹香病院へ搬送し、外来患者様は随時芹香病院で検査を行っています。

a 芹香病院

検査は入院患者様の撮影が主です。一般撮影は、年度後半から病床数の増加と共に、撮影人数も上昇し、昨年度と変わらない状況となりました。CT撮影検査は10%ほど増加しましたが、ここ数年で見れば平年並みです。

b せりがや病院

昨年度と比較して、入院患者数が減少したため、CT撮影は減少、一般撮影は横這いです。ここ数年で見れば、両検査ともほぼ平年並みです。

(ア) 一般撮影業務件数（人数及び撮影回数）

a 芹香病院

部位 月	頭 部				胸 部				腹 部				椎 骨				四肢骨				その他				合 計			
	人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数	
	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室
H24.4					7	56	7	62	5	43	5	67		1		2		9		31	1	3	2	5	13	112	14	167
5		1		1	11	62	11	70	6	46	6	64					1	2	2	8	1	1	2	2	19	112	21	145
6		1		2	7	61	7	68	1	47	1	58		2		4	1	4	4	11		1		1	9	116	12	144
7					3	64	3	72	4	44	4	64		1		2		6		12		2		2	7	117	7	152
8					2	47	2	56	3	40	3	52													5	87	5	108
9					7	66	7	75	5	47	5	60						5		16		1		2	12	119	12	153
10					3	57	3	64	3	39	3	47		1		2		3		7		2		4	6	102	6	124
11					6	53	6	61	5	44	6	54		2		4		6		13	1	3	2	4	12	108	14	136
12					2	61	2	65	1	49	1	55		1		2		1		2					3	112	3	124
H25.1					6	53	6	61	2	34	2	41		2		4		4		10		1		2	8	94	8	118
2					2	47	2	54	3	28	3	32		3		6		2		6		1		1	5	81	5	99
3					8	57	8	61	5	38	5	43		3		6		4		8		1		2	13	103	13	120
合計	0	2	0	3	64	684	64	769	43	499	44	637	0	16	0	32	2	46	6	124	3	16	6	25	112	1,263	120	1,590
構成比(%)	0.0	0.1	0.0	0.2	4.7	49.7	3.7	45.0	3.1	36.3	2.6	37.3	0.0	1.2	0.0	1.9	0.1	3.3	0.4	7.3	0.2	1.2	0.4	1.5	8.1	91.9	7.0	93.0

b セリがや病院

部位 月	頭 部		胸 部		腹 部		椎 骨		四肢骨		その他		合 計	
	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数
H24.4			22	22									22	22
5			25	25	2	4					2	3	29	32
6			33	35	4	8					1	2	38	45
7			37	37	1	1							38	38
8			27	27					1	2			28	29
9			28	28									28	28
10			31	31	1	2							32	33
11			31	31	1	1							32	32
12			29	29									29	29
H25.1			19	19									19	19
2			28	28									28	28
3			32	32					2	4			34	36
合計	0	0	342	344	9	16	0	0	3	6	3	5	357	371
構成比(%)	0.0	0.0	95.8	92.7	2.5	4.3	0.0	0.0	0.8	1.6	0.8	1.3	100.0	100.0

(イ) CT検査業務件数

a 芹香病院

部位 月	頭 部			胸 部			腹 部			椎 骨			四肢骨			その他			合 計		
	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数
H24.4	46	946	1,016	5	170	321	6	267	282										57	1,383	1,619
5	39	803	863	4	167	326	5	201	246										48	1,171	1,435
6	51	1,024	1,064	2	61	111	1	35	35										54	1,120	1,210
7	47	942	962	1	41	66													48	983	1,028
8	43	876	915	4	143	242	5	208	208										52	1,227	1,365
9	49	988	1,028	4	123	222	3	137	137										56	1,248	1,387
10	52	1,055	1,075	3	104	197	2	92	92										57	1,251	1,364
11	50	994	1,054	3	175	261	3	133	133										56	1,302	1,448
12	57	1,146	1,293	1	55	88	1	67	67										59	1,268	1,448
H25.1	48	978	1,050	1	44	76	2	116	137										51	1,138	1,263
2	50	1,028	1,078	1	47	93	1	24	43										52	1,099	1,214
3	52	1,084	1,194	1	30	60	2	72	72										55	1,186	1,326
合計	584	11,864	12,592	30	1,160	2,063	31	1,352	1,452	0	0	0	0	0	0	0	0	0	645	14,376	16,107
構成比(%)	90.5	82.5	78.2	4.7	8.1	12.8	4.8	9.4	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0

b セリがや病院

部位 月	頭 部			胸 部			腹 部			椎 骨			四肢骨			その他			合 計		
	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数
H24.4	21	429	429																21	429	429
5	20	401	401	1	63	108													21	464	509
6	25	499	519	2	122	188	1	46	46										28	667	753
7	35	697	697	1	60	93													36	757	790
8	28	560	580																28	560	580
9	30	598	617																30	598	617
10	30	598	617	1	64	111													31	662	728
11	28	561	561																28	561	561
12	27	538	538																27	538	538
H25.1	18	357	357																18	357	357
2	31	628	648																31	628	648
3	30	596	596	1	79	114													31	675	710
合計	323	6,462	6,560	6	388	614	1	46	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	330	6,896	7,220
構成比(%)	97.9	93.7	90.9	1.8	5.6	8.5	0.3	0.7	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0

(ウ) 一般撮影業務件数推移

		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	前年度比(%)
芹 香 病 院	延べ人数	1,299	1,326	1,728	2,202	1,929	1,393	1,643	1,553	1,466	1,374	1,375	100.1
	延べ回数	1,709	1,649	2,278	2,920	2,619	1,877	2,105	2,062	1,844	1,699	1,710	100.6
せりがや病院	延べ人数	474	420	393	353	384	350	329	383	330	351	357	101.7
	延べ回数	782	544	505	421	400	373	350	480	388	371	371	100.0
合計	延べ人数	1,773	1,746	2,121	2,555	2,313	1,743	1,972	1,936	1,796	1,725	1,732	100.4
	延べ回数	2,491	2,193	2,783	3,341	3,019	2,250	2,455	2,542	2,232	2,070	2,081	100.5

(エ) CT検査業務件数推移

		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	前年度比(%)
芹 香 病 院	延べ人数	150	197	463	518	625	487	615	629	571	584	645	110.4
	延べ回数	1,844	2,471	8,613	11,463	14,317	10,612	13,833	14,988	13,197	13,294	14,376	108.1
	画像処理	1,892	2,605	9,668	14,280	17,451	12,375	15,675	17,594	15,454	15,242	16,107	105.7
せりがや病院	延べ人数	470	373	381	318	374	322	322	339	315	358	330	92.2
	延べ回数	5,650	4,505	4,604	4,089	7,174	6,504	6,795	7,290	6,844	7,722	6,896	89.3
	画像処理	5,670	4,542	4,653	4,094	7,277	6,665	7,305	8,172	7,435	8,324	7,220	86.7
合計	延べ人数	620	570	844	836	999	809	937	968	886	942	975	103.5
	延べ回数	7,494	6,976	13,217	15,552	21,491	17,116	20,628	22,278	20,041	21,016	21,272	101.2
	画像処理	7,562	7,147	14,321	18,374	24,728	19,040	22,980	25,766	22,889	23,566	23,327	99.0

ウ 臨床検査業務

a 芹香病院

件 数 項 目	平 成 24 年 度	平 成 23 年 度	増 減
一 般 検 査	10,354 件	12,699 件	▲ 2,345 件
血 液 学 的 検 査	17,689	16,942	747
生 化 学 的 検 査	41,859	51,910	▲ 10,051
免 疫 学 的 検 査	3,829	3,301	528
微 生 物 学 的 検 査	127	195	▲ 68
病 理 学 的 検 査	0	1	▲ 1
内 分 泌 学 的 検 査	1,668	1,649	19
生 理 機 能 検 査	1,323	1,351	▲ 28
そ の 他 の 検 査	0	0	0
計	76,849	88,048	▲ 11,199

b せりがや病院

件 数 項 目	平 成 24 年 度	平 成 23 年 度	増 減
一 般 検 査	4,113 件	3,880 件	233 件
血 液 学 的 検 査	7,083	8,324	▲ 1,241
生 化 学 的 検 査	24,286	28,162	▲ 3,876
免 疫 学 的 検 査	1,732	1,769	▲ 37
微 生 物 学 的 検 査	27	35	▲ 8
病 理 学 的 検 査	0	0	0
内 分 泌 学 的 検 査	570	65	505
生 理 機 能 検 査	459	501	▲ 42
そ の 他 の 検 査	0	0	0
計	38,270	42,736	▲ 4,466

(5) 地域医療相談室業務

地域医療相談室はソーシャルワーカー10名、訪問看護師4名、および事務担当1名の計15名で構成されている。また独立行政法人化に伴う人事異動により、平成26年度の新病棟開棟に向けた地盤作りを進めている。相談内容は医療費・生活費などの経済的なこと、介護保険や障害者自立支援法などの福祉制度のこと、デイケアや地域作業所などの社会資源のこと、家族との関係や患者本人の対応法など多岐にわたっているが、何より本人並びに家族とのラポール作りと支援関係の継続を第一に業務を進めている。

救急医療については平成15年度にB1病棟が26床の救急病棟として整備され、そのうち16床が神奈川県基幹病院としてシステム救急用のベッドとなっている。残りの10床が院内救急用のベッドとなっている。救急については、本人・家族との面接や生活問題に関する調整をはじめ、県・横浜市・川崎市・相模原市担当課や後方病院との連絡調整などに関わっている。

地域移行（退院支援）については、平成15年度から長期在院者の退院促進に対する取り組み、入院患者の減少に伴う

平成20年3月にA1病棟（認知症病棟）とC1病棟（一般開放病棟）が閉棟した時期の取組みを第1期、平成22～23年度のC2、C3病棟合併に伴う取組みを第2期として進めてきたが、新病棟に向けた更なる取組みが検討されている。

平成17年度から施行された医療観察法における指定医療機関として、鑑定入院および、通院医療、H21年度に小規模病棟から開始して今年度からフル規格病棟での入院医療を受け入れているが、統括として医療観察担当者（兼任）を1名および病棟に3名配置して対応している。（オで再掲）。

平成20年4月からは自殺予防対策の一環としてうつ病を対象としたストレスケア病棟（A2）病棟が開棟しているが、病棟担当者（兼任）を2名配置して対応している。またリワークプログラムにも多職種チームのスタッフとして対応している。

権利擁護の視点からは抗告、処遇改善や退院請求への迅速な個別対応を行っている。また医療や経済、家族間の法的な問題への新たな窓口として、横浜弁護士会による法律相談会をH23年5月からモデル事業として開始したが、今年度は月に1回の定例で開催した（カで再掲）。

平成15年度から実施された訪問看護の充実を図るために、18年度から訪問看護スタッフが4名配置されて実施している（イで再掲）。

家族に対する支援も個別的に継続している。地域支援については、地域作業所、グループホームの運営委員会、地域移行定着事業への協力、区の各種ネットワーク会議等への参加を強化している。また医療観察法指定医療機関のワーカーを中心とした、かながわ司法精神医療福祉ネットワークを主催し、連携の強化を図っている。

全国自治体病院協議会精神科特別部会のコメディカル部会（平成19年度より設置）には理事として出席し、全国の会員との交流や連携を推進している。

ア ソーシャルワーク業務

（ア）内容別相談件数

{} 医療観察、（ ）はストレス、〈 〉は救急を再掲

内 容	平 成 24 年 度			平成23年度計
	外 来	入 院	計	
受療相談、調整	3,936	1,862	5,798	4,679
経済関係 （32条申請、生活保護、年金、手当等）	862	1,437	2,299	2,709
治療生活に関すること （ケースワーク、家族調整他）	4,156	3,993	8,149	7,030
社会復帰に関すること（退院、施設他）	1,077	4,630	5,707	6,047
仕事に関すること	498	422	920	1,351
転院に関すること	56	630	686	1,770
権利に関すること	40	204	244	352
院内及び院外関係機関との連絡調整、その他	5,246	6,032	11,278	10,505
計	15,871 {} 1,803{	19,210 {} 2,745{	35,081 {} 4,548{	34,443 {} 3,952{
	(982) < 2,113>	(1,587) < 6,251>	(2,569) < 8,364>	(1,888) < 5,545>

(イ) 実施方法別相談件数

内 容	平 成 24 年 度			平成23年度計
	外 来	入 院	計	
院内面接 (患者、家族、院内外関係者等)	4,159	5,435	9,594	11,501
電 話	7,012	6,772	13,784	14,638
文 書 (訪問依頼表、カルテ調べ等)	706	794	1,500	1,724
訪 問 (保健所、役所、作業所、家庭等)	532	2,346	2,878	1,910
カンファレンス	3,462	3,863	7,325	4,670
計	15,871	19,210	35,081	34,443

(ウ) 被相談者別相談件数

内 容	平 成 24 年 度			平成23年度計
	外 来	入 院	計	
本 人	3,163	3,535	6,698	8,656
家 族	2,177	2,386	4,563	6,228
院内関係者	3,994	9,557	13,551	14,254
院外関係者 (保健所、福祉事務所等)	3,157	4,690	7,847	9,217
その他 (職場、後見人、民生委員等)	79	16	95	103
計	12,570	20,184	32,754	38,458

イ 訪問看護業務

訪問看護は、地域医療相談室に所属する専任の看護師4名、ソーシャルワーカー10名、及び、外来看護師6名、病棟看護師数名が連携し訪問看護業務を実施している。訪問看護登録者は医療観察法対象の患者を含め190名を超え、訪問看護も見守りから病状の変化に応じて内容の濃いものになってきている。交通手段としては4台の訪問看護専用車の他に、病院公用車、一般交通を利用している。道路交通法の改正に伴い、駐車除外許可証が1年毎の更新となり、総務課と協力し許可証を取得した。訪問先は当院近隣の他、泉区、青葉区、港北区、川崎市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、高座郡と往復50km以上かかるケースもあり広範囲にわたっている。

地域との連携を大切にし、退院前カンファレンスや訪問看護評価カンファレンスでは、地域の関係者（福祉保健センターソーシャルワーカー、作業所職員、ケアマネージャー、ヘルパー等）に参加してもらい支援の共有化を図った。カンファレンスの場所も院内だけでなく、地域へ出向くケースも増えている。

ソーシャルワーカーの学生の実習も受け入れ、訪問看護の必要性和実際に学ぶ場を提供している。

また、県や市の職員の新人研修にも組み込み、必要性和協力を依頼している。

訪問看護運営会議では、地域医療相談室と他部門との連携を図り学習会を行い、訪問看護の質の向上および地域支援の理解普及に努めた。

(ア) 平成15年度から平成24年度までの年間訪問看護件数

年 度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
件 数	342	746	1,152	2,113	3,118	2,888	2,903	2,966	3,004	2,969

(イ) 平成24年度月別訪問看護件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	251	263	254	256	255	253	264	249	240	241	222	221	2,969
対 象 者	163	161	161	162	164	165	160	154	163	159	145	143	1,900
C F 件数	9	14	13	13	11	20	16	11	17	12	15	20	171

(ウ) 平成24年度診療報酬別訪問件数（訪問Ⅰに評価訪問を含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間件数
訪 問 Ⅰ	227	235	237	242	229	221	238	240	215	219	210	204	2,717
訪 問 Ⅱ	0	1	0	1	0	2	0	2	0	2	0	2	10
訪 問 Ⅲ	21	21	14	16	18	19	20	12	18	18	12	12	201
退院前訪問	5	6	4	3	0	6	4	1	5	4	3	0	41
合 計	253	263	255	262	247	248	262	255	238	243	225	218	2,969

(エ) 平成24年度月別新規申し込み件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
4	2	6	4	5	2	2	2	2	3	3	1	36

(オ) 平成24年度病棟別新規申し込み件数

外来	A2	A3	B1	B2	B3	C2	合 計
21	2	0	4	7	1	1	36

(カ) 平成24年度終了ケース

目標達成	施設利用	転 院	入 院	中絶・拒絶	死 亡	その他	合 計
2	1	9	1	1	4	1	19

(キ) 平成24年度疾患別分類

疾患名	統合失調症 （他疾患の 合併含む）	中毒性精神障 害（薬物・アル コール含む）	躁 鬱	知的障害	人格障害	強迫性障害	認知症	うつ病	その他	合 計
件 数	160	7	9	3	1	2	0	8	2	192

(ク) 平成24年度地域別分類

横浜市

地域	港南区	南区	磯子区	戸塚区	中区	泉区	保土ヶ谷区	栄区	緑区	神奈川区
件数	34	47	9	28	6	6	10	7	1	6
金沢区	西区	港北区	旭区	鶴見区	瀬谷区	青葉区	合 計			
8	5	1	6	2	3	1	180			

県域

地域	川崎市	横須賀市	鎌倉市	逗子市	藤沢市	高座郡	合 計
人数	4	2	2	1	2	1	12

(ケ) 平成24年度年齢別区分 (H25. 3月現在)

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合 計
8	27	57	43	42	13	2	192

(コ) 平成24年度男女・住居別区分

	男性	女性
単身生活	55	33
家族同居	44	42
施設入所	12	6
合 計	111	81

(サ) 平成24年度訪問看護運営会議活動状況

訪問運営会議	内 容	訪問運営会議	内 容
①平成24年 4月27日	訪問看護の概要説明 年間目標・年間計画	⑤平成24年11月30日	社会資源についての学習 地域医療相談室ケースワーカー
②平成24年 5月25日	退院前訪問の活用と効果について 各病棟意見交換	⑥平成25年 1月25日	訪問看護および退院前訪問看護 事例報告 3回目
③平成24年 7月27日	訪問看護および退院前訪問看護 事例報告 1回目	⑦平成25年 3月22日	平成24年度の振り返り
④平成24年 9月28日	訪問看護および退院前訪問看護 事例報告 2回目		

ウ 地域連絡会議

県立病院地域医療会議

会 議 名	場 所	実 施 日
第2回 県立病院地域医療会議	足柄上病院	平成24年 5月 8日
第3回 県立病院地域医療会議	芹香病院	平成24年 9月11日
第4回 県立病院地域医療会議	がんセンター	平成24年12月18日

港南区地域生活支援協議会

会 議 名	場 所	実 施 日
港南区障がい者地域生活支援会議	そよ風の家 港南区社会福祉協議会 港南区社会福祉協議会 港南区社会福祉協議会	平成24年 4月26日 5月30日 7月30日 11月22日

港南ネット会議

会 議 名	場 所	実 施 日
平成24年度 第1回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	平成24年5月11日
第2回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	7月13日
第3回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	9月14日
第4回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	11月9日
第5回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	平成25年1月11日
第6回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	3月8日

戸塚区連絡会（H22年度より出席）

会 議 名	場 所	実 施 日
戸塚区精神保健福祉連絡会・戸塚区生活支援センター運営連絡会	戸塚区役所	平成24年6月29日 9月20日 11月28日 平成25年2月1日
戸塚区精神保健福祉業務連絡会	戸塚区役所	平成25年1月28日

エ 協議会、研修受け入れ、講師派遣等

協議会等

内 容	場 所	参 加 日
第74回医療観察制度関係機関連絡協議会	国立精神・神経医療研究センター	平成24年5月17日
全国自治体病院協議会精神特別部会	都市センターホテル 松沢病院	平成24年8月29日～8月30日 平成24年8月31日
平成24年度神奈川県医療観察制度運営連絡協議会	横浜保護観察所	平成25年2月6日
第4回全自病協精神科コメディカル部会関東ブロック会議（なでしこ会）	剛堂会館	平成25年2月16日

実習生受け入れ

依 頼 校	人 数	実 施 日
上智社会福祉専門学校	1名	平成24年7月25日～8月9日
桜美林大学	1名	平成24年8月27日～9月11日
県立保健福祉大学	1名	平成24年9月18日～10月3日 10月5日・10月16日
県立保健福祉大学	1名	平成24年9月18日～10月18日
県立保健福祉大学見習実習	21名	平成24年10月25日
東洋大学	1名	平成24年11月5日～11月21日
田園調布学園大学	1名	平成25年2月6日～2月22日

現任者の視察・研修受け入れ

内 容	人 数	実 施 日
横浜市みなと赤十字病院新任研修	1名	平成24年5月14日～5月18日
横浜市精神障害者地域生活支援連合会見学実習	11名	平成24年10月23日
けやきの森病院リワークプログラム見学	1名	平成24年10月26日

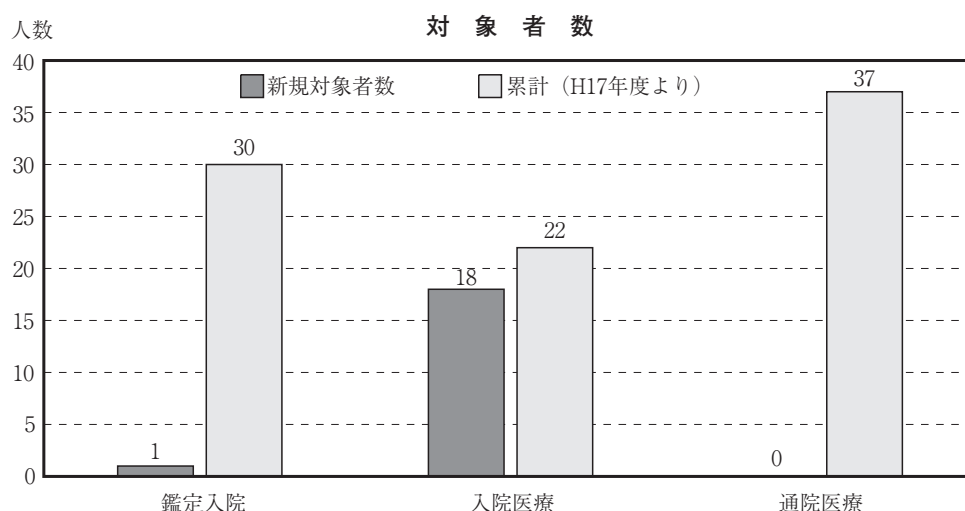
講師派遣

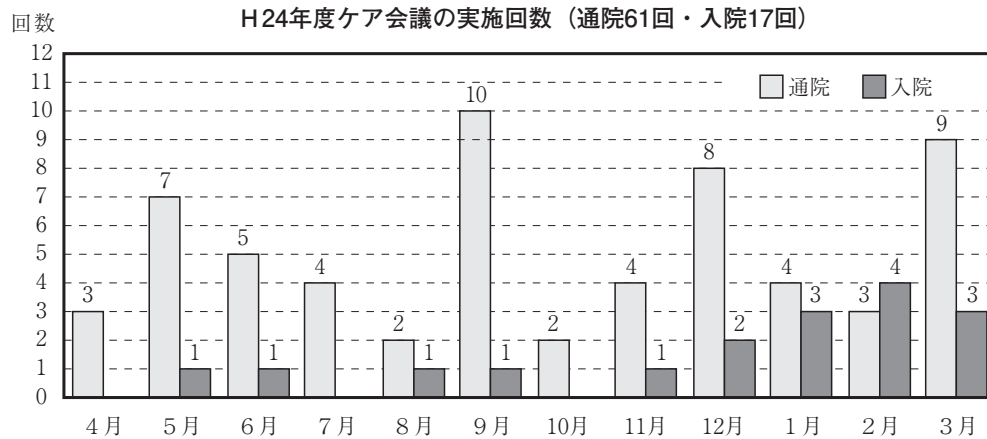
内 容	場 所	実 施 日
第8回司法精神医学会大会	金沢市文化ホール	平成24年6月9日
精神保健福祉実習における現場職員の事前指導	東洋大学	平成24年7月10日
指定医療機関従事者研修会	ベルサール九段 天満研修センター	平成24年9月15日 10月20日
多職種チーム活動とケアマネジメント研修	岩手県福祉総合相談センター	平成24年11月30日
医療観察法病棟入院対象者家族会	久里浜アルコール症センター	平成24年12月7日

オ 医療観察制度の取組み

H17年7月15日より施行された「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察制度）」では、医療と司法が連携の上で対象者の社会復帰に必要な処遇（それに伴う入院及び通院医療）を行なうとされている。当院では救急病棟であるB1病棟での鑑定入院ならびにフル規格病棟における入院医療、外来・訪問看護・デイケアなどを基本とした通院医療を、それぞれMDTを編成して提供している。入院医療では週に1回の治療評価会議・MDT会議をベースに、通院医療では月に1回のチーム会議をベースにして、3ヶ月に1回程度のケア会議を軸にした処遇を展開している。これら全体を統括する医療観察法運営会議を月に1回開催している。地域医療相談室に統括の医療観察担当者（兼任）が配置され、訪問看護調整者と連携の上で全体調整及び直接処遇を行なっている。入院病棟においては3名の担当者を配置しMDTメンバーとして関わっている。H22年度からは事務担当が1名配置され、各種手続き書類や評価シートなどの文書整理やケア会議等のスケジュール管理など、マネジメント機能が飛躍的に充実強化されている。また、院内研修の実施および他県の医療機関等の視察研修や新任社会復帰調整官の研修も受け入れている。なお引き続き、円滑な制度運営に向けて、県内の指定医療機関のソーシャルワーカーおよび社会復帰調整官のネットワーク（かながわ司法精神医療福祉ネットワーク）を実施している。精神・神経科学振興財団主催の指定医療機関従事者研修の講師も継続して担当している。

対象者





連絡会

内 容	開催場所	実 施 日
かながわ司法精神医療福祉ネットワーク会議	福井記念病院	平成24年 4月13日
	国府津病院	7月13日
	芹香病院	10月19日
	横浜保護観察所	平成25年 1月18日

講師派遣（再掲）

内 容	開催場所	実 施 日
第8回司法精神医学会大会	金沢市文化ホール	平成24年 6月 9日
指定医療機関従事者研修会	ベルサール九段 天満研修センター	平成24年 9月15日
医療観察法病棟入院対象者家族会	久里浜アルコール症センター	平成24年12月 7日

医療観察法病棟見学会

見 学 者	実 施 日
関東ブロック社会復帰調整官	平成24年 9月28日
全自病協精神科コメディカル部会関東ブロックメンバー（なでしこ会）	平成24年10月13日
かながわ司法精神医療福祉ネットワーク会議	平成24年10月19日
横浜弁護士会	平成24年10月26日

カ 横浜弁護士会による法律相談会

精神科医療を受ける上で生じる権利擁護やさまざまな法律に関わる問題（借金、家族関係など）について、迅速かつ適切な相談および対応方法の提供を行ってきた。今年度開棟したフル規格の医療観察法入院病棟における権利擁護支援の一環として位置づけるためにも、法律の専門家である弁護士の相談を定期的に開催し密な連携を図っていくことを目的として、H23年5月から3月までのモデル期間を経て、月に1回（第3木曜日）の横浜弁護士会による法律相談会を開催した。対象者は全病棟の入院患者として、事前にポスターにて周知後に担当PSWが申込み時の面接を行ない窓口弁護士との調整をはかった上で、希望者の人数により2人の弁護士に対応してもらった。

実績

回 数	月 日	利用者数	キャンセル
第 1 回	5 / 17	3 名	1 名
第 2 回	6 / 21	3 名	
第 3 回	7 / 19	4 名	
第 4 回	8 / 16	2 名	
第 5 回	9 / 20	4 名	
第 6 回	10 / 18	3 名	
第 7 回	11 / 22	2 名	
第 8 回	12 / 20	2 名	
第 9 回	1 / 17	4 名	
第10回	2 / 21	4 名	
第11回	3 / 22	2 名	

(6) 薬剤業務

調剤業務では、年間処方せん枚数は入院36,150枚で一日平均147.6枚、外来24,096枚（うち院外処方せんは1,331枚で、発行率は5.5%）で一日平均98.4枚である。年間調剤数は入院96,932件、外来140,947件、合計237,879件、一日平均調剤数は970.9件であった。

薬剤情報提供業務（外来）は、服薬アドヒアランス向上のため平成20年6月からは外来患者さん全員を対象に毎回行うこととした。保険点数算定件数は、処方内容に変更が無い場合は月1回のみ算定し18,671件だった。

薬剤管理指導業務（入院）は、指導実患者数延べ103人、指導回数延べ152回実施した。

製剤業務では、製剤品目20品目で、そのうち約束処方箋は4品目である。錠剤の散剤化製剤は11品目（20,600錠）調整し調剤業務の効率化を図った。

事故防止の推進のため、昨年度から引き続いて調剤の手順や方法、調剤室の人員配置等を見直し改善した。薬剤科の「医療安全報告書」の報告件数は平成18年度が106件だったが、平成19年度が58件、平成20年度が35件、平成21年度は41件、平成22年度は7件、平成23年度は9件だった。平成24年は26件。

薬品管理業務では、購入薬品数は651品目であった。薬効別薬品購入額では、中枢神経系用薬が、93.5%、循環器官用薬、消化器官用薬及びその他の薬剤が、6.5%であった。

向精神薬の管理は、緊急時に対応できる在庫管理を全品目実施した。又、調剤室の全薬品の在庫量の確認を半期毎に実施した。病棟・外来の常備・救急薬品の管理については、薬剤師による点検を毎月実施した。

薬事会議は、5月、9月、12月、3月の4回開催した。新規採用医薬品5品目、緊急購入医薬品38品目、削除医薬品16品目であった。

医薬品情報管理業務では、「医薬品情報」（DIニュース）を14回発行した。

オーダーリングシステムが平成21年12月から導入された。手書き処方箋と比較して照会件数が減少し、外来患者さんの待ち時間の短縮に繋がった。

A 平成24年度調剤数

区 分	処方せん枚数	剤 数	延べ剤数	1 日 平 均	
				剤 数	延べ剤数
入 院	36,150 枚	96,932 件	596,110 剤	395.6 件	2,433.1 剤
外 来	22,765	140,947	3,401,781	575.3	13,884.8
計	58,915	237,879	3,997,891	970.9	16,317.9

B 平成24年度注射剤払い出し本数

注射せん枚数	500 ml 未 満	500 ml 以 上	計
4,143 枚	6,150 本	2,188 本	8,338 本

C 平成24年度製剤数

内 服 散 剤	外 用 液 剤		軟 膏 剤	錠 剤 の 粉 砕
	非 滅 菌 製 剤	滅 菌 製 剤		
11,058.8 g	267,020 ml	0 ml	0 g	20,600 錠

D 平成24年度剤型別薬品購入額

剤 型	品 目 数	%	購 入 額	%
注 射	70 品	10.8 %	44,408,172 円	11.3 %
内 服	530	81.4	346,330,530	88.4
外 用	45	6.9	844,633	0.2
消 毒 液	6	0.9	75,475	0.1
計	651	100.0	391,658,810	100.0

E 平成24年度薬効別薬品購入額

薬 効	品 目 数	%	購 入 額	%
精 神 神 経 用 剤	203 品	31.2 %	327,476,608 円	83.6 %
抗 て ん かん 剤	32	4.9	13,501,667	3.4
抗 パ ー キ ン ソ ン 剤	19	2.9	4,637,577	1.2
睡眠鎮静剤・抗不安剤	63	9.7	16,402,823	4.2
循 環 器 官 用 薬	47	7.2	3,385,040	0.9
消 化 器 官 用 薬	64	9.8	10,548,538	2.7
そ の 他 の 薬 剤	223	34.3	15,706,557	4.0
計	651	100.0	391,658,810	100.0

(7) 医療教育

ア 臨床研修医受入状況

管理型病院名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
足柄上病院							1			1			
厚木市立病院						1		1				1	
国際親善総合病院					1			1					
汐見台病院			1	1	1	1			1	1	1	1	

平成24年度は臨床研修協力型病院として次のとおりに臨床研修医を受け入れた。(単位：人)

イ 研修受け入れ

対象	人数	実施日
横浜市立大学医学部学生	5～6人	火曜日（見学実習）

(8) 栄養管理科業務

栄養管理科では、患者個々にあった栄養管理の実施と安全、安心な食事提供を業務としている。さらに精神科治療の一環として食生活の自立支援に結びつく関わりを目的としている。

平成24年度は医療観察法病棟の開棟に伴い、科員が協力して食事提供業務の流れを構築した。

平成26年度に予定されている新棟移転の業務内容を想定し、芹香病院、せりがや病院の両病院において、取り決め事項の再確認、見直しを実施した。

また、食材の納入業者選定方法を再検討し、適正価格での購入により食事の質を落とさずに経営改善に努めることができた。平成24年度の平均一食単価は290円であった。設備の老朽化に伴い、衛生管理、異物混入防止の観点から修繕および、改善策を検討して安全な業務推進を図った。

入院患者への栄養管理についてはNST・栄養管理検討部会を有効活用し、病棟カンファレンスを中心に栄養管理上の問題点、課題などの解決に向けた提案をしてきた。結果は項目イに表記した。

ア 給食実施状況

平成24年度は医療観察法病棟が開棟した影響は、食数上はあまりみられなかった。入院給食数は対前年度比94.7%〔一日平均575食（デイ・ケア食含む）〕であった。デイ・ケア食は対前年度比70.0%（一日平均21.3食）と減少した。

食種別食数の対前年度比では、介護食122.6%、ミキサー食208.2%と急激に増加した。

加算算定のできる特別食については、心臓病食204.2%、糖尿病食144.7%、潰瘍食121.2%と増加している。「全量摂取を目的とした個人対応」を調理に反映してきたことに加えて、院内における栄養管理への理解がすすんだ結果、食種の適正活用がなされ、診療報酬増に寄与できたと考えられる。

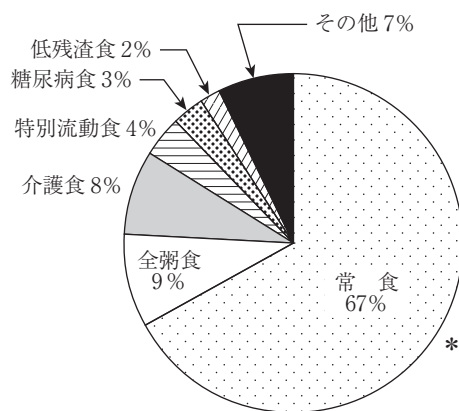
年 度 区 分				24年度	23年度	対前年度比（％）	
一 般 食	常 食			134,916	140,580	96.0	
	軟 流 動 食	全 粥 食			19,156	21,875	87.6
		介 護 食			15,285	12,465	122.6
		ミ キ サ ー 食			612	294	208.2
		流 動 食			25	42	59.5
		小 計			35,078	34,676	101.2
	計			169,994	175,256	97.0	
特 別 食	加 算 で き る も の	腎 炎 食		2,966	3,041	97.5	
		心 臓 病 食		1,507	738	204.2	
		肝 臓 病 食		11	0	—	
		糖 尿 病 食		6,968	4,814	144.7	
		膵 臓 病 食		0	152	—	
		ネ フ ロ ー ゼ 食		0	0	—	
		潰 瘍 食		223	184	121.2	
		貧 血 食		506	1,098	46.1	
		脂 質 代 謝 異 常 症		570	1,121	50.8	
		肥 満 食		2,269	4,364	52.0	
		痛 風 食		0	0	—	
		小 計		15,020	15,512	96.8	
	食	加 算 で き な い も の	肥 満 食		1,454	2,306	63.1
			高 血 圧 食		342	844	40.5
			貧 血 食		0	0	—
			特 別 流 動 食		7,989	9,900	80.7
			脂 質 代 謝 異 常 症		0	0	—
			低 残 渣 食		3,814	5,091	74.9
			ソ フ ト 食		3,418	4,493	76.1
			小 計		17,017	22,634	75.2
	計			32,037	38,146	84.0	
合 計				202,031	213,402	94.7	
院 外 作 業 食 ・ 病 棟 レ ク 食				(236)	(340)	69.4	
デ イ ・ ケ ア				5,209	7,445	70.0	
検 食 ・ 保 存 食				2,190	2,196	99.7	
職 員 食（実 習 生）				28,240（164）	27,575（128）	102.4（128.1）	
総 合 計				237,506	250,490	94.8	

* 院外作業食、病棟レク食 () は再掲

* 職員食 () は実習生で内数

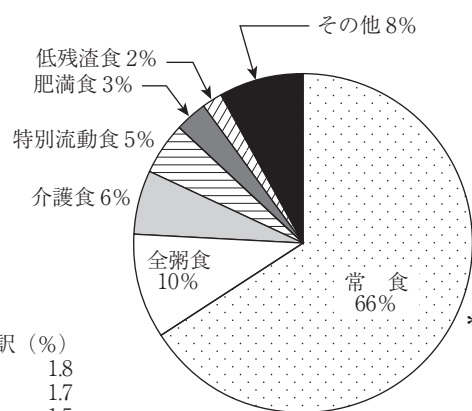
〔平成24年度〕

〔平成23年度〕



* その他の内訳 (%)

肥 満 食	1.8
ソフト食	1.7
腎 炎 食	1.5
心臓病食	0.8
ミキサー、流動食	0.3
脂質代謝異常症	0.3
貧 血 食	0.3
高血圧食	0.2
潰 瘍 食	0.1



* その他の内訳 (%)

糖尿病食	2.3
ソフト食	2.1
腎 炎 食	1.4
脂質代謝異常症	0.5
貧 血 食	0.5
高血圧食	0.4
心臓病食	0.4
ミキサー、流動食	0.2
潰 瘍 食	0.1
膵臓病食	0.1

イ 栄養管理・NST活動

平成24年度の6月に栄養状態調査を実施し、低栄養状態のみならず、過剰栄養、摂食・嚥下に問題がある入院患者の存在を把握した。そのことを踏まえ、栄養管理計画書の書式変更を行なった。入院患者については、管理栄養士が栄養管理計画書を作成し入院中の食事提供について個々人に最適であるように提案を実施した。

平成24年度は栄養管理を目的とした病棟カンファレンスが定着し毎月定例で開催した。

NST・栄養管理検討部会において各病棟における栄養管理上の問題点を共有し改善に向けた検討を実施した。

	A2	A3	B1	B2	B3	C2	F	計
スクリーニング件数（新規入院患者）	112	11	219	166	9	7	19	543
カンファレンス症例件数	16	21	0	31	90	71	0	229

ウ 栄養指導

平成24年度の集団指導は、ストレス外来治療プログラム「リワーク」の一環の集団指導のほか、病棟における入院生活を送る上で必要となる食知識の集団指導、作業療法プログラムの食生活の自立支援のための集団指導、デイ・ケア通院患者対象の集団指導など精神科特有の視点にたった指導を実施した。デイ・ケア患者を対象に昼食を患者自身で盛り付けることにより適量を把握することを目的として「セルフランチ」を実施した。

個人指導については体重管理、バランスのとれた食生活、糖尿病、脂質異常症などの食生活指導を主治医の指示に基づき実施した。

区分 年度	入 院				外 来				合 計			
	集団指導		個別指導		集団指導		個別指導		集団指導		個別指導	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
24	25	112	34	34	12	34	2	2	37	146	36	36
23	25	136	13	13	4	29	1	1	29	165	14	14
対前年度比 (%)	100.0	82.4	261.5	261.5	300.0	117.2	200.0	200.0	127.6	88.5	257.1	257.1

エ その他

実習生の受け入れ指導：神奈川県立保健福祉大学より管理栄養士実習受託、3週間2名の実習を実施した。

病院職員、他セクションの実習生の講義を実施した。

(9) 保育業務

平成24年度は、精神医療センター及びこども医療センターに勤務する看護師、医師の幼児を対象とするとともに、保育時間も6時30分から22時までとしている。また、毎週土曜日と月1回日曜保育（第3を基本）も実施している。

ア 保育の状況

年 齢	男	女	計	保 護 者 の 所 属	
6 歳	1	1	2	精神医療センター 1	こども医療センター 1
5 歳	2	5	7	精神医療センター 4	こども医療センター 3
4 歳	4	2	6	精神医療センター 3	こども医療センター 3
3 歳	7	2	9	精神医療センター 3	こども医療センター 6
2 歳	5	4	9	精神医療センター 2	こども医療センター 7
1 歳	3	1	4	精神医療センター 2	こども医療センター 2
計	22	15	37	精神医療センター 15	こども医療センター 22

イ 主な行事

月	内 容	
4	進級式、クラス懇談会、クッキング	誕生会
5	遠足、芋苗植え	〃
6	ぎょう虫検査、クッキング、春の健康診断	〃
7	プール開き、終園式 プールは～8/31まで実施	〃
9	始園式、クッキング、梨狩遠足、秋祭り	〃
10	運動会、ハロウィンパーティー	〃
11	芋掘り、秋の健康診断、歯みがき指導	〃
12	クリスマスお楽しみ会、終園式、なかよし発表会	〃
1	始園式、個人面談、もちつき大会	〃
2	お店屋さんごっこ	〃
3	お別れ遠足、卒園式、終園式、お別れ会カレーパーティー	〃

Ⅲ せりがや病院事務事業の状況

1 せりがや病院基本方針

- 1 依存症の専門病院として、最新の知識を生かし、質の高い医療を提供するとともに、啓発活動に努めます。
- 2 患者様の人権に配慮し、インフォームド・コンセントを重視します。
- 3 職員間の連携を図り、チーム医療に努めます。
- 4 ご家族や関連諸機関と連携し、患者様の社会復帰を目指します。
- 5 県立病院として健全な経営に努力します。

2 経理の状況

(1) 地方独立行政法人会計 決算状況

(ア) 貸 借 対 照 表

(平成25年 3 月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構せりがや病院】

(単位：円)

科 目	金 額			
資産の部				
I 固定資産				
1 有形固定資産				
土地		376,727,243		
建物	644,443,787			
減価償却累計額	△ 84,126,080	560,317,707		
構築物	22,513,363			
減価償却累計額	△ 3,928,877	18,584,486		
器械備品	39,862,460			
減価償却累計額	△ 15,879,089	23,983,371		
車両	0			
減価償却累計額	0	0		
放射性同位元素	0			
減価償却累計額	0	0		
建設仮勘定		0		
有 形 固 定 資 産 合 計		979,612,807		
2 無形固定資産				
ソフトウェア		0		
電話加入権		8,000		
その他		0		
無 形 固 定 資 産 合 計		8,000		
3 投資その他の資産				
長期貸付金		0		
長期前払消費税等		2,047,296		
破産更生債権等	2,640,985			
貸倒引当金	△ 2,640,985	0		
その他		130,000		
投資その他の資産合計		2,177,296		
固 定 資 産 合 計			981,798,103	
II 流動資産				
現金及び預金		43,070,995		
医業未収金	74,793,691			
貸倒引当金	△ 954,001	73,839,690		
未収金		363,502		
たな卸資産		7,046,620		
前払費用		896,864		
流 動 資 産 合 計			125,217,671	
資 産 合 計				1,107,015,774

(ア) 貸 借 対 照 表
(平成25年 3 月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構せりがや病院】

(単位：円)

科 目	金 額			
負債の部				
I 固定負債				
資産見返負債				
資産見返補助金等	0			
資産見返寄附金	0			
資産見返物品受贈額	86,245,691			
建設仮勘定見返運営費負担金	0			
建設仮勘定見返補助金等	0	86,245,691		
長期借入金		7,350,000		
移行前地方債償還債務		320,090,000		
引当金				
退職給付引当金	389,199,938			
環境対策引当金	0	389,199,938		
リース債務		1,095,681		
資産除去債務		1,033,832		
固 定 負 債 合 計			805,015,142	
II 流動負債				
寄附金債務		0		
一年以内返済予定長期借入金		1,925,000		
一年以内償還予定移行前地方債償還債務		54,732,000		
未払金		40,844,028		
一年以内支払予定リース債務		862,596		
未払費用		3,305		
前受金		0		
預り金		2,223,662		
引当金				
賞与引当金	31,844,570	31,844,570		
流 動 負 債 合 計			132,435,161	
負 債 合 計				937,450,303
純資産の部				
I 資本金				
設立団体出資金		155,293,926		
資 本 金 合 計			155,293,926	
II 資本剰余金				
資本剰余金		4,000,000		
資 本 剰 余 金 合 計			4,000,000	
III 利益剰余金				
積立金		16,069,262		
当期末処分利益		△ 5,797,717		
(うち当期総利益)		(△ 5,797,717)		
利 益 剰 余 金 合 計			10,271,545	
純 資 産 合 計				169,565,471
負 債 純 資 産 合 計				1,107,015,774

(イ) 損 益 計 算 書
(平成24年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構せりがや病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
営業収益			
医業収益			
入院収益	287,695,493		
外来収益	173,828,142		
児童福祉施設収益	0		
その他医業収益	2,520,282	464,043,917	
運営費負担金収益		378,749,611	
補助金等収益		0	
寄附金収益		0	
資産見返運営費負担金戻入		0	
資産見返補助金等戻入		0	
資産見返寄附金等戻入		0	
資産見返物品受贈額戻入		2,916,102	
営 業 収 益 合 計			845,709,630
営業費用			
医業費用			
給与費	584,157,724		
材料費	112,393,616		
減価償却費	39,853,495		
経費	101,496,582		
研究研修費	461,950		
児童福祉施設費	0	838,363,367	
一般管理費			
給与費	0		
減価償却費	0		
経費	0	0	
控除対象外消費税等		11,233,112	
資産に係る控除対象外消費税等償却		147,383	
その他営業費用		0	
営 業 費 用 合 計			849,743,862
営 業 利 益			△ 4,034,232
営業外収益			
運営費負担金収益		4,437,000	
患者外給食収益		3,172,387	
不用品売却収益		0	
財務収益		517	
雑益		1,457,537	
営 業 外 収 益 合 計			9,067,441
営業外費用			
患者外給食費		3,234,443	
財務費用		6,695,705	
雑支出		1,126,444	
営 業 外 費 用 合 計			11,056,592
経 常 利 益			△ 6,023,383
臨時利益			
その他臨時利益		225,666	225,666
臨時損失			
固定資産除却損		0	
その他臨時損失		0	0
当 期 純 利 益			△ 5,797,717
当 期 総 利 益			△ 5,797,717

3 業務実績

(1) 各種指標

項 目	計 算 方 式	単位	平成24年度	平成23年度	対前年度比(%)	備 考
病 床 数		床	80	80	100.0	
取 扱 患 者 数		人	32,347	35,637	90.8	
入 院 患 者		人	16,279	17,924	90.8	
外 来 患 者		人	16,068	15,023	107.0	
1 日 平 均 取 扱 患 者 数		人	110.2	110.6	99.6	
入 院 患 者	取扱入院患者数／年間日数	人	44.6	49	91.0	
外 来 患 者	取扱外来患者数／年間外来診療日数	人	65.6	61.6	106.5	
病 床 利 用 率	取扱入院患者数／延病床数×100	%	55.8	61.2	91.2	
平 均 在 院 日 数	入院延患者数／(入院患者数＋退院患者数)×0.5	日	42.7	52.3	81.6	
入 院 外 来 患 者 比 率	取扱患者数／取扱入院患者数×100－100	%	98.7	83.8	117.8	
医師・看護師 1 人当たりの取扱患者数						
医 師	取扱患者数／医師延人数	人	17.7	18	98.3	
看 護 師	取扱患者数／看護師延人数	人	2.2	2.3	95.7	
職 員 数		人	56	58	96.6	期 末 人 数
医 師		人	5	5	100.0	期 末 人 数
看 護 師		人	39	39	100.0	期 末 人 数
そ の 他 職 員		人	12	14	85.7	期 末 人 数
病 床 100 床 当 た り の 職 員 数	全職員数／病床数×100	人	70.0	72.5	96.6	
医 師	職員数／病床数×100	人	6.2	6.2	100.0	
看 護 師	職員数／病床数×100	人	48.7	48.7	100.0	
そ の 他 職 員	職員数／病床数×100	人	15.0	17.5	85.7	
患 者 1 人 当 た り の 収 益	医業収益／取扱患者数	円	14,346	14,158	101.3	
入 院 患 者	入院収益／取扱患者数	円	17,673	17,255	102.4	
外 来 患 者	外来収益／取扱患者数	円	10,818	10,279	105.2	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医 師	医業収益／医師延人数	円	25,427	255,612	9.9	
看 護 師	医業収益／看護師延人数	円	32,599	32,770	99.5	
患 者 1 人 1 日 当 た り の 費 用	医業費用／取扱患者数	円	25,918	24,922	104.0	
患 者 1 人 当 た り の 薬 品 費	薬品費／取扱患者数	円	2,953	2,410	122.5	
患 者 1 人 当 た り の 給 食 材 料 費	給食材料費／取扱入院患者数	円	853	865	98.6	
医 業 収 益 に 対 す る 費 用 比 率	医業費用／医業収益×100	%	180.6	176	102.6	
給 与 費	給与費／医業収益×100	%	125.8	124.9	100.7	
材 料 費	材料費／医業収益×100	%	24.2	21	115.2	
経 費	経費／医業収益×100	%	21.8	22	99.1	

(注) 医師、看護師の延人数は、期末の在籍人数に365日（平成24・23年度共）を乗じ算出した

4 患者の状況

(1) 外来患者の状況

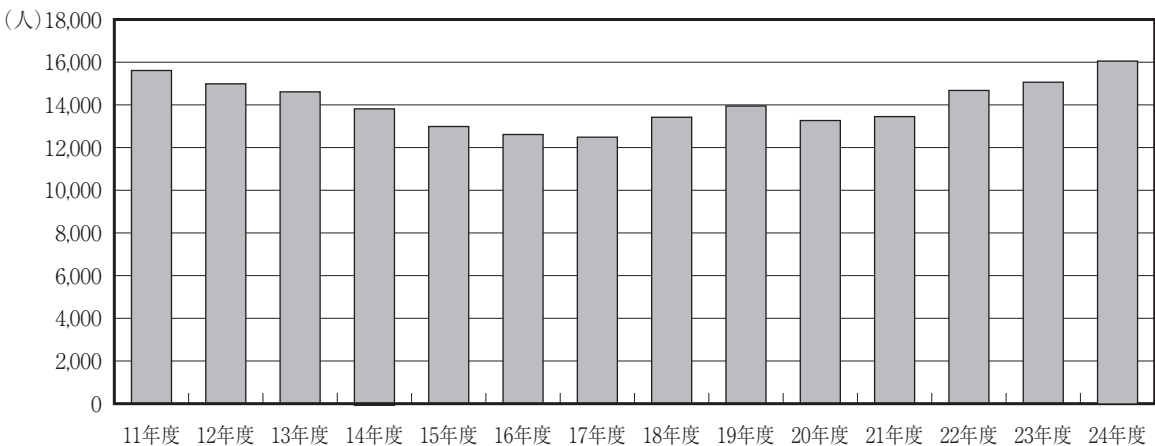
延患者数は1,045人の増で対前年度比7.0%の増となっている。そのうち、再来は、1,008人の増で対前年度比7.0%の増、新患は37人の増で対前年度比5.2%増となっている。新外来患者において、依存薬物別ではアルコールが45.2%で最も大きな割合を占めているが、大麻が前年度の4.3%から17.2%に増加し、また、年齢別では30～39歳の構成比が25.2%と最も多くなっている。外来患者の受診経路については医療機関からの経路が最も多く、全体の34.1%を占めている。

ア 月別外来患者数

年度	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
24	新 患	49	54	67	69	65	48	76	61	56	55	64	80	744
	再 来	1,226	1,330	1,243	1,309	1,355	1,178	1,395	1,272	1,248	1,240	1,185	1,343	15,324
	延患者数	1,275	1,384	1,310	1,378	1,420	1,226	1,471	1,333	1,304	1,295	1,249	1,423	16,068
	一日平均	63.8	72.8	59.5	68.9	61.7	61.3	73.6	66.7	68.6	68.2	59.5	67.8	65.9
23	新 患	59	51	62	70	67	55	54	60	43	46	58	82	707
	再 来	1,134	1,118	1,279	1,159	1,288	1,199	1,130	1,293	1,166	1,115	1,156	1,279	14,316
	延患者数	1,193	1,169	1,341	1,229	1,355	1,254	1,184	1,353	1,209	1,161	1,214	1,361	15,023
	一日平均	59.7	61.5	61.0	61.5	58.9	62.7	59.2	67.7	63.6	61.1	57.8	64.8	61.6

(注) 精神科のほか、内科受診者を含む

イ 外来患者数の年次推移状況



ウ 依存薬物別新外来患者数

年度	区分	依存薬物等 (F1)	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	そ の 他 薬 物	そ の 他 精神障害	計
24	男		245	1	112	115	49	19	541
	女		81	1	34	9	33	23	181
	計		326	2	146	124	82	42	722
	構成比		45.2	0.3	20.1	17.2	11.4	5.8	100.0
23	男		313	2	100	25	50	34	524
	女		70	0	28	4	43	13	158
	計		383	2	128	29	87	47	682
	構成比		56.1	0.3	18.8	4.3	12.7	6.9	100.0

その他の薬物詳細

年 度	薬物名 区分	鎮・睡剤	コカイン	幻覚剤	アヘン	市販薬	多剤	その他	計
24	男	14	0	0	0	5	23	7	49
	女	21	0	0	0	2	10	0	33
	計	35	0	0	0	7	33	7	82
	構成比	4.8	0.0	0.0	0.0	1.0	4.6	1.0	11.4
23	男	15	0	0	3	5	26	1	50
	女	23	2	0	1	0	15	2	43
	計	38	2	0	4	5	41	3	93
	構成比	5.6	0.3	0.0	0.6	0.7	6.0	0.4	13.6

エ 年齢別新外来患者数

年 度	年齢 区分	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
24	男	14	100	126	113	94	60	34	541
	女	4	36	56	37	32	11	5	181
	計	18	136	182	150	126	71	39	722
	構成比	2.5	18.8	25.2	20.8	17.5	9.8	5.4	100.0
23	男	4	63	106	129	91	79	52	524
	女	5	28	49	40	19	14	3	158
	計	9	91	155	169	110	93	55	682
	構成比	1.3	13.4	22.7	24.8	16.1	13.6	8.1	100.0

オ 地域別実外来患者数

年度 居住地域		24	23	年度 居住地域		24	23	年度 居住地域		24	23
横 浜 市		1,161	1,149	横 須 賀 市	56	46	足 柄 上 郡		3	5	
	鶴 見 区	52	58	平 塚 市	38	39	中 井 町		0	0	
	神 奈 川 区	52	50	鎌 倉 市	32	31	大 井 町		1	3	
	西 区	35	34	藤 沢 市	73	63	松 田 町		2	2	
	中 区	115	95	小 田 原 市	15	15	山 北 町		0	0	
	南 区	198	192	茅 ケ 崎 市	31	29	開 成 町		0	0	
	港 南 区	126	121	逗 子 市	3	4	足 柄 下 郡		2	1	
	保 土 ケ 谷 区	72	69	相 模 原 市	3	7	箱 根 町		1	1	
	旭 区	65	62	三 浦 市	5	7	真 鶴 町		0	0	
	磯 子 区	64	73	秦 野 市	7	7	湯 河 原 町		1	0	
	金 沢 区	42	43	厚 木 市	15	11	県 内 計		1,677	1,632	
	港 北 区	43	48	大 和 市	35	28	東 京 都		82	67	
	緑 区	26	22	伊 勢 原 市	8	9	埼 玉 県		4	3	
	戸 塚 区	121	119	海 老 名 市	13	12	千 葉 県		7	3	
	瀬 谷 区	40	38	座 間 市	13	15	群 馬 県		1	0	
	栄 区	30	33	南 足 柄 市	2	3	栃 木 県		2	1	
	泉 区	40	46	綾 瀬 市	15	11	山 梨 県		0	0	
	青 葉 区	18	23	三 浦 郡 葉 山 町	2	3	静 岡 県		8	6	
	都 筑 区	22	23	高 座 郡 寒 川 町	9	9	茨 城 県		1	4	
	川 崎 市		129	122	愛 甲 郡	1	2	そ の 他 の 県		42	35
川 崎 区		50	45	愛 川 町	1	2	県 外 計		147	119	
幸 区		17	20	清 川 村	0	0	住 所 不 明		0	0	
中 原 区		15	11	中 郡	6	4	計		1,824	1,751	
高 津 区		21	21	大 磯 町	4	1					
宮 前 区		9	10	二 宮 町	2	3					
多 摩 区		13	11								
麻 生 区		4	4								

(注) 新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

カ 新外来患者の受診経路

年度	依存薬物等 (F1) 受診経路	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	構成比
24	退院者、通院歴あり	75		54	9	16	11	165	22.8
	医 療 機 関 (精 神 科)	113		32	54	36	11	246	34.1
	医 療 機 関 (そ の 他 診 療 科)	64		1	9	6		80	11.1
	保 健 所	2		3	7	1		13	1.8
	福 祉 事 務 所	19		13	2	1		35	4.8
	断 酒 会 A - A	4		13	7	3	1	28	3.9
	職 場 関 係 者	3					15	18	2.5
	友 人 ・ 知 人	14		11	7	8	1	41	5.7
	警 察			2		1		3	0.4
	そ の 他	32	2	17	29	10	3	93	12.9
	計	326	2	146	124	82	42	722	100.0
年度	依存薬物等 (F1) 受診経路	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	構成比
23	退院者、通院歴あり	103	1	55	1	13	6	179	26.2
	医 療 機 関 (精 神 科)	109		26	9	39	6	189	27.7
	医 療 機 関 (そ の 他 診 療 科)	68		3	2	6	3	82	12.0
	保 健 所	4			1	3		8	1.2
	福 祉 事 務 所	13		11	2	1		27	4.0
	断 酒 会 A - A	8		6	3	8		25	3.7
	職 場 関 係 者	3		1		1	25	30	4.4
	友 人 ・ 知 人	18		9	3	4	1	35	5.1
	警 察		1	1		1		3	0.4
	そ の 他	57		16	8	17	6	104	15.3
	計	383	2	128	29	93	47	682	100.0

(2) 入退院患者の状況

延患者数は1,645人の減で、対前年度比9.2%の減となっている。病床利用率は、対前年度比5.4ポイント減となった。

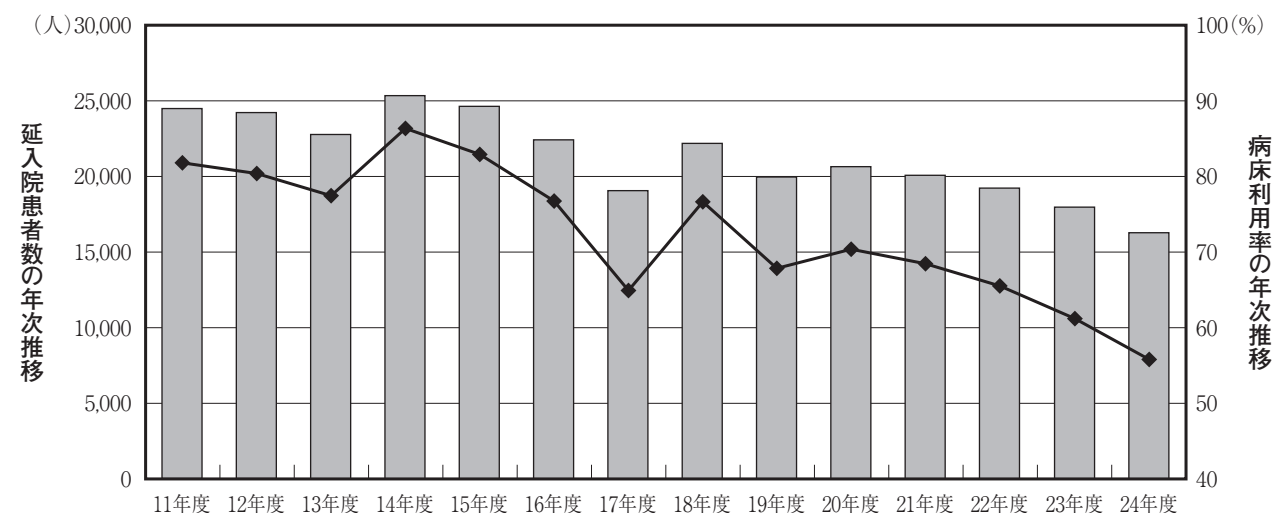
新入院患者は、35人増加し、対前年度比10.1%増となっている。新入院患者の依存薬物別の構成比はアルコールの割合が最も多く59.2%を占め、次いでその他薬物の17.1%となっており、また、大麻が前年度の2.3%から12.4%に増加している。入院形態は任意入院が全体の97.4%を占めている。退院患者の転帰は軽快の割合が多く、65.2%を占めている。

ア 月別入退院患者数

年度	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
24	入 院	22	29	32	35	33	30	44	29	31	24	37	34	380
	退 院	32	28	27	30	42	25	33	34	32	40	32	27	382
	延 患 者 数	1,247	1,143	1,294	1,612	1,390	1,267	1,548	1,539	1,706	1,322	932	1,279	16,279
	病床利用率	52.0	46.1	53.9	65.0	56.0	52.8	62.4	64.1	68.8	53.3	41.6	51.6	55.8
23	入 院	31	18	33	25	29	33	36	33	27	25	21	34	345
	退 院	21	27	20	30	35	34	38	31	20	21	29	34	340
	延 患 者 数	1,464	1,401	1,472	1,579	1,593	1,386	1,428	1,432	1,539	1,614	1,506	1,510	17,924
	病床利用率	61.0	56.5	61.3	63.7	64.2	57.8	57.6	59.7	62.1	65.1	64.9	60.9	61.2

(注) 月別に新たに入院した数

イ 延入院患者数及病床利用率の年次推移状況



ウ 依存薬物別入院患者数

年 度	依存薬物等 (F1) 区分	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	そ の 他 薬 物	そ の 他 精神障害	計
24	男	172		31		40	38		281
	女	53		9		7	27	3	99
	計	225		40		47	65	3	380
	構成比	59.2		10.5		12.4	17.1	0.8	100.0
23	男	195	1	21	2	8	26		253
	女	61		7			23	1	92
	計	256	1	28	2	8	49	1	345
	構成比	74.2	0.3	8.1	0.6	2.3	14.2	0.3	100.0

(注) 本表の患者数とは、当年度に新たに入院した患者数

その他の薬物詳細

年 度	薬物名 区分	鎮・睡剤	コカイン	幻 覚 剤	ア ヘ ン	市 販 薬	多 剤	そ の 他	計
24	男	9				5	19	5	38
	女	15				2	9	1	27
	計	24				7	28	6	65
	構成比	6.3				1.8	7.4	1.6	17.1
23	男	12			2	2	10	2	28
	女	12					10	1	23
	計	24			2	2	20	3	51
	構成比	7.0			0.6	0.6	5.8	0.9	14.8

エ 病類別・年齢別実入院患者数

年度	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	年 齢 構成比
	年齢	区分									
24	19歳以下	男									
		女									
		小計									
	20～29歳	男	4		3		22	12		41	16.6
		女	6		1		6	9		22	
		小計	10		4		28	21		63	
	30～39歳	男	14		16		12	16		58	21.1
		女	12		1		1	7	1	22	
		小計	26		17		13	23	1	80	
	40～49歳	男	45		8		5	7		65	25.5
		女	17		6			7	2	32	
		小計	62		14		5	14	2	97	
	50～59歳	男	61		4		1	3		69	23.4
		女	16		1			3		20	
		小計	77		5		1	6		89	
	60～69歳	男	34							34	9.7
		女	2					1		3	
		小計	36					1		37	
	70歳以上	男	14							14	3.7
		女									
		小計	14							14	
	計	男	172		31		40	38		281	100.0
		女	53		9		7	27	3	99	
		小計	225		40		47	65	3	380	
		構成比	59.2		10.5		12.4	17.1	0.8	100.0	
年度	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	年 齢 構成比
	年齢	区分									
23	19歳以下	男									0.6
		女			1			1		2	
		小計			1			1		2	
	20～29歳	男	4		5		5	8		22	10.2
		女	3		1			8	1	13	
		小計	7		6		5	16	1	35	
	30～39歳	男	23	1	13	2	3	8		50	22.0
		女	17		3			6		26	
		小計	40	1	16	2	3	14		76	
	40～49歳	男	57		3			5		65	28.7
		女	26		2			6		34	
		小計	83		5			11		99	
	50～59歳	男	49					4		53	18.0
		女	7					2		9	
		小計	56					6		62	
	60～69歳	男	47					1		48	15.9
		女	7							7	
		小計	54					1		55	
	70歳以上	男	15							15	4.6
		女	1							1	
		小計	16							16	
	計	男	195	1	21	2	8	26		253	100.0
		女	61		7			23	1	92	
		小計	256	1	28	2	8	49	1	345	
		構成比	74.2	0.3	8.1	0.6	2.3	14.2	0.3	100.0	

(注) 本表の患者数とは、当年度に新たに入院した患者数

才 地域別実入院患者数

居住地域		年度	24	23	居住地域		年度	24	23	居住地域		年度	24	23
横 浜 市			196	205	横 須 賀 市		13	8	足 柄 上 郡			0	0	
	鶴 見 区		10	8	平 塚 市		8	12		中 井 町		0	0	
	神 奈 川 区		11	9	鎌 倉 市		6	4		大 井 町		0	0	
	西 区		7	5	藤 沢 市		16	20		松 田 町		0	0	
	中 区		27	19	小 田 原 市		6	5		山 北 町		0	0	
	南 区		31	31	茅 ケ 崎 市		6	4		開 成 町		0	0	
	港 南 区		13	12	逗 子 市		1	0	足 柄 下 郡			1	0	
	保 土 ケ 谷 区		10	11	相 模 原 市		1	3		箱 根 町		0	0	
	旭 区		8	14	三 浦 市		1	0		真 鶴 町		0	0	
	磯 子 区		11	13	秦 野 市		2	2		湯 河 原 町		1	0	
	金 沢 区		5	6	厚 木 市		3	3	県 内 計		316	320		
	港 北 区		7	10	大 和 市		10	8	東 京 都		26	29		
	緑 区		6	7	伊 勢 原 市		0	3	埼 玉 県		2	1		
	戸 塚 区		13	18	海 老 名 市		1	1	千 葉 県		2	0		
	瀬 谷 区		7	6	座 間 市		3	4	群 馬 県		1	0		
	栄 区		6	13	南 足 柄 市		1	1	栃 木 県		3	1		
	泉 区		11	7	綾 瀬 市		3	2	山 梨 県		0	0		
	青 葉 区		7	7	三 浦 郡 葉 山 町		0	0	静 岡 県		1	0		
	都 筑 区		6	9	高 座 郡 寒 川 町		3	1	茨 城 県		1	1		
	川 崎 市			31	33	愛 甲 郡			1	1	そ の 他 の 県		16	8
川 崎 区			9	19	愛 川 町			1	1	県 外 計		52	40	
幸 区			5	2	中 郡			0	0	住 所 不 明		0	0	
中 原 区			6	1		清 川 村		3	0	計		368	360	
高 津 区			6	6		大 磯 町		2	0					
宮 前 区			3	2		二 宮 町		1	0					
多 摩 区			2	2										
麻 生 区			0	1										

力 入院費負担区分別患者数（平成24年3月末現在在院患者一覧表）

年度	負担区分	健康保険法		国民健康 保 険 法	生 活 保 護 法	精神保健 福 祉 法	麻 薬 取 締 法	自 費	計
		本 人	家 族						
24	男	5	2	16	14				37
	女	1	2	1	3				7
	計	6	4	17	17				44
	構成比	13.6	9.1	38.6	38.6				100.0
23	男	1		21	14				36
	女		2	5	3				10
	計	1	2	26	17				46
	構成比	2.2	4.3	56.5	37.0				100.0

キ 入院形態別患者数

年度	形態	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		区分													
24	任意	男	18	20	24	23	24	24	31	23	21	16	25	25	274
		女	4	8	7	11	8	5	13	6	8	7	12	7	96
		小 計	22	28	31	34	32	29	44	29	29	23	37	32	370
		構成比	100.0	96.6	96.9	97.1	97.0	96.7	100.0	100.0	93.5	95.8	100.0	94.1	97.4
	医療保護	男		1			1	1			1	1		2	7
		女			1	1					1				3
		小 計		1	1	1	1	1			2	1		2	10
		構成比		3.4	3.1	2.9	3.0	3.3			6.5	4.2		5.9	2.6
	措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
	計	男	18	21	24	23	25	25	31	23	22	17	25	27	281
		女	4	8	8	12	8	5	13	6	9	7	12	7	99
		計	22	29	32	35	33	30	44	29	31	24	37	34	380
23	任意	男	20	15	23	20	21	24	21	27	20	17	14	26	248
		女	10	3	8	5	8	9	15	4	7	8	5	8	90
		小 計	30	18	31	25	29	33	36	31	27	25	19	34	338
		構成比	96.8	100.0	93.9	100.0	100.0	100.0	100.0	93.9	100.0	100.0	90.5	100.0	98.0
	医療保護	男	1		1					2			1		5
		女			1								1		2
		小 計	1		2					2			2		7
		構成比	3.2		6.1					6.1			9.5		2.0
	措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
	計	男	21	15	24	20	21	24	21	29	20	17	15	26	253
		女	10	3	9	5	8	9	15	4	7	8	6	8	92
		計	31	18	33	25	29	33	36	33	27	25	21	34	345

ク 依存薬物別・在院期間別退院患者数

年度	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計
	期間	区分								
24	9 日以下	男	26		4		12	4		46
		女	11		4			7	2	24
		小計	37		8		12	11	2	70
	10～19日	男	10		12		8	7		37
		女	9				2	6		17
		小計	19		12		10	13		54
	20～29日	男	13		10		7	10		40
		女	5		3		3	8		19
		小計	18		13		10	18		59
	30～59日	男	40		4		10	13		67
		女	9		1		2	5		17
		小計	49		5		12	18		84
	60～89日	男	34		1		1	3		39
		女	13		1			2		16
		小計	47		2		1	5		55
	90日以上	男	51							51
		女	8						1	9
		小計	59						1	60
	計	男	174		31		38	37		280
		女	55		9		7	28	3	102
小計		229		40		45	65	3	382	
構成比		59.9		10.5		11.8	17.0	0.8	100.0	
年度	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計
	期間	区分								
23	9 日以下	男	22	1	5	2	1	7		38
		女	12		1		1	5	1	20
		小計	34	1	6	2	2	12	1	58
	10～19日	男	13		2		2	5		22
		女	5		3			4		12
		小計	18		5		2	9		34
	20～29日	男	16		6		1	2		25
		女	2		2			4		8
		小計	18		8		1	6		33
	30～59日	男	42		6		2	7		57
		女	15		2			7		24
		小計	57		8		2	14		81
	60～89日	男	29		1					30
		女	10					1		11
		小計	39		1			1		41
	90日以上	男	77							77
		女	14		1			1		16
		小計	91		1			1		93
	計	男	199	1	20	2	6	21		249
		女	58		9		1	22	1	91
小計		257	1	29	2	7	43	1	340	
構成比		75.6	0.3	8.5	0.6	2.1	12.6	0.3	100.0	

ケ 依存薬物別・転帰別退院患者数

年度	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	構成比
	転帰	区分									
24	全 快	男									
		女									
		小計									
	軽 快	男	113		20		18	25		176	65.2
		女	39		6		5	21	2	73	
		小計	152		26		23	46	2	249	
	未 知	男	54		11		19	12		96	32.5
		女	15		3		2	7	1	28	
		小計	69		14		21	19	1	124	
	転 医	男	7				1			8	2.4
		女	1							1	
		小計	8				1			9	
	死 亡	男									
		女									
		小計									
	計	男	174		31		38	37		280	100.0
		女	55		9		7	28	3	102	
		小計	229		40		45	65	3	382	
		構成比	59.9		10.5		11.8	17.0	0.8	484.0	
年度	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	構成比
	転帰	区分									
23	全 快	男									
		女									
		小計									
	軽 快	男	125		12		4	11		152	58.8
		女	31		3		1	13		48	
		小計	156		15		5	24		200	
	未 知	男	56	1	8	2	2	10		79	34.7
		女	24		5			9	1	39	
		小計	80	1	13	2	2	19	1	118	
	転 医	男	18							18	6.5
		女	3		1					4	
		小計	21		1					22	
	死 亡	男									
		女									
		小計									
	計	男	199	1	20	2	6	21		249	100.0
		女	58		9		1	22	1	91	
		小計	257	1	29	2	7	43	1	340	
		構成比	75.6	0.3	8.5	0.6	2.1	12.6	0.3	100.0	

5 業務の状況

(1) 看護

「精神医療センターの基本理念・せりがや病院の基本方針に沿って、質の高い看護を行い、ヒューマンサービスの推進に貢献する」の理念に則して、看護を実践している。

看護局は、外来看護科、1階病棟看護科、2階病棟看護科、教育科の4単位であり、1階病棟は男性の初期入院（30床）、2階病棟は男性の回復期（35床）および女性の初期から回復期（15床）で構成されている。

ア 病棟看護

1階病棟では、入院初期の男性患者に2週間程度、依存物質からの離脱、体力の回復、今後の治療の意志を固め、スムーズに2階病棟に継続できるよう援助している。2階病棟では、男性患者には中断することなく治療プログラムに取り組めるよう援助し、女性患者には、初期から回復期に至る全過程の援助を行っている。

近年、依存物質が多様化し、ギャンブル、異性、過激な運動への依存、摂食障害も見られ、それらは物質依存と合併している場合が多く、治療が難しくなっている。さらに、高齢化に伴うADLの低下がある患者や糖尿病、肝硬変、高血圧、低栄養状態などの身体合併のある患者が増えてきている。看護師は、治療効果が向上するよう多職種と連携を図りながら、患者の状態に応じて、認知行動療法、生活技能訓練（SST）や多様な治療プログラム実施をしている。

病棟別看護職員配置図

（平成25年4月1日現在）

病 棟	定 床 数	保 護 室	現 員	備 考
1 階	30	4	17+1（非）	初期入院（男性）病棟
2 階	50	2	17+1（非）	回復期（男性）病棟、女性病棟

イ 外来看護

近年、外来での医療のニーズがますます高まってきている。外来では、患者の状況を観察、判断し、相談に応じている。そして、患者の状況に応じた看護が提供できるように、初診時からの看護計画を立て看護の継続に努めている。また、チーム医療を大切にし、看護師、医師、心理・相談科、作業療法士などの医療チームで患者をケアできるように月に1回外来運営カンファレンスを行なっている。集団精神療法を医師や心理・相談科の職員とともにこなしている。毎朝定時にベッドコントロールを実施し、患者の情報交換や情報の共有を行うことで、病棟との連携を図っている。

外来看護職員配置図

現 員	3 + 3（非常勤）
-----	------------

ウ 看護教育科

患者の動向を踏まえ、精神科看護に求められる看護師の育成を行い、看護師ひとり一人のキャリアニーズに基づき院内研修や院外研修への参加を支援している。平成22年度より、精神医療センターとして院内研修を芹香病院と合同で実施している。また、看護基礎教育での実習や中学生の職業体験、看護以外の専門学校からの見学を受け入れており、実習生の目標が達成できるよう支援している。そして、自施設の特徴から、健康教育の一環として薬物乱用防止の啓発活動を行っており、スタッフを講師として中学校や高校に派遣している。

(ア) 平成24年度 現任教育

研修名		ねらい	対象者	人数
支援 プログラム	採用時研修	精神医療センター組織の一員としての自覚を持つことができる（新卒新採用・転入者） *既卒新採用者・転入者は希望する研修項目に参加する。	平成24年度 新採用者 既卒新採用者 転入者	4名
	接遇研修	事例等をもとに接遇の実際を学ぶ。	平成24年度 新採用者、 転入者	4名
	基礎技術研修① （精神科看護技術）	精神科における専門的な看護技術の実際を学ぶ。	新卒新採用者 他科長が必要と認めた者	4名
	基礎技術研修② （救急蘇生法）	看護者として必要な急変時の基礎的対応がわかる。	新卒新採用者 他科長が必要と認めた者	4名
	フォローアップ研修 （新卒新採用）	入職してからの3カ月を振り返り、今後の看護実践への活力につなげる。	新卒新採用者	0名
	フォローアップ研修 （既卒・転入）	入職してからの様々な思いや看護を、仲間と共有し、精神医療センターの看護師としてこれまでの経験を活かしながら取り組んでいく心構えができる。	既卒新採用者・転入者	2名
ステップⅠ	施設見学	地域とのネットワークが理解でき、連携の必要性と看護の役割がわかる。	新採用者・転入者	5名
	看護倫理Ⅰ （看護専門職としての倫理）	専門職としての倫理を再確認し、センターの看護師としての行動につなげる。	ステップⅠを申請する者	3名
	看護過程Ⅰ （看護理論の理解）	v.ヘンダーソンの看護論を学習し、看護実践のための観察・判断力を養う。	ステップⅠを申請する者	3名
ステップⅡ	チームメンバー研修	1) チームナースングについて理解を深め、メンバーシップを発揮するための能力を養う。 2) 9か月間の自己を振り返り、今後の課題を明らかにできる。”	ステップⅠを申請する者	3名
	看護倫理Ⅱ （精神科看護と倫理）	精神科における看護倫理について理解する。	ステップⅠ以上の者 また、看護科長が認める者	4名
	リーダーシップ研修Ⅰ （チーム医療におけるリーダーシップ）	チームナースングにおけるチームリーダーの役割が明確にできる。		3名
ステップⅢ	看護過程Ⅱ （事例検討）	自己の看護を客観的に目づめ、個性性を踏まえた看護実践について考える		2名
	人間関係研修	対人関係における自己の傾向を知り、看護者としてのアサーティブなコミュニケーションを行うための知識・技術を学ぶ。	ステップⅡ以上の者 または看護科長が認める者	3名
	リーダーシップ研修Ⅱ （問題解決）	問題解決技法を学び、セクションの課題を捉え、リーダーシップ能力		2名
ステップⅣ	看護過程Ⅲ （看護理論の活用①）	v.ヘンダーソンの看護論の理解を通じて自己の看護実践の意味づけができる。		3名
	看護過程Ⅳ （看護理論の活用②） *専門研修読み替え可	セルフケア理論（オレム－アンダーウッド看護論）を学習して精神看護について理解を深める。	ステップⅢ以上の者 または看護科長が認める者	0名
	教育研修	スタッフ教育ができる能力を養う。		0名
V	看護研究	日常の課題を研究的視点で捉え探求のためのリーダーシップが取れる。		1名
	教育活動 研究活動			
役割 研修	新主任研修	主任としての認識を深め、自己の役割について積極的に取り組める。	平成24年度 新主任看護師	1名
	プリセプター研修Ⅰ	プリセプターシップについて理解しプリセプターとしての役割行動につなげることができる。	平成25年度 プリセプター予定者	3名
	プリセプター研修Ⅱ	指導の中で生じた疑問や不安を軽減し、プリセプターとしての自己の課題を明確にできる。	平成24年度 プリセプター担当者	1名
	実習指導者新任研修	実習指導者としての役割を学び、看護教育についての理解を深める	実習指導者会議担当者または看護科長が認めるもの	1名

研修名			ねらい	対象者	人数
射 静 研 脈 修 注	静脈注射の実際		医師の指示に基づいた静脈注射を安全に実施するために必要な知識・技術を習得する。	精神医療センター看護職員 (非常勤、臨任除く)	4 名
	精神看護専門研修		精神看護専門領域における実践能力を高め、質の高い看護を提供するために必要な能力の向上を図る。	・精神科看護経験 4 年間ある者 ・キャリア開発過程ステップ 3 以上	1 名
研 究 ・ 講 義 習 等	看護研究基礎研修		看護研究の基礎を理解し研究課題を明確にし、研究計画書を作成することができる	平成24年度看護研究に取り組む者	1 名
	公 開 講 義	認定看護師が企画	老年期精神障害看護 「老年期を知ろう」	全看護職員 院外看護職員	0 名
			行動制限最小化看護 「行動制限その歴史と法律」		
			精神科薬物療法		
	精神科基礎研修 ＊ステップⅣ教育研修受講者が講義を実施する		精神科看護の基礎的知識を養う。	全看護職員 院外看護職員	1 名
	看護研究発表会		看護研究活動を通して得た成果を発表し相互の学びとする	全看護職員	発表 1 名
	伝達講習会		院外研修の報告を受け、自己研鑽への動機づけとする		発表 2 名

(イ) 平成24年度 実習受入れ状況

学 校 ・ 団 体	人 数
神奈川県立衛生看護専門学校 第二看護学科	24
神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科	78
日本医療学院附属東亜看護学院 2年課程 (通信制)	3
福岡看護専門学校 2年課程 (通信制)	2
日本精神科看護技術協会認定看護師	2

(ウ) 平成24年度 看護の日記念行事

内 容 (場 所)	対 象	人 数
クラシックコンサート	地域の方、患者、家族	38名
せりがや病院で働く人、仕事の紹介	地域の方、外来・入院患者、家族	多数

(エ) 病院見学・研修等

学 校 ・ 団 体	対 象 者	人 数
横須賀市立池上中学校	3年生	3人
横浜市立荻が谷中学校	2年生	4人
愛川町町立愛川中原中学校	中学教員	1人
茨城県立こころの医療センター	看護師	9人

学会等発表

学 会 名	氏 名
アルコール・薬物依存関連学会合同総会	井ノ口恵子
アルコール・薬物依存関連学会合同総会	堀内恵美子

(オ) 学校等への講師派遣

派 遣 場 所	内 容	氏 名
社会保険横浜看護専門学校	精神看護方法論Ⅱ	小林真津子
武蔵野ダルク支援センター	家族・友人・援助者のメッセージ	堀内恵美子
県立病院機構職員研修（アドバイザー）	専門Ⅱコース	山本 直子

(カ) 健康教育活動等における講師派遣

学 校・団 体	対 象 者	人 数
横浜市立日野中央高等学校	3年生	56人
	教員	19人
横浜市立荻が谷中学校	2年生	151人
横浜市立飯島中学校	3年生	153人
	保護者・教員	12人
横浜市立日野南中学校	2年生	171人
	教員	9人
横浜市立戸塚高等学校	1年生	360人
	教員	14人
横浜市立金沢高等学校	1年生	280人
	教員	15人
横須賀市立神明中学校	1年、2年、3年生	508人
川崎市立川崎総合科学高等学校	3年生	223人
	教職員	15人
川崎市立高津高等学校定時制	1年、2年、3年、4年生	339人
	教員	26人
県立神奈川総合産業高等学校	1年生	275人
県立神奈川総合産業高等学校定時制	1年、2年、3年、4年生	300人
県立厚木北高等学校	1年生	285人
	教員	20人
相模原市立青野原中学校	1年、2年生	26人
	教員	3人
アレセア湘南中学高等学校	高校1年、2年、3年生	496人
	教職員	39人
横浜市立日野中央高等特別支援学校	3年生	56人
	教員	19人
小田原市立国府津中学校	3年生	112人
	教員、保護者	10人
高浜地域子ども支援会議	保護者、自治会関係者	40～60人
神奈川県立秦野総合高等学校	1年、2年生	480人
	教員	55人
神奈川県立麻生総合高等学校	1年生	284人

(2) 心理・相談業務

心理・相談科では、依存症により生じた家族関係や就業、経済的問題など、社会的側面の問題をもつ患者・家族に対して相談支援や集団精神療法等の回復プログラムをおこなっている。

新規の電話相談件数は年々増加傾向にあるが、平成24年度は脱法ドラッグの問題が社会的にも拡大していた影響もあり、相談件数全体の30%弱が脱法ドラッグであった。同時に初診患者も増え、「SMARPP」プログラム対象患者が増加した。心理・相談科の業務内容は以下のとおりである。

1. 相談（電話、面接）
2. 初診時インテーク面接
3. 入院・外来患者へのケースワーク
4. 患者家族へのケースワーク
5. 入院・外来患者への集団精神療法
6. 入院患者への教育
7. 臨床心理検査
8. 心理療法
9. 薬物問題を持つ家族のための家族教室
10. 依存症者の家族のための家族教室（医局、看護局との分担）
11. 地域関連機関・施設や自助グループ等の団体との連絡、調整及び技術援助
12. 研修の受け入れ（精神保健福祉援助実習など）
13. 講師派遣（薬物乱用防止教室等）

ア 相談・インテーク・ケースワーク等件数

			24年度	23年度	備 考
電 話	新 規 相 談		428	336	まだ受診していない者についての相談
	相 談		935	965	すでに受診している者（患者・家族）についての相談
	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整		3,153	2,744	保健所、福祉事務所、医療機関、施設等との患者についての相談、連絡調整
	小 計		4,516	4,045	
面 接	新 規 相 談		70	55	まだ受診していない者についての相談
	患者・家族	外 来	864	817	外来患者等に対する面接
		入 院	916	924	入院患者等に対する面接
	イ ン テ ー ク		551	467	初診患者に生活背景、病歴等を面接聴取する
	小 計		2,401	2,263	
計			6,917	6,308	

イ 平成24年度集団精神療法件数

外 来	ア ル コ ー ル	1,026	981	週 1 回の外来ミーティング
	薬 物	496	523	月 2 回の外来ミーティング、SMARPP
	小 計	1,522	1,504	
入院	ア ル コ ー ル ・ 薬 物	3,376	4,014	7 グループで実施
計		4,898	5,518	

ウ 平成24年度家族教室参加人数

家 族 教 室	130	251	アルコール依存症の者の家族 月 2 回
薬 物 依 存 症 家 族 教 室	500	428	薬物問題を持つ家族 月 2 回
計	630	669	

工 平成24年度 研修・講師等

(ア) 精神保健福祉援助実習

	学 校	実 施 日	人 数
1	上智社会福祉専門学校	平成24年 8 月27日～9 月10日	1 名

(イ) 研修見学（当院）

	機 関	実 施 日	人 数
1	県精神保健福祉新任研修	平成24年 7 月20日	6 名
2	横浜保護観察所	平成24年 8 月15日	2 名
3	横浜保護観察所	平成24年 8 月20日	2 名
4	栃木刑務所	平成24年 9 月 3 日	3 名

(ウ) 講師派遣

	機 関	実 施 日	人 数
1	県薬物乱用防止指導員協議会鎌倉支部研修	平成24年 6 月18日	20名
2	横浜市学校保健会旭支部大会	平成24年 6 月21日	300名
3	旭区医師会学術委員会講演会	平成24年10月31日	30名
4	横浜保護観察所	平成24年11月 1 日	20名
5	藤沢市青少年指導員協議会	平成24年11月19日	148名
6	横浜保護観察所	平成25年 3 月 8 日	5名

(エ) 薬物乱用防止教室講師派遣

	学 校	実 施 日	人 数
1	神奈川県立栄高校	平成24年 6 月 6 日	240名
2	伊勢原市立山王中学校	平成24年 7 月 5 日	694名
3	神奈川県立相原高校	平成24年 7 月10日	241名
4	アレセア湘南中学高等学校	平成24年 7 月13日	165名
5	海老名市立大谷小学校	平成24年10月10日	117名
6	藤沢市立駒寄小学校	平成24年10月23日	88名
7	神奈川県立横須賀大津高校	平成24年11月16日	240名
8	大谷学園秀英高校（教員研修）	平成24年12月 3 日	25名

オ 平成24年度 心理検査実施件数

●発達・知能検査	計	入院	外来
W A I S - Ⅲ	74	65	9
ベントン視覚記銘検査	6	4	2
コース立方体テスト	2	1	1
●人格性格検査	計	入院	外来
バウムテスト	3	2	1
ロールシャッハ	59	51	8
P-F スタディ	2	1	1
SCT	3	2	1
●その他の心理検査	計	入院	外来
記銘力検査	11	8	3
HDS-R（長谷川式簡易知能検査）	3	2	1
ベンダーゲシュタルト	3	3	0
MMSE	3	2	1
SDS	6	6	0
計	175件 (89人)	147件 (77人)	28件 (12人)

*（ ）は実人数を示す

(3) 作業療法

当院作業療法は平成19年7月に開設され、平成20年度までは1名の作業療法士、平成21年度より2名の作業療法士で運営している。

作業療法は、依存症のリハビリテーションとして身体的、心理的、社会的によりよい状態の再獲得が主たる目的である。通常プログラムとして農耕、スポーツ、表現活動を集団で実施しているほか、高齢者プログラム、病院行事なども行っている。また、作業療法以外でも教育プログラム、自助グループへの参加支援など作業療法士が関わっている。

当院入院患者のほぼ全員が作業療法の処方を受けており、実施数や対象患者の層も入院患者の状況により影響を受けている。

平成21年10月より開始した通院作業療法の参加者は年々増加傾向にあるため、より利用者のニーズにあった受け皿を広げるべく、平成25年2月より、実施回数および実施内容を変更した。

ア 病棟別実施件数

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24	1 階 病 棟	93	106	111	136	75	82	163	133	107	88	70	123	1,287
	2 階 病 棟	329	286	317	398	413	301	360	406	351	248	204	264	3,877
	合同プログラム	0	0	0	0	40	0	0	0	46	22	0	0	108
	計	422	392	428	534	528	383	523	539	504	358	274	387	5,272
年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
23	1 階 病 棟	95	53	116	98	127	79	98	145	144	105	73	97	1,230
	2 階 病 棟	367	362	421	378	436	400	342	290	292	371	423	424	4,506
	合同プログラム	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	46	0	82
	計	462	415	537	476	563	479	476	435	436	476	542	521	5,818

イ 通院作業療法実施件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24	33	54	40	38	44	41	29	25	30	37	32	33	436
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	計
23	20	14	28	26	32	26	29	29	28	25	34	37	328

(4) 学生等の指導

ア 学生実習の受け入れ

対 象	人 数	実 施 日
横浜市立大学医学部学生	5～6人	火曜日（見学実習）

(5) 薬剤業務

年間調剤数は、入院18,082件、外来44,028件、合計62,110件である。1日平均調剤数は253.5件、1日平均処方せん枚数は82.4枚（前年度比107%）となっている。

薬剤情報提供業務（外来）は前年度に比べ171件増加し818件であった。機器を調整し待ち時間を増やさずに件数の増加を図った。

薬品購入金額は9,763万円であり前年度に比べ約1,770万円増となった。処方せん枚数、一人に使用する薬の量も増加傾向にあるが、薬価が高い非定型抗精神病薬の購入金額は前年度比147%（約1,450万円増）となっており、これらの適用患者が増加しているのが主な原因とみられる。

薬事会議は10月と3月の2回開催した。新規採用医薬品8品目、削除医薬品16品目であった。

後発医薬品については1品目を先発品から切り替えた。

病棟・外来の常備・救急薬品の管理については、薬剤師による点検を毎月実施した。

入院教育プログラムにおいて定期的に集団指導を行った。

A 調剤数

	処方せん	剤 数	延べ剤数	一 日 平 均	
				剤 数	延べ剤数
入 院	6,964 枚	18,082 剤	103,558 剤	73.8 剤	422.7 剤
外 来	13,226	44,028	663,122	179.7	2,706.6
計	20,190	62,110	766,680	253.5	3,129.3

B 注射剤払い出し

注射せん	500ml未満	500ml以上	計
216 枚	314 本	120 本	434 本

C 製剤数

内服散剤	軟膏剤	錠剤の粉砕
90,377 g	1,700 g	1,630 錠

D 剤型別購入額

剤型	品目数	割合	購入額	割合
注射	36 品	8.2 %	2,233,654 円	2.3 %
内服	385	82.4	94,339,634	96.6
外用	47	10.7	1,046,111	1.1
消毒	5	1.1	18,529	0.1
計	438	100.0	97,637,928	100.0

E 薬効別購入額

薬効	品目数	割合	購入額	割合
精神神経用剤	176 品	37.2 %	72,159,361 円	73.9 %
睡眠鎮静剤、抗不安剤	49	10.4	9,646,538	9.9
習慣性中毒用剤	2	0.4	1,576,200	1.6
ビタミン剤	15	3.2	2,767,578	2.8
肝臓疾患用剤	6	1.3	86,906	0.1
その他	225	44.9	11,401,345	16.4
計	473	100.0	97,637,928	100.0

(6) 栄養業務

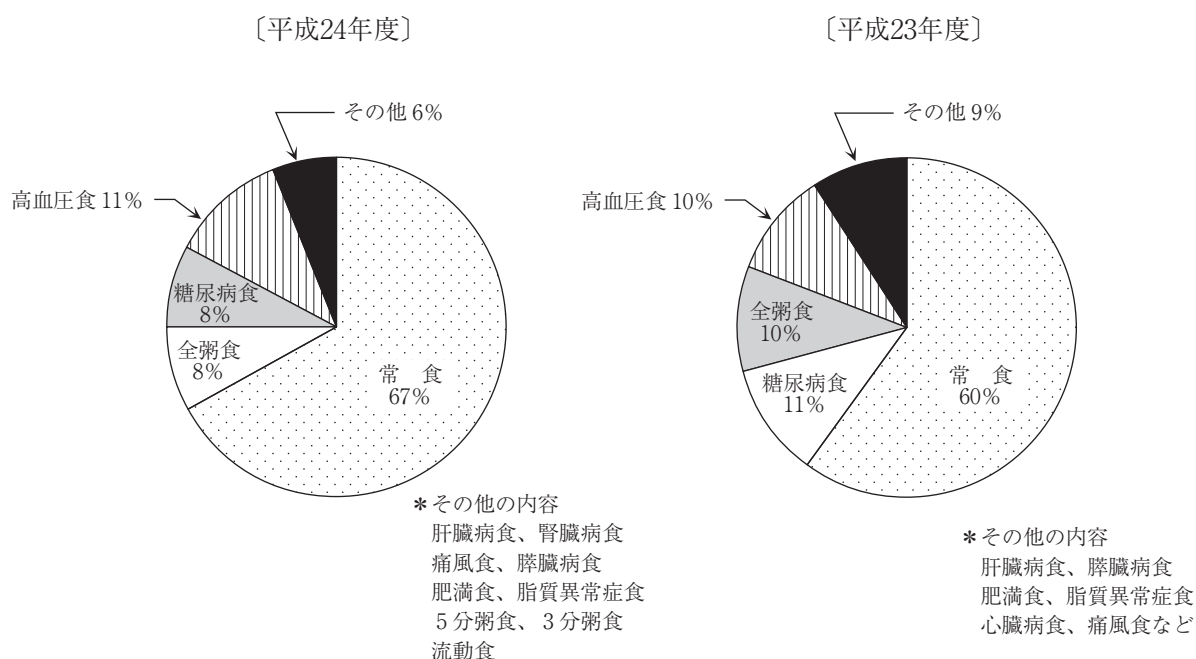
ア 給食実施状況

入院患者の食種では一般食が7割を占め、特別食が3割であった。特別食では糖尿病食と高血圧食の割合が高く、次いで肝臓食、腎臓食、痛風食、痔臓食となっている。これらの疾患はアルコール依存症に多く合併しており、入院中の食事を含めた生活指導が重要と考えられる。肥満食には、摂食障害の数が含まれる。また、近年の特徴として高齢者等の嚥下障害を有する患者への「とろみ調整」など入院患者個々人に適応した、きめこまかい食事指示が増加していることがあげられる。

当院の特徴として、依存症の症状に応じた形態(キザミ食等)や食器(メラミンやデスポ食器の使用)、食事時間(分割食、朝食)への対応、嗜好への対応、作業所参加や治療プログラムのための弁当の調製などきめ細かな個人対応食を実施している。さらに、依存症専門病院として食材や調味料等についても配慮しており、調理技術の高度化と専門性が要求されている。また、入院生活を潤いあるものにするため、季節感を取り入れた行事食を年10回実施した。選択食は、週2日、各日昼食と夕食に実施した。

栄養指導では、入院患者に対する生活支援の一環として「教育プログラム」に位置づけられ、定例的に自立に向けた集団指導を行っている。さらに、生活習慣病予防のための食生活についての指導を取り入れた。

外来患者に対しては、個人への栄養指導の他に、外来ミーティングの講義において「回復のための食事」等のアドバイスをを行った。



区 分			年 度	24年度	23年度	対前年度比（％）
一 般 食	常 食			29,801	29,041	102.6
	軟 流 動 食	全 粥 食		3,388	4,863	69.7
		五 分 粥 食		56	0	—
		三 分 粥 食		12	0	—
		流 動 食		1	0	—
		小 計		3,457	4,863	71.1
	計			33,258	33,904	98.1
特 別 食	加 算 で き る も の	糖 尿 病 食		3,486	5,265	66.2
		脂 質 異 常 症 食		30	165	18.2
		肝 臓 病 食		994	396	251.0
		脾 臓 病 食		119	527	22.6
		腎 臓 病 食		727	0	—
		心 臓 病 食		41	495	8.3
		痛 風 食		607	898	67.6
		貧 血 食		0	107	—
		低 残 渣 食		0	238	—
		小 計		6,004	8,091	74.2
	加 算 で き な い も の	高 血 圧 食		4,800	5,012	95.8
		肥 満 食		305	1,289	23.7
		糖 尿 病 食		176	0	—
		脾 臓 食		61	0	—
		小 計		5,342	6,301	84.8
	計			11,346	14,392	78.8
合 計			44,604	48,296	92.4	
患 者 食 弁 当			(311)	(630)	49.4	
検 食 ・ 保 存 食			2,190	2,196	99.7	
職 員			10,444	10,853	96.2	
総 合 計			57,238	61,345	93.3	

* 患者食弁当（ ）は再掲

イ 栄養指導実施状況

区 分 年 度	入 院				外 来				合 計			
	集団指導		個別指導		集団指導		個別指導		集団指導		個別指導	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
24	4	144	8	8	7	68	14	14	11	212	22	22
23	4	159	12	12	0	0	27	27	4	159	39	39
対前年度比(%)	100.0	90.6	66.7	66.7	—	—	51.9	51.9	275.0	133.3	56.4	56.4

平成24年度 **業 務 年 報**

平成25年12月発行

神奈川県立精神医療センター

横浜市港南区芹が谷2-5-1

TEL 045-822-0241

印刷所 中川印刷株式会社

横浜市中区山田町7-1

TEL 045-261-2101



地方独立行政法人神奈川県立病院機構

神奈川県立精神医療センター

横浜市港南区芹が谷2-5-1 〒233-0006 電話(045)822-0241(代表) FAX(045)825-3852